

01款	議会費	01項	議会費	01目	議会費	
事業名					議会一般事務費	単位：円
事業内容	円滑な議会運営及び議会活動並びに市民に開かれた議会運営のため、各種業務を実施する。			1 本会議会議録作成 4回 特別委員会会議録作成 予算等審査 4回 決算 1回 2 議会だより発行 10,800部×4回 広聴広報常任委員会開催 10回 作成所要日数 200日 3 行政視察等 5回 4 政務活動費 交付見込額 1,080,000円 5 議会改革推進特別委員会 委員会開催 5回 議員研修会等 2回		
	1 市議会会議録の作成 2 議会活動の周知のため、市議会報「議会だより」の発行 3 課題解決及び政策提案等の参考とするため、行政視察及び研修の実施 4 議会の審議能力強化、議員の資質向上及び調査研究等のための政務活動費交付 5 議会基本条例に基づき、より一層の議会改革推進			計 画 値		
成果	1 市議会会議録の作成 会議録として記録・保存するとともに、議決証明書等の発行の要求に応えた。 2 市議会報「議会だより」の発行 市議会定例会、議会活動及び市政の状況等を市民に周知した。 また、朗読ボランティアみやもりの協力のもと、目の不自由な方に録音CDを提供した。 3 常任委員会等による行政視察及び研修の実施 ・総務常任：7月11日～13日（鳥取県智頭町、岡山県西粟倉村） ・教育民生常任：5月10日～12日（石川県金沢市、富山県南砺市） 11月16日～17日（東京都練馬区、千代田区） ・産業建設常任：6月28日～30日（兵庫県福崎町、香川県高松市） ・広聴広報常任：12月15日（金ヶ崎町） 2月23日（遠野高等職業訓練校） ・議会運営委員会：11月17日（早稲田大学マニフェスト研究所研修） 4 政務活動費の交付（議員1人 5,000円/月） 調査研究等のために活用し、議員の資質向上につなげた。 5 議会改革推進の取組 特別委員会を設置して各種検討を行い、常任委員会活動の強化、議員間討議の充実及び市民との懇談会の見直しなどを行った。			1 本会議会議録作成 4回 臨時会会議録作成 2回 特別委員会会議録作成 予算等審査 4回 決算 1回 2 議会だより発行 10,800部×4回 広聴広報常任委員会開催 17回 作成所要日数 163日 3 行政視察等 7回 4 政務活動費 交付可能額 1,050,000円 交付総額 902,605円 5 議会改革推進特別委員会 委員会開催 5回 議員研修会等 3回		
	予 算 額			決 算 額		
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
37,964,000		34,538,205		国 庫 支 出 金	0	
				地 方 債	0	
				そ の 他	0	
				一 般 財 源	34,538,205	



02款 総務費		01項 総務管理費		01目 一般管理費	
事業名 ステップアップ職員研修事業費					単位：円
事業内容	職員の資質と能力の向上のため、やる気・本気・根気のある能動型職員の育成を図る。			計 画 値	研修会開催回数 28回
					研修受講者数 延べ 420人
成果	階層別研修及び専門研修を実施し、職員の資質及び課題解決能力の向上を図ったほか、各種団体が主催する研修等に若手・中堅職員を積極的に参加させ、交流事業拡大への対応能力及び情報発信能力の向上を図った。			実 績 値	研修会開催回数 74回
	1 階層別研修 (9回) 56人 2 専門研修 (20回) 28人 3 民間等活用研修 (24回) 97人 4 全体研修(基本研修)(19回) 664人 5 民間研修派遣(富士ゼロックス(株)1人、(一財)日本みち研究所1人)				研修受講者数 延べ 847人
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6,298,000	5,560,972	0	0	1,538,822	4,022,150

02款 総務費		01項 総務管理費		01目 一般管理費	
事業名 電算処理事業費					単位：円
事業内容	住民基本台帳、文書管理、財務会計等の各種システム(ネットワーク設備含む)の維持管理を行う。更新時期を迎えた庁内ネットワークのプリンターについては新庁舎の開庁に合わせて更新する。			計 画 値	障害発生時の復旧対応 随時
	市公式ホームページの大幅なりニューアルを新庁舎の開庁に合わせて行う。				庁内ネットワーク用プリンターの更新 市公式ホームページのリニューアル
成果	住民基本台帳、文書管理、財務会計等の各種システムにおいては、大きなシステム障害は発生しなかった。無停電電源装置の修繕(2回)等の維持管理を行った。			実 績 値	障害発生時の復旧対応 随時
	市役所新庁舎の開庁に合わせて、庁内ネットワーク用のプリンターを更新した。市公式ホームページのリニューアルを市役所新庁舎の開庁日に合わせ行った。また、市公式ホームページの閲覧者が目的ページの検索をやすくするため、カテゴリー構成を組織別から目的別に変更した。				庁内ネットワーク用プリンターの更新 市公式ホームページのリニューアル
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
121,483,000	120,525,406	0	0	0	120,525,406

02款	総務費	01項	総務管理費	01目	一般管理費	
事業名					地区行政一般事務費	単位：円
事業内容	<p>市民と行政をつなぐ重要な役割を担う区長としての資質向上が図られるよう、市区長連絡協議会に補助金を交付し、区長による研修の実施等を支援するほか、情報交換や市政への意見・提言等を集約する機会を設ける。 また、地区活動等の円滑な運営を支援するため、各行政区に交付金を交付する。</p>			計 画 値	区長報酬 90人 市区長連絡協議会補助金 1件 行政区事務費交付金 191件	
	成果	<p>1 区長報酬 年額 307,000円×90人 2 各町区長会において、県内外で地域づくり活動等に関わる視察研修を行い、市区長連絡協議会から研修に要する費用の一部を助成した。 また、交流自治体との相互の視察研修を行い、費用の一部を助成した。 3 各行政区に対して行政区事務費交付金を交付し、地区活動等の円滑な運営を支援した。</p>			実 績 値	区長報酬 90人 市区長連絡協議会補助金 1件 行政区事務費交付金 191件
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
33,833,000	33,710,499	0	0	0	33,710,499	

02款	総務費	01項	総務管理費	01目	一般管理費	
事業名					みんなで築くふるさと遠野推進事業費	単位：円
事業内容	<p>地域の特性を生かし、創意と工夫を凝らした特色ある地域づくりを推進するため、市民による多様な組織が行う地域づくり活動を対象に「みんなで築くふるさと遠野推進事業（以下「補助事業」と表記）」補助金を交付する。 また、財団法人自治総合センターが行う「コミュニティ助成事業（以下「助成事業」と表記）」を活用し、自治会等におけるコミュニティ活動に必要な備品購入に対して補助金を交付する。</p>			計 画 値	補助事業実施数 65事業 補助事業参画者数 1,600人 モデル事業地区 3地区 地区まちづくり計画策定 5地区	
	成果	<p>補助事業では、特認事業である「地区まちづくり一括交付型モデル事業」として3地区に8,805千円、「住民自治推進事業」に2,491千円を補助し、新たに5地区で具体的な地区まちづくり計画が策定され、地域づくりへの取り組み意識が醸成された。 また、遠野遺産保護・活用事業7事業に2,943千円を補助し、地域資源の再発見や見直し、郷土愛の意識醸成等に寄与した。全体での事業実施件数は93件となり、補助金額19,948千円を交付した。 助成事業では、松崎町地連協の申請が採択され、コミュニティ活動で使用 する備品として会議用机などの購入費2,500千円を補助し、地域コミュニティ活動を支援した。</p>			実 績 値	補助事業実施数 93事業 補助事業参画者数 2,323人 モデル事業地区 3地区 地区まちづくり計画策定 5地区 助成事業 1件 2,500千円
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
24,664,000	22,531,000	0	0	22,400,000	131,000	

02款	総務費	01項	総務管理費	01目	一般管理費	
事業名					地域の元気応援事業費	単位：円
事業内容	<p>少子高齢化や人口減少に伴い地域活動を先導する人材が不足していることから、地域活動のサポートや地域課題の把握から解決までの取組みへの働き掛けを担う「地域活動専門員」を地区センター単位に配置する。</p>			計画値	地域活動専門員配置数 11人	
	成果	<p>地域活動専門員を全11地区センターに各1人配置し、地域課題の掘り起こしと、課題解決事業の実施を目指す「地区まちづくり計画」の策定等に取り組み、地域の将来を担う組織づくりと地域活動の支援に取り組んだ。</p>			実績値	地域活動専門員配置数 11人
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
30,723,000	29,839,853	0	0	0	29,839,853	

02款	総務費	01項	総務管理費	01目	一般管理費	
事業名					消費者支援事業費	単位：円
事業内容	<p>消費生活センターを設置し、多重債務関連、消費者に関する法的トラブル等には弁護士無料相談等に対応するなど、市民の多様な相談に対応する総合窓口としての機能強化を図る。</p>			計画値	消費生活相談員の配置 2人 相談件数 500件 消費生活出前講座の開催 18回	
	成果	<p>消費生活センターに消費生活相談員を2人配置し、関係機関と連携し市民の多種多様な相談に対してきめ細やかな対応を行った。 地区センターや各種団体と連携し、消費生活出前講座を開催し、高齢者等へ悪徳商法の対処法等の周知を図り、消費者被害防止に努めた。 また、これからの社会を担う若者を消費者被害に遭わない賢い消費者に育てることを目的に、高校生を対象とした契約に関する基本的な考え方やクーリング・オフ制度についての出前講座を開催した。</p>			実績値	消費生活相談員の配置 2人 相談件数 710件 消費生活出前講座の開催 14回
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
21,805,000	21,595,930	3,321,946	0	16,000,000	2,273,984	

02款	総務費	01項	総務管理費	01目	一般管理費	
事業名					総合交通対策事業費	単位：円
事業内容	1 生活交通の確保 (1) 廃止路線代替バスの運行支援（岩手県交通㈱、住田町） (2) 廃止路線代替デマンドバスの運行支援（遠野交通㈱） (3) 廃止路線代替市営バスの運行（宮守町内）			計 画 値	公共交通会議	1回
	2 福祉・中心市街地活性化低料金バスの運行支援 3 新たな交通システムの構築・導入等に向けた検討				廃止路線代替交通の運行	4形態
成果	1 廃止路線を運行する代替バス4形態の運行支援をはじめ、市民の通院・通学及び買物等の生活交通の確保に努めた。 2 定額低料金バスの運行を支援し、福祉の充実及び中心市街地の活性化を図った。 3 バス路線が廃止された小友町及び綾織町の一部並びに附馬牛町及び松崎町の一部において、デマンドバスの運行を支援し、代替交通の確保に努めた。 4 公共交通関係機関及び交通事業者等による公共交通会議を開催し、自家用有償旅客運送（市町村運営有償運送）の更新等について協議を行い、バス停留所を1カ所追加することとした。			実 績 値	公共交通会議	1回
					廃止路線代替交通の運行	4形態
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
92,607,000	70,892,993	0	0	69,967,700	925,293	

02款	総務費	01項	総務管理費	01目	一般管理費	
事業名					社会保障・税番号制度関連システム整備事業費	単位：円
事業内容	社会保障・税番号制度における情報連携の本格稼動に向けて、総合運用テスト及び年金情報の連携、データ標準レイアウトの変更に伴うシステム改修を行う。 個人情報等の漏洩を防止するため、全職員を対象とした情報セキュリティ研修、標的型攻撃メール訓練を実施する。			計 画 値	総合運用テストの実施	
					情報セキュリティ研修	1回
成果	国から提示されたガイドラインに沿った総合運用テスト、システム改修を行った。 個人情報等の漏洩防止、職員のセキュリティ意識の向上を図るため、セキュリティ教育を実施した。			実 績 値	総合運用テストの実施	
	1 システム関連 ・情報セキュリティ機器の維持管理 ・情報連携に向けた総合運用テスト ・年金情報連携等のシステム改修				情報セキュリティ研修	1回
2 セキュリティ教育 ・情報セキュリティ研修の実施 ・標的型攻撃メール訓練の実施				標的型攻撃メール訓練	1回	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
19,409,000	18,713,412	1,024,000	0	0	17,689,412	

02款 総務費		01項 総務管理費		01目 一般管理費	
事業名 道と川の市民協働推進事業費					単位：円
事業内容	遠野市公衆衛生組合連合会が行う、次の2つの活動に対して補助金を交付し、市民協働を推進する。			計 画 値	道路環境整備参加者数 12,950人
	1 道路清掃活動等 市民自らが行う日常利用する道路の良好な利用環境を維持する草刈、ごみ拾い、除雪等の活動				河川清掃参加者数 7,470人
成果	2 河川清掃等 町又は行政区で定めた期日に実施される全世帯参加の河川清掃等			実 績 値	道路環境整備参加者数 18,000人
	市道の清掃活動は地域の計画に沿って実施され、参加者は計画値を5,050人上回り、昨年度比較で354人増加した。内容は複数回の市道の草刈り、市道沿いの花壇の整備、冬季間の除雪などのほか、小中学生によるごみ拾いなど、多岐に渡る取り組みが行われた。 河川清掃の参加者数は、計画値を546人下回り、昨年度比較で224人減少となった。（昨年度実績比較：一般114人減、児童生徒110人減） 高齢化が進み参加困難な高齢者のみの世帯が増加傾向にあり、参加者は減少したが、地域活動への参加意識は高く、児童生徒も積極的に参加し、多くの住民の協力により実施することができた。				河川清掃参加者数 6,924人
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,203,000	7,548,480	5,298,480	0	2,200,000	50,000

02款 総務費		01項 総務管理費		01目 一般管理費	
事業名 市民登録一般事務費（繰越明許費）					単位：円
事業内容	通知カード・個人番号カード関連事務の委任に係る地方公共団体情報システム機構への交付金。			計 画 値	通知カード・個人番号カード関連事務の委任に係る交付金 2,225,000円 （総務省試算及び指示によるもの）
	「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定による通知カード及び個人番号カード並びに情報提供ネットワークシステムによる特定個人情報の提供等に関する省令」（平成26年総務省令第85号）により、委任先の地方公共団体情報システム機構が運用関連事務を行った。				実 績 値
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,225,000	2,190,200	2,023,000	0	0	167,200

02款	総務費	01項	総務管理費	01目	一般管理費	
事業名					ICT利活用環境整備事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	平成29年9月に開庁する市役所新庁舎に公衆Wi-Fiやデジタルサイネージ等のICT機器を整備し、ICTを利活用した情報発信や会議が開催できる環境を構築する。			計画値	ICT利活用環境の整備	
	成果	市役所新庁舎に公衆Wi-Fiスポット、デジタルサイネージを活用した情報発信機器の整備、会議時や防災時に活用するための映像・Webシステムの導入などICTを利活用した環境構築を行った。 整備したICT設備 ・公衆Wi-Fiのアクセスポイント（16AP） ・映像システム（1式）、Web会議システム（1式） ・デジタルサイネージ（4台）			実績値	ICT利活用環境の整備
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
13,377,000	13,290,306	0	0	10,000,000	3,290,306	

02款	総務費	01項	総務管理費	02目	文書広報費	
事業名					広報広聴活動事業費	単位：円
事業内容	広報紙により市の施策などを広く市民に周知するとともに、「市政なんでも相談箱」や「市長と語ろう会」などを実施しながら、市民からの意見や要望、苦情などをまとめ、市政に反映させる広報広聴活動を行う。			計画値	広報発行回数 13回 市政なんでも相談箱の設置 15力所 市長と語ろう会 300人	
	成果	広報活動においては、「広報遠野」を毎月1号発行したほか、「市役所本庁舎ガイド」「もっと知りたい！遠野の予算」の2つの号外を発行し、市政情報等を効果的に発信できた。市内高校の生徒に高校生広報サポーターを委嘱し、高校生の視点から広報紙の魅力化に取り組んだ。財源の確保を目的とした有料広告では、合計991,750円の収入を得た。 広聴活動においては、「市政なんでも相談箱」に25件の意見・提言が市民から寄せられ、緊急性の高いものは速やかに対応した。「市長と語ろう会」については、「市長の現地視察」により、市内46力所の視察と意見交換を行ったことから実施しなかった。			実績値	広報発行回数 14回 市政なんでも相談箱の設置 16力所 市長と語ろう会 0人
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
7,166,000	6,944,822	0	0	991,750	5,953,072	



02款	総務費	01項	総務管理費	02目	文書広報費	
事業名					災害時情報伝達手段検討事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	災害時における情報伝達手段の基幹となっている同報系防災行政無線については、老朽化が課題となっている。 災害時における住民への情報伝達が最も有効なシステムとなるよう、更新予定である同報系防災行政無線の方式や様々な情報伝達手段の組合せについて、情報通信や防災の有識者を交え、遠野市において最も有効な情報伝達システムを検討する。			計画値	災害時における情報伝達システムの導入検討	
	成果	災害時における情報伝達手段のシステム導入検討を情報通信、防災の有識者を交え検討し、遠野市において最も有効なシステムの検討結果を報告書にまとめた。 情報伝達システム検討会議 4回 検討結果の市長報告 1回			実績値	災害時における情報伝達システムの導入検討
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,700,000	638,940	0	0	0	638,940	

02款	総務費	01項	総務管理費	03目	財政管理費	
事業名					ふるさと応援推進事業費	単位：円
事業内容	生まれ育ったふるさとや寄附者との関わりの深い地域の応援としていただいた寄附に対し、返礼品及び発送等に関する業務を行う。 また、都市圏を中心とした市内出身者等へのPR活動や全体的なシステム管理などを実施する。			計画値	個人版ふるさと納税寄附金 目標額 120,000千円	
	成果	市内事業者等への呼びかけにより、登録事業者数の増加及び返礼品の充実を図った。また、寄附金受付サイトで、時期に応じた返礼品の並べ替え作業や寄附金の用途についての情報発信などを実施した。 また、寄附をいただいた方への暑中見舞い及び年賀状を送付しながらリピーターの確保に努めた。 寄附の金額と件数は、前年比でいずれも2割ほど下回ったことから各種催事でのPRの強化と魅力ある返礼品の掘り起こしに努める。			実績値	個人版ふるさと納税寄附金 ・件数 2,335件 ・金額 54,933千円
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
31,472,000	28,667,129	0	0	28,667,129	0	

02款	総務費	01項	総務管理費	04目	会計管理費	
事業名					会計管理費	単位：円
事業内容	会計事務の適正・円滑な処理 1 適正な公金の収納・支出 2 決算の調製 3 源泉徴収票の発行 4 会計事務研修会の開催 5 岩手県都市会計協議会主催の研修会への参加 会計責任者会議及び職員研修会 6 公金管理業務 (1) 現金及び有価証券等の出納及び保管 (2) 公金の資金運用			計 画 値	会計事務研修会 1回 研修会参加者数 56人 会計事務実地検査 18課等	
	成果	1 会計事務研修会を開催し、適正な会計事務の周知徹底に努めるとともに職員の会計事務に対する能力向上を図った。 2 市財務規則に基づき会計事務検査（書面・実地）を実施し、適正な公金管理の周知徹底を図った。また、コンビニエンスストア及びゆうちょ銀行窓口の収納事務に係る検査について、関係機関と協議し体制を整えた。 3 公金管理委員会を開催し、公金管理運用方針に基づく安全で効率的な資金運用に努めた。資金計画を立てながら支払事務を行ったが、年度末に不足が見込まれたため、5億円（19日間）の一時借入を行い支払資金を確保した。 4 市民等に対して支給する報酬等の源泉徴収に係る個人番号の収集に関する事務手続きを行い、適正な保管及び管理に努めた。			実 績 値	会計事務研修会 1回 研修会参加者数 56人 会計事務実地検査 18課等
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
6,389,000	6,162,767	0	0	1,500	6,161,267	

02款	総務費	01項	総務管理費	05目	財産管理費	
事業名					分庁舎等再整備事業費（東館庁舎分）	単位：円
事業内容	新たな組織再編及び新庁舎への組織集約化に伴い、子育て支援施策「わらすっこプラン」に基づき、1階の「わらすっこルーム」を拡張し、子育て支援の充実を図るとともに、空きスペースの活用及び事務室の配置の見直しを行い、施設内の供用部の刷新を図るためリニューアル整備を実施する。			計 画 値	東館庁舎改修設計業務 東館庁舎改修工事 東館庁舎備品購入	
	成果	少子化対策・子育て支援の充実を図るため「わらすっこルーム」の拡張工事と新たな遊具を配置し、「おやこくつろぎスペース」は親子のくつろぎと保護者同士が交流できる居場所としてリニューアルした。 また、館内のLED化とトイレの洋式化、中会議室及び相談室の新設等、子育て支援の拠点施設として拡充を図った。 東館庁舎改修（建築・電気設備）工事のうち、33,200,000円を平成30年度に繰り越した。 東館庁舎改修設計業務委託料 1,944,000円 東館庁舎改修（建築）工事 16,800,000円(前金払) 東館庁舎備品購入費 8,999,500円			実 績 値	東館庁舎改修設計業務 東館庁舎改修工事 東館庁舎備品購入
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
61,000,000	27,743,500	0	0	18,800,000	8,943,500	

02款 総務費		01項 総務管理費		06目 企画費	
事業名 経営企画費					単位：円
事業内容	<p>本市が目指す将来像や具体的な施策を明らかにした「第2次遠野市総合計画前期基本計画」（平成28～32年度）の着実な推進と進行管理を行う。さらに地域経営会議等を開催し、重要施策の企画や総合調整を実施するとともに国・県への要望、政策提案を行う。</p>			計画値	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画審議会の開催 2回</li> <li>定例庁議の開催 毎週月曜日</li> <li>地域経営会議の開催 随時</li> </ul>
	成果	<p>1 総合計画の進行管理 第2次遠野市総合計画前期基本計画（平成28～32年度）の平成29年度のまちづくり指標の総数130指標中、104指標（80%）が概ね達成（達成率90%以上）となった。</p> <p>2 永遠の日本のふるさと遠野基金 行政課題に対応する施策の財源確保を目的に設置した当該基金に、市民等からの寄附金3件1,026万円、基金利子70万9,405円を積み立て、10事業に1億2,720万円を充当した。なお、年度末基金残高は6億3,296万2,515円となった。</p> <p>3 遠野の元気創造基金 産業振興や市民協働による集落整備等に対応する施策の財源確保を目的に設置した当該基金に、過疎債1億8,000万円及び基金利子13万1,337円を積み立て、21事業に2億270万円を充当した。なお、年度末基金残高は、1億1,613万4,356円となった。</p> <p>4 国や県への要望、政策提案 市議会との連名で、県立高等学校の統合に係る新たな判断基準の策定等の要望を行ったほか、県市長会等を通じ国や県へ要望活動を実施した。</p>			実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
203,162,000	202,075,043	0	180,000,000	11,100,742	10,974,301

02款	総務費	01項	総務管理費	06目	企画費	
事業名					遠野スタイル地域経営改革推進事業費	単位：円
事業内容	<p>第三セクターの経営状況の分析による経営改善と市内第三セクターの連携推進、さらには、県内外の同業者、他業者とのマッチング支援による第三セクターの経営体強化に取り組む。</p>			計 画 値	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理内容改善施設 1施設</li> <li>第三セクター経営会議への出席 32回</li> </ul>	
	成果	<p>第三セクター等の経営体強化に向けて、3法人の経営分析を行いながら各法人の経営会議等に参画し、事業計画の策定支援、年度事業計画の進捗支援及び経営改善に向けた助言を行った。            (株)遠野については、とおの物語の館の経営改善のため、不採算部門について、指定管理者直営方式から民間事業者がテナントとして入居できる方法に改め、新たな体制を構築した。</p>			実 績 値	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理内容改善施設 1施設</li> <li>第三セクター経営会議への出席 34回</li> </ul>
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
11,236,000	8,181,950	0	0	0	8,181,950	

02款	総務費	01項	総務管理費	06目	企画費	
事業名					みらい創りカレッジ推進事業費	単位：円
事業内容	<p>旧土淵中学校を活用した「遠野みらい創りカレッジ」において、交流・産業創造・人材育成を図るための各種プログラムを企画運営する。</p> <p>1 遠野みらい創りカレッジ運営業務            (1) 遠野みらい創りカレッジを活用したプログラム            (2) 産学官民連携による地域資源活用・人材育成・交流創出・情報発信プログラム            (3) 市内学校の魅力化に資する総合学習等支援プログラム            (4) テレワークセンターの利用促進プログラム</p> <p>2 遠野みらい創りカレッジ看板設置工事            遠野みらい創りカレッジの周知を図るため、国道340号線沿いの入口に看板を設置する。</p>			計 画 値	<p>1 遠野みらい創りカレッジ運営業務            ・プログラム実施数 18事業            ・利用者数 5,000人</p> <p>2 遠野みらい創りカレッジ看板設置工事 1件</p>	
	成果	<p>地域・企業・大学等と連携し、年間を通じて各種プログラムを実施した。地域文化の発信及び賑わいの創出を図るための事業として、「五日市マルシェ」を新たに開催し、利用者の大幅な増加に繋がった。            また、看板設置工事が平成30年1月31日に完了し、遠野みらい創りの周知を図ることができた。</p>			実 績 値	<p>1 遠野みらい創りカレッジ運営業務            ・プログラム実施数 18事業            ・利用者数 7,355人</p> <p>2 遠野みらい創りカレッジ看板設置工事 1件</p>
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
8,302,000	8,046,000	0	0	8,000,000	46,000	

02款	総務費	01項	総務管理費	06目	企画費	
事業名					広域連携推進事業費	単位：円
事業内容	<p>増加傾向にある訪日外国人旅行者に対応した誘客促進活動と、ラグビーワールドカップ2019の開催等を見据え、内陸と沿岸の観光ルートの確立を目指すため、花巻市との広域連携の取り組みによって、周辺環境の整備と国内外に効果的な観光情報の発信を行い、交流人口の拡大と広域的な観光ネットワークの構築を目指す。</p> <p>事業の推進にあたっては、岩手県の地域経営推進費を活用し、4つの分野の事業に取り組む。</p> <p>1 首都圏での観光情報発信事業 2 多言語PR番組の制作 3 観光ルートの景観保全 4 スポーツツーリズムによる地域振興</p>			計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客入込数 2,100人</li> <li>・博物館入館者数 20,200人</li> <li>・松くい虫被害木駆除材積量 100m3</li> <li>・スポーツ施設利用者数 205,200人</li> </ul>	
	<p>広域連携事業として、観光客の誘客促進活動、観光ルートの環境整備、観光情報の発信に取り組み、訪日外国人旅行者やスポーツを通じた観光客に対して、効果的な情報発信に努めた。</p> <p>1 首都圏での観光情報発信事業 東京駅に近い「TIC TOKYO」での共同出展により、多言語パンフレットの配布やPRイベントの開催、作成したPRビデオの放映を行い、当市の魅力発信に繋がった。</p> <p>2 多言語PR番組の制作 伊能嘉矩の生誕150年を記念したPRビデオを制作し、博物館来場者に提供した。さらには、記念番組を制作し、県内民放と台湾でそれぞれ放映することで、同氏の功績を伝えるとともに当市を発信する機会となった。</p> <p>3 観光ルートの景観保全 沿岸部に通じる主要な観光ルートである国道283号沿いと、花巻市に隣接する銀河の森運動公園及び柏木平レイクリゾート周辺の枯死経過木を処理し、景観の回復を図った。</p> <p>4 スポーツツーリズムによる地域振興 首都圏等での合宿・大会誘致を実施した。 東京オリンピック・パラリンピックの競技大会のPR活動により、プラジルを相手国としたホストタウン登録に繋がった。</p>					実績
予算額	決算額	財源内訳				
12,947,000	12,346,418	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		7,500,000	0	0	4,846,418	

02款	総務費	01項	総務管理費	07目	市民会館管理費															
事業名					遠野ふれあい交流センター改修事業費	単位：円														
事業内容	遠野ふれあい交流センターの施設及び設備の老朽化が進んでおり、長期的な計画による改修を進め、施設利用者に安心・安全な施設提供を行う。			計	外壁クラック補修、塗装工事															
				画																
成果	遠野ふれあい交流センター外壁、屋根、避雷針の改修工事を実施し、快適で安心・安全な施設利用に寄与した。			実	外壁クラック補修、塗装工事															
				績	屋根面の塗装工事 避雷針の補修工事															
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
66,750,000		59,981,040		0		0		59,900,000		81,040										

02款	総務費	01項	総務管理費	08目	庁舎建設費															
事業名					本庁舎整備事業費（繰越明許費）	単位：円														
事業内容	東日本大震災で被災した本庁舎の整備を遠野まちなか再開発プロジェクトとして位置づけ、平成27年度及び28年度に引き続き建設工事を進め、平成29年7月31日完成を目指す。			計	本庁舎建設工事 本庁舎建設工事監理業務															
				画																
成果	平成29年7月31日に本庁舎建設工事が完了した。 8月19日に引渡式を開催。同日及び20日に内覧会を開催し、約1,200人もの市民等が訪れた。 その後、書類や備品の引越作業等を行い、9月3日に開庁式及び落成式並びに祝賀会を開催し、約550人の市民等に参加していただき本庁舎の完成と新たな出発を祝った。			実	本庁舎建設工事 本庁舎建設工事監理業務															
				績																
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
883,942,000		883,910,119		0		594,200,000		59,176,383		230,533,736										

02款	総務費	02項	徴税費	02目	賦課徴収費															
事業名					市税等徴収事務費	単位：円														
事業内容	<p>市政運営の健全化や安定的な運用を図るために、適正な賦課決定を行うとともに必要な市税収入を確保するため、次の納税奨励に関する事業を行う。</p> <p>1 市内単位納税貯蓄組合に対し、個人に賦課されている市県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料及び介護保険料の納期内納付の促進等に関する業務を委託する。</p> <p>2 市納税貯蓄組合連合会が各支部を通じて単位納税貯蓄組合に行う指導、育成等に必要な事業を行う経費へ補助する。</p> <p>・支部ごとの単位組合数  遠野：19 綾織：8 小友：10 附馬牛：10 松崎：11  土淵：9 青笹：12 上郷：21 宮守：11 達曽部：4  鱒沢：5</p> <p>3 納税者が365日・24時間いつでも身近なコンビニエンスストアで納付すること及び東北圏域の郵便局において納付が容易にできるよう、市県民税（普通徴収）、固定資産税、軽自動車税及び国民健康保険税を対象に、ゆうちょ銀行でも使用できるコンビニ対応納付書による収納を行う。</p>				計画値	<p>1 納期内納付率 100%</p> <p>2 組合加入割合等  ・加入率 25%以上  ・組織数 100組以上</p> <p>3 コンビニエンスストア  収納取扱件数 16,100件</p>														
	成果	<p>1 120組合が取扱った市税（国民健康保険税を除く）の合計は264,545千円で、前年度より7,171千円減となった。また、納期内納付率は、99.42%で前年度より0.22ポイント上回った。市納税貯蓄組合連合会の事業として、女性部研修会の開催、中学生を対象とした「税についての作文」の作品募集、市内全世帯へ配布した「納税だより」の発行等を行い、税知識と納税思想の普及高揚を図るとともに連合会活動の周知に努めた。</p> <p>2 各支部の納期内納付率及び対前年度比は、次のとおり。</p> <p>遠野：99.51% (-0.11pt) 綾織：98.45% (-0.90pt)  小友：99.12% (+0.13pt) 附馬牛：99.22% (-0.15pt)  松崎：99.64% (+0.03pt) 土淵：99.83% (+0.47pt)  青笹：99.87% (+0.36pt) 上郷：99.43% (-0.03pt)  宮守：99.82% (+1.13pt) 達曽部：98.45% (-0.29pt)  鱒沢：98.88% (+2.20pt)</p> <p>3 コンビニエンスストア収納を行った税目の督促状発送件数が、コンビニエンスストア収納を開始する前の平成27年度よりも1,522件減少し、納期内納付に結びついた。</p>				実績値	<p>1 納期内納付率 99.42%</p> <p>2 組合加入割合等  ・加入率 24.67%  (対前年度比 -0.16pt)  ・加入世帯数 2,647世帯  (対前年度比 -58)  ・委託対象世帯  2,448世帯  (対前年度比 -49)  ・単位組合数 120組合  (対前年度比 -3)</p> <p>3 コンビニエンスストア  収納取扱件数  ・合計件数 15,266件  ・税目別の取扱件数と各税に対する取扱比率  市県民税  2,064件(18.85%)  固定資産税  6,865件(5.95%)  軽自動車税  3,385件(24.33%)  国民健康保険税  2,952件(10.00%)</p>													
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		50,387,000			44,726,035			0		0			0			0				44,726,035

02款	総務費	03項	戸籍住民基本台帳費	01目	戸籍住民基本台帳費	
事業名					地番設定事業費	単位：円
事業内容	<p>稲荷下第二地区土地区画整理事業完了による対象地区の住所地番の変更を行う。</p>			計 画 値	対象世帯	250世帯
	成果	<p>区画整理事業の完了により住所の地番が変更となることから、住民基本台帳システムの改修を行うとともに、関係団体への周知を行った。また、住所の地番が変更となる世帯に対して、変更通知書、変更証明書、手続き案内を作成送付し、住所の地番変更を円滑に行った。</p>			実 績 値	対象世帯
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,545,000	2,170,390	0	0	0	2,170,390	

02款	総務費	04項	選挙費	03目	市長選挙費	
事業名					市長選挙費	単位：円
事業内容	<p>平成29年10月22日で任期満了となる遠野市長の選挙</p> <p>1 立候補届出受付事務 2 選挙公営費負担金の交付 3 投票事務 4 開票及び選挙会事務 5 当選証書付与事務 ほか</p>			計 画 値	【選挙時啓発】	
	成果	<p>任期満了に伴う遠野市長選挙は、平成29年10月15日に執行し、15年ぶりに2人の候補者による選挙となった。</p> <p>今回の選挙は、欠員となっていた市議会議員の補欠選挙が同時に執行されたほか、告示の2日後には衆議院議員総選挙が公示され、2週続けての選挙となったが、広報遠野、遠野テレビ等による投票の呼びかけや、高校生を投票立会人に登用する等啓発を行い、投票率は68.84%となった。</p> <p>また、市役所本庁舎開庁に伴い、高齢者や障がいのある有権者が投票しやすい環境となるよう、段差のないバリアフリー化に考慮し、期日前投票所及び遠野投票所を本庁舎多目的市民ホールに変更した。</p>			実 績 値	<p>防災行政無線 4回 遠野テレビ 6回 広報遠野 1回 街頭啓発 1回 高校生へのチラシ配布 1回</p> <p>【選挙時啓発】 防災行政無線 4回 遠野テレビ 6回 広報遠野 1回 街頭啓発 1回 高校生へのチラシ配布 2回</p>
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
17,521,000	17,514,957	0	0	0	17,514,957	



02款	総務費	06項	監査委員費	01目	監査委員費
事業名					単位：円
監査委員事務費					
事業内容	<p>公正で、かつ、能率的な市の行政運営確保のため、違法、不正の指摘にとどまらず、指導に重点を置いて経済性、合理性及び効率性を追求した監査等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・決算審査...一般会計・特別会計、水道事業会計</li> <li>・定期監査...工事監査、補助金等監査</li> <li>・その他の監査等...水道事業貯蔵品監査、有価証券等監査、財政援助団体監査、基金の運用状況審査、出資法人監査、指定管理者監査、健全化判断比率等審査</li> <li>・例月現金出納検査...毎月実施</li> </ul>			計 画 値	<p>監査の種類 13種類 監査日数 120日 監査報告等 24回</p>
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般会計・特別会計決算審査(7月7日～8月28日)</li> <li>・水道事業会計決算審査(6月9日～8月28日)</li> <li>・定期監査(前期5日、後期8日) <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事監査15件(6日)</li> <li>・水道事業貯蔵品監査(1日)</li> </ul> </li> <li>・補助金等監査12件(6日) <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政援助団体監査3団体(3日)</li> </ul> </li> <li>・有価証券等監査42社(1日) <ul style="list-style-type: none"> <li>・出資法人監査5件(4日)</li> </ul> </li> <li>・基金の運用状況審査18件(2日) <ul style="list-style-type: none"> <li>・健全化判断比率等審査(1日)</li> </ul> </li> <li>・指定管理者監査3団体(3日)</li> <li>・例月現金出納検査(12回)</li> </ul> <p>以上の監査について、事前書類審査を含めてそれぞれ実施し、監査報告書等を提出し、公表した。</p>			実 績 値
予	算	額	決	算	額
		財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,050,000	912,625	0	0	0	912,625



03款	民生費	01項	社会福祉費	01目	社会福祉総務費	
事業名					民生委員費	単位：円
事業内容	遠野市の社会福祉行政の円滑な遂行と地域福祉の充実を図るため、民生委員・児童委員に対して遠野市民生相談員を委嘱し、報酬等の費用を負担することによりその活動を支援する。			計 画 値	市民児協定例連絡会 開催回数 12回	各地区民児協 開催回数 12回
	民生委員・児童委員 114人 (うち主任児童委員 18人)					
成果	1 安心して住み続けることができる地域社会づくりに貢献するべく、日常の見守りや地域住民の生活状態把握に努めた。 2 地域住民に対し、必要なサービスや制度の住民への提供、地域住民の相談等の情報提供を行い、地域福祉充実の中心的役割を担った。 3 福祉票の作成を通じて、各機関と連携する際に必要な基礎データの取りまとめを継続した。 4 主任児童委員活動は、遠野わらすっこプラン事業に参画し、新生児への記念品贈呈などを通じて、子育て世帯との繋がりを図った。 5 他機関主催の各種研修会への参加のほか、自ら企画する専門部会活動を通し、民生委員・児童委員としての資質向上に努めた。			実 績 値	市民児協定例連絡会 開催回数 12回	各地区民児協定例会 開催回数 12回
					専門部会研修 7回	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
5,841,000	5,728,816	27,946	0	0	5,700,870	

03款	民生費	01項	社会福祉費	01目	社会福祉総務費	
事業名					社会福祉協議会運営支援事業費	単位：円
事業内容	民間社会福祉活動の拠点である遠野市社会福祉協議会に対し、相応の補助を行い地域福祉活動の強化を図る。 また、地域福祉及び在宅福祉の充実を図り、住民のニーズに応える体制の強化を目的とし必要な支援を行う。			計 画 値	職員人件費 5人	総合福祉センター管理運営 ボランティア活動拠点 「ちょぼら」運営 福祉団体活動支援 7団体
成果	地域づくりの民間拠点である遠野市社会福祉協議会の安定した経営運営を図り、ボランティア等の福祉団体の活動支援を実施するなど計画的な福祉活動が実施され、地域福祉の推進に寄与した。 「社会福祉協議会運営支援事業費補助金」 44,380,000円			実 績 値	職員人件費 5人	総合福祉センター管理運営 ボランティア活動拠点 「ちょぼら」運営 福祉団体活動支援 7団体
	1 社会福祉協議会運営補助(職員人件費等) 32,004,987円 2 総合福祉センター管理運営費補助 8,761,792円 3 地域福祉ネットワーク補助(ボランティア活動拠点運営費等) 2,353,221円 4 福祉団体活動費補助(各種福祉団体支援活動費補助) 1,260,000円					
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
45,366,000	44,380,000	2,620,000	0	0	41,760,000	

03款	民生費	01項	社会福祉費	01目	社会福祉総務費
事業名					単位：円
希望の郷「絆」サポートセンター管理運営事業費					
事業内容	希望の郷「絆」仮設住宅団地内に被災者の相談支援を行うサポートセンターを設置し、被災者の生活不安の解消及び自立を支援する。サポートセンターを拠点として活動する生活支援員は、遠野市社会福祉協議会が配置する。			計画値	市内避難世帯への訪問相談の実施 103世帯
	サポートセンターの生活支援相談員及び地元自治会の連携した取り組みにより、市内避難者と地域住民との交流が図られ、避難生活の不安解消につながった。また、災害公営住宅及び自主再建による転居者に、各世帯に応じた入居申請の指導をしながら、自立に向けた支援を行うことができた。			実績値	市内避難世帯への訪問相談の実施 103世帯
予	算	額	決	算	額
				財 源 内 訳	
				国 県 支 出 金	地 方 債
				そ の 他	一 般 財 源
1,423,000		1,024,703		1,024,000	0
				0	703

03款	民生費	01項	社会福祉費	01目	社会福祉総務費
事業名					単位：円
縁がつなく仮設住宅管理費					
事業内容	応急仮設住宅の居住環境を保持する。			計画値	供給戸数 1K(7.5坪)10戸、2DK(9坪)14戸、2DK(12坪)2戸 計 26戸 平成29年3月末現在入居件数 19件・27人
	応急仮設住宅の居住環境を維持するため、住民からの相談等に対して対応できるよう努めた。また、仮設住宅入居者2世帯の自立再建があった。			実績値	平成30年3月末現在入居件数 17件・24人
予	算	額	決	算	額
				財 源 内 訳	
				国 県 支 出 金	地 方 債
				そ の 他	一 般 財 源
502,000		40,451		0	0
				0	40,451

03款	民生費	01項	社会福祉費	01目	社会福祉総務費	
事業名					地域福祉連携推進事業費	単位：円
事業内容	<p>市と社会福祉協議会の連携を強化し、市民が安心して生活できる環境づくりについて、地域福祉という視点からその推進のための新たな仕組みづくりに取り組むもので、国の「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業の補助金採択を受け、多機関の協働による包括的相談支援体制構築事業に年度途中からモデル事業に取り組む。</p> <p>また、遠野ケアイノベーション会議実行委員会の活動支援のため、遠野市地域が家族いつまでも元気ネットワーク事業補助金による助成を実施する。</p>			計 画 値	丸ごと相談員配置数 3人 研修会等開催数 3回 補助額 300,000円	
	成果	<p>国の補助金採択により、社会福祉協議会に遠野市多機関の協働による包括的相談支援体制構築事業として業務委託し、綾織、土淵、青笹の各地区センターに丸ごと相談員を1人配置した。綾織、土淵には12月から、青笹には2月から配置し、地域の関係者主催の会議へ参加する等で連携を図りながら情報交換を行い、相談者への対応を行った。併せて国が掲げる「地域共生社会」の実現に向けた制度理解を進めるために講演・研修会を開催した。</p> <p>また、遠野ケアイノベーション会議実行委員会に補助金を交付した。</p>			実 績 値	丸ごと相談員配置数 3人 研修会等開催数 3回 補助額 130,000円
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
9,400,000	6,583,056	6,342,000	0	130,000	111,056	

03款	民生費	01項	社会福祉費	01目	社会福祉総務費	
事業名					生活困窮者自立促進支援事業費	単位：円
事業内容	<p>生活保護受給者が全国的に増加している背景を受け、生活保護を受給する前の生活困窮状態からの脱却を目的とする、生活困窮者自立支援法が平成27年4月に施行されたことに伴い、法に規定される各種事業を実施する。</p> <p>(必須事業) 自立相談支援事業 生活困窮状態にある者のうち、何らかの課題を抱えた者に対し、包括的に相談に応じ関係機関の連携のもと解決に向けた支援を行う。</p> <p>(必須事業) 住宅確保給付金 離職等により経済的に困窮し、住居を失った又はそのおそれがある者に対し、住宅確保給付金を支給することにより、安定した住居の確保と就労自立を図る。</p> <p>(任意事業) 家計相談支援事業 生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、家計収支の均衡が取れていないなど、家計に問題を抱える者に対して、家計を管理する力を高めるなど、家計の観点から継続的・総合的支援を行うことにより、家計収支を適正化し、生活の再建を図ることを目的とする。</p>			計画値	自立相談支援窓口設置 1カ所	住宅確保給付金 3件
	<p>自立相談支援事業を社会福祉法人遠野市社会福祉協議会に委託し、健康福祉の里内に設置した自立生活相談窓口において、相談、訪問等を通じて策定した支援計画に基づき必要な支援を展開した。</p> <p>支援を行った方の内9人の方について評価を行い、8人の方に健康状態の改善、生活習慣の改善、自立意欲の向上等の変化がみられた。</p> <p>(参考) 自立相談支援事業実施状況(平成29年度)</p> <p>1 新規相談受付件数 81件 2 支援調整会議 12回開催</p>				実績値	自立相談支援窓口設置 1カ所
成果	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
	13,125,000	11,328,959	6,677,000	0	0	4,651,959

03款	民生費	01項	社会福祉費	01目	社会福祉総務費	
事業名					社会福祉協議会運営支援事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	社会福祉協議会運営支援事業費のうち、松崎地区センター事務室整備について年度内完了が見込めないため繰り越したものである。			計 画 値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区センター事務室改善</li> <li>・トイレのバリアフリー化</li> <li>・会議室のバリアフリー化</li> <li>・北側通用口設置</li> </ul>	
	成果	社会福祉協議会と松崎地区センターの事務室共有が解消され、手狭であった職場環境が改善された。 これにより、相談時におけるプライバシー保護、老朽施設の改修、会議室の新設、利用者のバリアフリー化など利便性の向上が図られた。			実 績 値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区センター事務室改善</li> <li>・トイレのバリアフリー化</li> <li>・会議室のバリアフリー化</li> <li>・北側通用口設置</li> </ul>
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
50,341,000	50,341,000	0	0	0	50,341,000	

03款	民生費	01項	社会福祉費	01目	社会福祉総務費	
事業名					長寿一般事務費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	急傾斜地に隣接する養護老人ホーム長寿の森吉祥園の安全性確認及び最適な防災対策を講じるため、当該施設裏法面の地質調査を行い、法面工事の要否を確認する。			計 画 値	養護老人ホーム長寿の森吉祥園裏法面調査  機械ボーリング 2カ所 標準貫入試験 2カ所 簡易動的コーン貫入試験 17カ所 解析等調査業務 1件 測量業務 1件	
	成果	地質調査等の結果、降雨等（日降雨量30～40mm超が3日間程度）により斜面の安定度が低下し、地震（レベル1クラスの地震動）が作用すると小規模な不安定化の傾向はあるが、緩勾配の法面が形成され比較的安定した地盤であり、平常時では現状の法面、現況斜面に大崩落や大規模地すべりを誘発する地質的要因は認められなかった。 調査結果に基づき、早急な工事の必要性は低いと判断し、同地に係る防災対策については、築30年以上経過する養護老人ホーム長寿の森吉祥園建物（社会福祉法人とおの松寿会所有）の大規模改修や移築計画等と併せ検討を行う。			実 績 値	養護老人ホーム長寿の森吉祥園裏法面調査  機械ボーリング 3カ所 標準貫入試験 3カ所 簡易動的コーン貫入試験 17カ所 解析等調査業務 1件 測量業務 1件
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
7,733,000	5,356,800	0	0	0	5,356,800	

03款	民生費	01項	社会福祉費	01目	社会福祉総務費				
事業名					臨時福祉給付金事業費（繰越明許費）	単位：円			
事業内容	「一億総活躍社会」実現の加速に向け、社会全体の所得と消費の底上げのため、消費税引上げに伴う低所得の住民への影響緩和に鑑み臨時福祉給付金（経済対策分）を支給する。 支給額 1人につき15,000円			計 画 値	対象見込人数	7,000人			
	成果	平成29年3月21日から6月21日までの3カ月間、申請書の受付・給付金の支給を実施し、所得の低い方への負担の影響緩和を図った。 郵便申請受付と窓口受付として遠野健康福祉の里やとぴあ庁舎のほか、各地区センターなど市内10カ所の窓口を設置した。また、臨時受付として日曜受付を行い、申請率の向上に努めた。			実 績 値	給付対象者	6,553人		
						支給決定	6,206人		
					不支給決定	14人			
					申請率	94.92%			
予	算	額	決	算	額	財 源 内 訳			
						国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
110,986,000		97,868,854		97,868,000		0		0	854



03款	民生費	01項	社会福祉費	02目	障害福祉費															
事業名					重度心身障害者医療費給付事業費	単位：円														
事業内容	<p>重度心身障害者に対して医療費の一部を給付し、適正な医療の確保及び生活の安定と健康保持を図り、福祉の増進に資する。</p> <p>【受給対象者】</p> <p>1 身体障害者手帳の交付を受けている者で、等級が1級又は2級の者</p> <p>2 特別児童扶養手当の支給対象児童で、等級が1級に該当する者</p> <p>3 国民年金法の1級の障害基礎年金を支給されている者</p> <p>4 療育手帳の交付を受けている者で、等級がA級の者</p> <p>所得判定対象者（受給資格対象者、配偶者、生計同一の扶養義務者等）の所得が所得制限限度額（特別児童扶養手当等の支給に関する法律施行令に定める所得制限限度額を準用）以内のものを対象とする。ただし、4歳未満の者についての所得制限はなし。</p>			<p>受給者証保有者数</p> <p>一般 429人</p> <p>後期高齢 385人</p> <p>給付延べ見込者数</p> <p>一般 3,880人</p> <p>後期高齢 3,350人</p> <p>一人当たり給付費</p> <p>一般 16,430円</p> <p>後期高齢 9,194円</p>																
				計 画 値																
成果	<p>医療費の自己負担額から、医療機関ごとに1カ月当たり入院は2,500円を超える額、入院外は750円を超える額をそれぞれ給付した。</p> <p>受給資格対象者が3歳未満である場合及び所得判定対象者全員が住民税非課税の場合は全額を給付した。</p> <p>なお、重度心身障害者医療費給付の受給資格を持つ未就学児については現物給付のため、受給者証を提示した場合、医療費の一部負担金のうち、医療機関ごとに1カ月当たり入院は2,500円、入院外は750円までの窓口負担で受診できるようになった。</p> <p>また、4歳未満の者については所得制限なし。</p> <p>支給総額は86,866,643円となった。</p> <p>重度（一般） 59,816,568円</p> <p>重度（後期高齢） 27,050,075円</p>			<p>受給者証保有者数</p> <p>一般 422人</p> <p>後期高齢 363人</p> <p>給付延べ実績者数</p> <p>一般 3,891人</p> <p>後期高齢 3,323人</p> <p>一人当たり給付費</p> <p>一般 15,373円</p> <p>後期高齢 8,140円</p>																
				実 績 値																
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		96,423,000			88,632,883				37,085,646				0			9,907,383				41,639,854

03款 民生費		01項 社会福祉費		02目 障害福祉費	
事業名 身体障害者3級医療費給付事業費					単位：円
事業内容	身体障害者手帳3級の所持者に対して医療費の一部を給付し、生活の安定を図るとともに、身体障害者の福祉の増進に資する。			計 画 値	受給者証保有者数 195人
					給付延べ見込者数 1,660人
成果	医療費の自己負担額の2分の1の額を給付し、身体障がい者の福祉の増進を図った。 支給総額は5,297,897円となった。			実 績 値	受給者証保有者数 178人
					給付延べ実績者数 1,660人
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6,974,000	5,819,528	0	0	323,677	5,495,851

03款 民生費		01項 社会福祉費		02目 障害福祉費	
事業名 障害者自立支援介護給付費					単位：円
事業内容	障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービスの利用に対し、自立支援給付費（介護給付費等）を支給する。また、身体障がい者が補装具を購入又は修理する費用を支給する。			計 画 値	障がい福祉サービス支給決定者 260人
	1 自立支援給付 訪問系サービス：ホームヘルプ、短期入所等 日中活動系サービス：生活介護、就労継続支援等 居住系サービス：グループホーム、施設入所支援 2 補装具費支給				補装具費支給 100件
成果	ホームヘルパーの派遣やグループホームを利用させることなどにより、障がい者の日常生活の支援を行うことができた。 補装具を必要とする身体障がい者に対し、補装具を支給することにより、日常生活における負担の軽減と社会参加を促すことができた。			実 績 値	障がい福祉サービス支給決定者 234人
					補装具費支給 112件
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
607,960,000	596,095,343	444,973,350	0	25,000	151,096,993

03款	民生費	01項	社会福祉費	02目	障害福祉費	
事業名					障害者自立支援医療給付費	単位：円
事業内容	障害者総合支援法の趣旨に則り、次の医療給付を行う。 1 更生医療：障がい者の障がいの状態の軽減を図り自立した日常生活を営むため、その障がいを治療するための給付 2 育成医療：18歳未満の児童に対し、生活の能力を得る為に、その身体障がいを除去、軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できる者に対する給付 3 療養介護：病院等への長期の入院による医療的ケアに加え、常時の介護を必要とする身体・知的障がい者に対する給付 ・本人原則1割負担（世帯の所得に応じた上限額有り） ・都道府県が指定した、指定自立支援医療機関での医療が対象			計画値	更生医療給付者 8人 育成医療給付者 4人 療養介護医療給付者 10人	
	成果	障がい児や障がい者等の身体障がいの除去や状態の軽減を図る医療給付を行い、経済的な負担の軽減を図った。 【主な給付内容】 更生医療：人工透析、抗免疫療法 育成医療：口蓋裂、腎臓機能障害、尿道下裂			実績値	更生医療給付者 7人 育成医療給付者 5人 療養介護医療給付者 11人
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
27,436,000	27,432,953	20,518,055	0	0	6,914,898	

03款	民生費	01項	社会福祉費	02目	障害福祉費	
事業名					特別障害者手当	単位：円
事業内容	1 在宅の重度障がい者（児）に対して、その障がいによる経済的な負担を軽減するため、特別障害者手当等を支給する。 (1) 特別障害者手当 26,830円/月（平成29年3月まで） 26,810円/月（平成29年4月から） (2) 障害児福祉手当 14,600円/月（平成29年3月まで） 14,580円/月（平成29年4月から） 2 在宅で常に介助を必要とする重度身体障がい者を介護する家族に対し手当を支給する。 (1) 在宅重度障害者家族介護慰労手当 3,500円/月			計画値	1 特別障害者手当 45人 障害児福祉手当 14人 2 在宅重度障害者 家族介護慰労手当 1人	
	成果	在宅の重度障がい者（児）及び在宅で常に介助を必要とする重度身体障がい者を介護する家族に対し、日常生活、家庭内又は社会における生活の安定を図るために、経済的支援をすることができた。			実績値	1 特別障害者手当 49人 障害児福祉手当 13人 2 在宅重度障害者 家族介護慰労手当 2人
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
14,371,000	14,191,160	10,584,794	0	0	3,606,366	

03款	民生費	01項	社会福祉費	02目	障害福祉費				
事業名					障がい者福祉タクシー事業費	単位：円			
事業内容	重度障がい者等に対し、タクシー料金の一部を助成することにより、社会参加の促進及び通院等の日常生活における移動の支援を図るため、福祉タクシー助成券（580円分）を一月当たり2枚交付する。 <b>【対象者】</b> 身体障害者手帳1級・2級 療育手帳A 精神障害者保健福祉手帳1級のいずれかの手帳を所持している者（ただし、施設入所者や自動車税の免除を受けている者を除く）。 <b>【契約事業者】</b> 遠野交通（株）、（有）まるきタクシー、（株）宮守交通、（社福）遠野市社会福祉協議会			計 画 値	利用人員 250人 交付枚数 6,000枚 使用枚数 4,200枚 利用率 70%				
	成果	社会参加や通院等に福祉タクシー助成券が利用されており、障がい者福祉の向上に寄与した。 <b>【利用内訳】</b> 1 身体障害者手帳1級・2級の者 144人利用 2,677枚使用 2 療育手帳Aの者 7人利用 127枚使用 3 精神障害者保健福祉手帳1級の者 20人利用 394枚使用			実 績 値 交付者数 214人 利用人数 171人 交付枚数 4,584枚 使用枚数 3,198枚 利用率 69.8%				
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳
						国	県	支	出
						金			
						地	方	債	
						そ	の	他	
						一	般	財	源
	2,536,000		1,954,821			0		0	
									1,954,821

03款 民生費		01項 社会福祉費		02目 障害福祉費		
事業名 障がい者生活応援事業費			単位：円			
事業内容	<p>1 障がい者及び障がい児が地域で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業を効率的・効果的に実施し、地域の障がい者福祉の増進に資する。 障がい者相談支援事業 意思疎通支援事業 日常生活用具給付事業 移動支援事業 地域活動支援センター 型・型事業 訪問入浴サービス事業 日中一時支援事業 レクリエーション活動等支援事業 社会参加促進事業</p> <p>2 障害者総合支援法の趣旨に則り、障害支援区分認定審査会を開催し障害支援区分の認定を行う。また、認定調査、医師意見書作成や審査会の運営等に係る費用を負担する。</p> <p>3 老人性難聴のために日常生活を営むのに支障のある者へ補聴器費用を助成することにより、日常生活上の便宜を図り、福祉の増進に資する。 【対象者】 市内に住所を有する60歳以上の者で、一定基準の聴力レベルにあるもの。</p>			計 画 値	<p>相談支援専門員 2人 意思疎通支援派遣回数 30回 日常生活用具支給件数 145件 移動支援事業 2事業所 地域活動支援センター 型 5事業所 型 1事業所 訪問入浴サービス事業 1事業所 日中一時支援事業 6事業所 ふれあい交流会 170人 デイケア事業 120人 審査会開催回数 36回 意見書作成件数 110件 認定調査件数 125件 補聴器支給者数 15人</p>	
	<p>1 障がい者及び障がい児が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう地域の特性や利用者の状況に応じた事業を実施し、地域の障がい者福祉の増進を図った。 障がい者相談支援事業 意思疎通支援事業 日常生活用具給付事業 移動支援事業 地域活動支援センター 型・型事業 訪問入浴サービス事業 日中一時支援事業 レクリエーション活動等支援事業 (ふれあい交流会) 社会参加促進事業 (デイケア事業)</p> <p>2 障害支援区分認定審査会を開催し、障害福祉サービス利用申請者の障害支援区分を適正に認定した。</p> <p>3 補聴器費用を助成することにより、軽度難聴者の日常生活の向上及び自立と社会参加を推進している。</p>				実 績 値	<p>相談支援専門員 2人 意思疎通支援派遣回数 83回 日常生活用具支給件数 158件 移動支援事業 1事業所 地域活動支援センター 型 4事業所 型 1事業所 訪問入浴サービス事業 1事業所 日中一時支援事業 6事業所 ふれあい交流会 149人 デイケア事業 132人 審査会開催回数 11回 意見書作成件数 67件 認定調査件数 79件 補聴器支給者数 21人</p>
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
40,072,000	38,040,783	17,312,000	0	0	20,728,783	

03款	民生費	01項	社会福祉費	03目	老人福祉費	
事業名					老人保護措置費	単位：円
事業内容	老人福祉法の規定に基づき、65歳以上の高齢者等で環境上の理由及び経済的理由により在宅において一人で生活することが困難な方などをその状態に応じて、養護老人ホームへ入所させるなどの措置を行う。			計 画 値	措置者数	55人
	成果	入所判定委員会を4回開催し、養護老人ホーム入所の要否判定を行った。また、環境上の理由及び経済的理由から在宅での養護を受けることが困難な方を養護老人ホームに入所させ、当該高齢者の心身の健康保持及び生活の安定を図った。			実 績 値	措置者数 55人 (平成30年3月末) 【内訳】 ・長寿の森吉祥園 (遠野市) 46人 ・祥風苑(大船渡市) 4人 ・宝寿荘(花巻市) 4人 ・清寿荘(宮古市) 1人
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
124,100,000	118,958,513	0	0	19,717,915	99,240,598	

03款	民生費	01項	社会福祉費	03目	老人福祉費	
事業名					シルバー人材センター運営事業費	単位：円
事業内容	高齢者の生きがいづくりや健康の保持増進、社会活動への積極的な参加による活力ある地域づくりを推進するため、国の制度に則り、公益社団法人遠野市シルバー人材センターの運営事業費を補助する。			計 画 値	運営事業費補助額	10,381,000円
	成果	高齢者が遠野市シルバー人材センターの会員として、それぞれの知識や技能等を活かした就業により、高齢者の生きがいづくりや健康の保持増進、社会参加につながっている。また、厚生労働省のモデル事業では、県内初となる生涯現役促進地域連携事業により創設された「遠野市生涯現役いきいき促進協議会」の構成団体として、高齢者の経験と技術の活用促進を図った。			実 績 値	会員数 260人 就業延べ人数 14,500人日 会員受取配分金総額 51,891,000円 就業率 100%
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
10,381,000	10,381,000	0	0	0	10,381,000	

03款	民生費	01項	社会福祉費	03目	老人福祉費	
事業名					介護保険サービス利用者支援事業費	単位：円
事業内容	<p>介護保険サービスを利用する低所得者が、通常の10%の利用者負担により介護サービスの利用を自己制限することのないよう、必要なサービスの利用者支援の施策として、国の特別対策と市の独自対策を含めて、利用者負担の4.5%（施設2.5%）を軽減することで低所得者のサービス利用を促進する。</p> <p>【対象サービス（社会福祉法人が実施するサービスで介護予防も含む。）】 訪問介護、通所介護、短期入所生活介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、複合型サービス、介護福祉施設サービス、第1号訪問事業のうち介護予防訪問介護に相当する事業（自己負担割合が保険給付と同様のものに限る）、第1号通所事業のうち介護予防通所介護に相当する事業（自己負担割合が保険給付と同様のものに限る）、訪問看護、訪問入浴介護</p>			計画値	利用対象者延べ人数 216人	
	<p>介護を要する状態となっても、必要な介護サービスを総合的に利用することで、可能な限り在宅で日常生活を営むことができるよう低所得者への利用料負担の軽減を実施した。</p> <p>経済的事情により介護サービスの利用が抑制されることのないよう利用者負担の軽減を実施することで、低所得者のサービス利用が図られた。</p>			実績値	利用対象者延べ人数 139人	
成果						
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
5,400,000	4,229,534	810,000	0	0	3,419,534	

03款	民生費	01項	社会福祉費	03目	老人福祉費	
事業名					生活支援ハウス運営事業費	単位：円
事業内容	60歳以上のひとり暮らし、夫婦のみの世帯及び家族による援助を受けることが困難な方で、高齢等のため独立して生活することに不安のある方を一時的に生活支援ハウス長寿園に入所させ、安心して生活できるよう援助する。			計 画 値	利用者延べ人数	70人
					利用延べ日数	2,000日
成果	冬期間や退院直後の体調不良等により、在宅生活が困難となる高齢者等に生活の場を一時的に提供して生活していただき、安心して在宅生活に復帰できるよう支援した。生活支援ハウスを利用することで、高齢者等が住み慣れた地域や自宅で継続して生活することに結びついた。			実 績 値	利用者延べ人数	53人
					利用延べ日数	1,349日
予	算	額	決	算	額	財 源 内 訳
						国 県 支 出 金
						地 方 債
						そ の 他
						一 般 財 源
	9,054,000		8,041,230		0	0
						62,231
						7,978,999



03款 民生費		01項 社会福祉費		03目 老人福祉費	
事業名 高齢者在宅福祉事業費					単位：円
事業内容	<p>高齢者が住み慣れた地域で、可能な限り生涯にわたり心身ともに健康でいきいきと暮らしていくことができるよう集いの場を提供し、生きがいづくりや健康づくりの推進、認知症予防や介護予防のための指導を行う。</p> <p>また、在宅生活を支援するためのサービス提供や日常生活用具の貸与や給付を行う。</p> <p>具体的には、ふれあい・いきいきサロン事業補助、生きがい活動支援通所事業、外出支援サービス事業、軽度生活援助事業、生活管理指導短期宿泊事業、緊急通報装置の貸与、電磁調理器・自動消火器の給付により在宅での生活支援を行う。</p>			<p>ふれあい・いきいきサロン 30団体</p> <p>生きがい活動 6,300人</p> <p>外出支援 1,300回</p> <p>軽度生活援助 3,000時間</p> <p>短期宿泊 300日</p> <p>緊急通報装置 35台</p> <p>電磁調理器 5台</p> <p>火災警報器 10台</p> <p>自動消火器 5台</p>	
	<p>高齢者が住み慣れた地域社会での生活をできるだけ長く継続できるよう事業を実施した。</p> <p>1 ふれあい・いきいきサロン事業補助 遠野市社会福祉協議会が行った事業に要した経費に対し、補助金を交付した。高齢者に集いの場を提供することで、孤立感の解消や生きがい支援を行った。</p> <p>2 生きがい活動支援通所事業 外出機会の少ない高齢者の貴重な交流等の機会を提供し、生きがいづくりと社会参加を促進した。</p> <p>3 外出支援サービス事業 寝たきり等で病院受診が困難な高齢者に特殊車両による送迎を行い、通院時等の負担を軽減した。</p> <p>4 軽度生活援助事業 加齢による身体機能の低下等で、除雪や食材確保など日常生活に支障のある高齢者世帯に軽度の生活援助を行った。</p> <p>5 生活管理指導短期宿泊事業 体調不良等で在宅生活が困難となった一人暮らし高齢者等が、一時的に施設入所し体調調整を図った。</p> <p>6 日常生活用具の貸与・給付 心疾患等を抱える高齢者世帯に緊急通報装置を貸与し、急病時等の通報ができるようにした。</p>			<p>ふれあい・いきいきサロン 29団体</p> <p>生きがい活動 6,232人</p> <p>外出支援 1,045回</p> <p>軽度生活援助 1,347時間</p> <p>短期宿泊 23日</p> <p>緊急通報装置 29台</p>	
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
37,678,000	35,707,213	0	0	4,397,540	31,309,673

03款	民生費	01項	社会福祉費	03目	老人福祉費																											
事業名					高齢者元気アップ活動事業費	単位：円																										
事業内容	<p>高齢者の健康保持増進と生きがいを高めるため、各種大会等の実施を支援する。</p>			計画値	各種スポーツ大会数 5回 各種スポーツ大会参加者数 1,500人 老人クラブ加入者数 2,570人																											
	<p>高齢者が生きがいを持ち健やかに生活できるよう、老人クラブが行う自主的な活動等の支援を行った。            また、岩手県老人クラブ大会が本市で開催され、県内各地から多くの会員が集結。高齢者相互の連携を深める大会を成功させるための支援を行った。</p> <p>1 各種スポーツ大会等</p> <table border="0"> <tr><td>生き生き高齢者体力測定</td><td>55人</td></tr> <tr><td>ゲートボール・ペタンク大会</td><td>328人</td></tr> <tr><td>女性部グラウンドゴルフ大会</td><td>約130人</td></tr> <tr><td>さわやかスポーツ大会</td><td>約460人</td></tr> <tr><td>壮年部グラウンドゴルフ大会</td><td>196人</td></tr> <tr><td>いきいきシニアスポーツ大会</td><td>89人</td></tr> <tr><td>健康ウォーキング</td><td>77人</td></tr> <tr><td>シルバー室内競技大会</td><td>約400人</td></tr> </table> <p>2 その他事業</p> <table border="0"> <tr><td>岩手県老人クラブ大会(遠野市会場)</td><td>約150人</td></tr> <tr><td>シルバー文化祭(舞台部門)</td><td>約350人</td></tr> <tr><td>リーダー研修会</td><td>約200人</td></tr> <tr><td>女性部事業</td><td>29人</td></tr> <tr><td>シルバー室内競技大会(囲碁・将棋部門)</td><td>15人</td></tr> <tr><td>環境整備ボランティア</td><td>113人</td></tr> </table>				生き生き高齢者体力測定	55人	ゲートボール・ペタンク大会	328人	女性部グラウンドゴルフ大会	約130人	さわやかスポーツ大会	約460人	壮年部グラウンドゴルフ大会	196人	いきいきシニアスポーツ大会	89人	健康ウォーキング	77人	シルバー室内競技大会	約400人	岩手県老人クラブ大会(遠野市会場)	約150人	シルバー文化祭(舞台部門)	約350人	リーダー研修会	約200人	女性部事業	29人	シルバー室内競技大会(囲碁・将棋部門)	15人	環境整備ボランティア	113人
生き生き高齢者体力測定	55人																															
ゲートボール・ペタンク大会	328人																															
女性部グラウンドゴルフ大会	約130人																															
さわやかスポーツ大会	約460人																															
壮年部グラウンドゴルフ大会	196人																															
いきいきシニアスポーツ大会	89人																															
健康ウォーキング	77人																															
シルバー室内競技大会	約400人																															
岩手県老人クラブ大会(遠野市会場)	約150人																															
シルバー文化祭(舞台部門)	約350人																															
リーダー研修会	約200人																															
女性部事業	29人																															
シルバー室内競技大会(囲碁・将棋部門)	15人																															
環境整備ボランティア	113人																															
成果																																
予算額	決算額	財源内訳																														
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																											
3,153,000	2,952,487	1,565,000	0	0	1,387,487																											

03款	民生費	02項	児童福祉費	02目	児童措置費	
事業名					わらすっこプラン推進事業費	単位：円
事業内容	遠野市少子化対策・子育て支援総合計画（通称：遠野わらすっこプラン）に基づき、子どもだけでなく子どもの権利を保障する大人（保護者、地域、学校、事業者等）も対象とした子育て支援事業を普及する。			計画値	1 条例・プラン事業の普及啓発	1事業
	1 遠野市わらすっこ条例普及啓発事業 2 遠野市わらすっこ支援委員会運営事業 3 遠野市わらすっこ基金事業				2 わらすっこ支援委員会	3回
成果	1 わらすっこ条例応援事業者認定制度により、子育て支援を積極的に実施している事業者を新たに2事業者認定し、地域全体で子育てを応援する環境をさらに促進した。 また、毎月遠野テレビで「子育て情報ガイドわらすっこナビ！」を放送し、子育て支援関連事業を広く周知することができた。			実績値	3 わらすっこ基金への寄附金	5件 500,000円
	2 わらすっこプラン関連事業や、わらすっこプラン事業の評価等を審議するため、遠野市わらすっこ支援委員会を3回開催した。 3 わらすっこ基金への寄附金9件1,974,300円、運用利子16,577円、ふるさと納税分（わらすっこプラン事業への寄附金のうち経費等を除いた分）1,056,000円を積み立てるとともに、子育て支援事業に活用した。				1 わらすっこ条例応援認定事業者	2事業所
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
3,948,000		3,826,590		0	0	3,250,877
				一 般 財 源		
				575,713		

03款	民生費	02項	児童福祉費	02目	児童措置費	
事業名					看護保育安心サポート事業費	単位：円
事業内容	保護者が就労している等の理由により、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合に対応するため、遠野市病児等保育施設「わらっぺホーム」の運営を社会福祉法人遠野市保育協会に委託し、病気の子ども（小学6年生まで）を一時的に保育する。			計画値	開設日数	240日
					登録者数	200人
成果	核家族化や両親の共働き世帯が増えるなか、病気の子どもを保育する「わらっぺホーム」の需要は高く、登録者数は増加傾向にある。子育てと就労の両立を支援するための施設として、安心して子育てができる環境の維持に努めた。			実績値	利用者数	500人
	【参考】 1 平成26年度（開設日数 242日） 登録者数 211人、年間利用者数延べ 527人（1日平均 2.18人） 2 平成27年度（開設日数 241日） 登録者数 226人、年間利用者数延べ 591人（1日平均 2.45人） 3 平成28年度（開設日数 244日） 登録者数 237人、年間利用者数延べ 553人（1日平均 2.29人）				（実数 158人） 1日平均 2.61人 利用者の年齢 0歳～10歳	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
13,517,000		12,662,576		5,822,000	0	1,208,000
				一 般 財 源		
				5,632,576		

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 わらすっこの育ち療育支援事業費					単位：円
事業内容	障がいのある児童や発達に遅れが生じるおそれがある児童等に対して、個別活動や集団活動を取り入れた療育支援教室を実施し、心身の発達を促すとともに、軽中等度の難聴児に対しては補聴器具の購入に伴う補助を行う。 また、就学している障がい児が日中一時支援事業を利用した際に伴う利用料の自己負担額分を助成することにより、保護者の経済的負担を軽減し、療育支援を図る。			計 画 値	療育支援教室 のびっこ教室 14人 ジャンプ教室 6人 幼児ことばの教室 11人 軽度・中等度難聴児補聴器 助成 2件
	成果	1 臨床心理士等による助言を基に、支援が必要な就学前の児童に対して療育支援教室を開催し、児童にあわせた個別活動等適正な指導により、心身の育成の助長を行った。 また、発音や吃音などのことばの発達が気になる年長児に対して幼児ことばの教室を開催し、就学後の生活が円滑に進むよう指導を行った。 2 児童の生活機能の向上や社会的な自立生活に向けた支援の充実を図るため、日中一時支援事業利用料の自己負担額の全額を助成し、保護者の経済的負担を軽減した。			実 績 値
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳		
7,753,000	7,137,193	国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
		0	0	0	7,137,193

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 わらすっこの居場所事業費					単位：円
事業内容	児童の放課後等の健全育成を図るため、児童館や児童クラブを利用し学童保育を行うとともに、健全な遊びを通して児童の健康増進と豊かな情操を育む。 1 児童館指定管理委託 2 放課後児童健全育成業務委託（児童クラブ運営業務委託） 3 児童館及び児童クラブ育成団体等運営費補助金			計 画 値	児童館 6カ所 児童クラブ 5カ所 利用延べ人数 135,300人
	成果	児童の放課後等の健全育成を図るため、社会福祉法人遠野市保育協会に管理運営を委託し、児童館や児童クラブの利用児童に対し、遊びを通して自主性や社会性、創造性を培う等、豊かな情操教育に努めた。 また、育成団体等に対し、親子行事や世代間交流事業等の様々な体験活動の事業実施を支援した。 1 児童館指定管理料 74,084,000円 2 児童クラブ運営業務委託料 32,116,000円 3 児童館及び児童クラブ育成団体等運営費補助金 3,110,000円 4 その他 25,520円			実 績 値
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳		
109,602,000	109,335,520	国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
		35,306,000	0	0	74,029,520

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費											
事業名 児童手当					単位：円										
事業内容	<p>児童を養育している家庭等の生活の安定に寄与すること及び次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的として、中学校修了までの児童の保護者等に対し、児童手当を年3回（6月、10月、2月）支給する。</p>			計 画 値	支給見込延べ児童数 32,097人 支給見込総額 358,962,000円										
	成果	<p>支給対象となっている児童の保護者等に計画どおり年3回（6月、10月、2月）支給し、児童の健やかな成長に寄与した。</p> <p>1 支給金額（児童1人当たり月額）</p> <p>(1) 3歳未満及び3歳以上小学校修了前の第3子以降 15,000円</p> <p>(2) 3歳以上小学校修了前の第1・2子及び中学生 10,000円 児童の保護者等の所得が、所得制限限度額以上の場合は、5,000円</p> <p>2 支給実績総額（内訳）</p> <table border="0"> <tr> <td>3歳未満</td> <td>70,020,000円</td> </tr> <tr> <td>3歳以上小学校修了前の第1・2子</td> <td>157,000,000円</td> </tr> <tr> <td>3歳以上小学校修了前の第3子以降</td> <td>55,950,000円</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>70,330,000円</td> </tr> <tr> <td>特例給付</td> <td>1,930,000円</td> </tr> </table>			3歳未満	70,020,000円	3歳以上小学校修了前の第1・2子	157,000,000円	3歳以上小学校修了前の第3子以降	55,950,000円	中学生	70,330,000円	特例給付	1,930,000円	実 績 値
3歳未満		70,020,000円													
3歳以上小学校修了前の第1・2子	157,000,000円														
3歳以上小学校修了前の第3子以降	55,950,000円														
中学生	70,330,000円														
特例給付	1,930,000円														
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳													
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源										
358,962,000	356,245,072	301,074,664	0	0	55,170,408										

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費							
事業名 児童扶養手当給付費			単位：円								
事業内容	児童扶養手当法に基づき、ひとり親家庭等の父または母等に児童扶養手当を支給することにより、生活の安定と自立促進を支援する。			計 画 値	新規申請者 35人 資格喪失者 25人 年間支給延べ人数 2,832人						
	成果	ひとり親家庭等の保護者で、支給要件に該当する児童を養育している保護者に児童扶養手当を年3回（4月・8月・12月）支給した。 また、手当支給のみならず、ニーズに合った各種支援につなげるため、現況届提出の際に個別に相談に応じたほか、弁護士によるひとり親家庭相談会実施の周知等を行い、ひとり親家庭等の生活の安定と自立促進を支援した。			実 績 値	新規申請者 34人 資格喪失者 29人 年間支給延べ人数 2,691人 うち全部支給者 947人 一部支給者 1,744人					
		平成30年3月末現在受給資格者数 256人 うち 手当基本月額全部支給者 79人 " 一部支給者 132人 " 全部停止者 45人									
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国 県 支 出 金		地 方 債		そ の 他		一 般 財 源	
104,684,000		104,095,054		34,569,583		0		0		69,525,471	

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費							
事業名 乳幼児等医療費給付事業費			単位：円								
事業内容	乳幼児、妊産婦に対して医療費の一部を現物給付し、子育て環境の充実と生活の安定及び適正な医療の確保と健康保持を図り、福祉の増進に資する。 【受給対象者】 1 乳幼児・・・出生から小学校就学前までの者 2 妊産婦・・・妊娠5カ月に達する日の属する月の初日から、出産した日の属する月の翌月末日までの者 所得判定対象者（保護者、配偶者等）の所得が所得制限限度額（児童扶養手当法施行令又は特別児童扶養手当等の支給に関する法律施行令に定める所得制限限度額を準用）以内の者を対象とする。ただし、4歳未満の乳幼児と妊産婦の所得制限はなし。			計 画 値	受給者証保有者数 乳幼児 1,045人 妊産婦 71人 給付延べ見込者数 乳幼児 10,560人 妊産婦 700人 一人当たり給付費 乳幼児 1,751円 妊産婦 12,857円						
	成果	現物給付により、受給者証を提示した場合、医療費の一部負担金のうち、医療機関ごとに1カ月当たりの入院は2,500円、入院外は750円までの窓口負担で受診できるようになった。市では自己負担額を超えた額をそれぞれ給付した。ただし、受給資格対象者が3歳未満である場合及び所得判定対象者が住民税非課税の場合は全額を給付した。 支給総額は26,637,202円となった。			実 績 値	受給者証保有者数 乳幼児 1,003人 妊産婦 74人 給付延べ実績者数 乳幼児 5,974人 妊産婦 517人 一人当たり給付費 乳幼児 2,867円 妊産婦 18,385円					
		乳幼児 17,131,923円 妊産婦 9,505,279円									
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳							
				国 県 支 出 金		地 方 債		そ の 他		一 般 財 源	
30,508,000		29,743,993		8,295,483		0		4,478,987		16,969,523	

03款	民生費	02項	児童福祉費	02目	児童措置費	
事業名					小学生・中学生医療費給付事業費	単位：円
事業内容	市内に在住する小学生及び中学生、市内に在住する者に養育される小学生及び中学生の医療費の一部を給付し、心身の健康を保持するとともに生活の安定を図り、小学生及び中学生の福祉の増進に資する。			計 画 値	受給者証保有者数	
					小学生	864人
成果	医療費の自己負担額の2分の1の額を給付した。ただし、小学生の入院分のみ5,000円を超える額（保護者に住民税が課税されていない場合は全額）を給付し、福祉の増進を図った。 支給総額は9,640,434円となった。			実 績 値	受給者証保有者数	
	小学生 6,698,039円 中学生 2,942,395円				小学生	831人
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
10,995,000		10,953,508		0	0	0
				一 般 財 源		
				10,953,508		

03款	民生費	02項	児童福祉費	02目	児童措置費	
事業名					ひとり親家庭医療費給付事業費	単位：円
事業内容	ひとり親家庭に対して医療費の一部を給付し、適正な医療の確保及び生活の安定と健康保持を図り、福祉の増進に資する。 【受給対象者】 1 父母・・・母子及び父子並びに寡婦福祉法に定める配偶者のない女子及び男子で18歳に達する日以後の最初の3月31日までの者を扶養している者 2 児童・・・1の扶養を受けている児童 3 母子及び父子並びに寡婦福祉法附則に定める父母のいない児童所得判定対象者（受給資格対象者、生計同一の扶養義務者等）の所得が所得制限限度額（児童扶養手当施行令に定める所得制限限度額を準用）以内の者を対象とする。			計 画 値	受給者証保有者数	
					父母	236人
成果	医療費の自己負担額から、医療機関ごとに1カ月当たり入院は2,500円を超える額、入院外は750円を超える額をそれぞれ給付した。 ただし、受給対象者が3歳未満である場合及び所得判定対象者全員が住民税非課税の場合は全額を給付した。 なお、現物給付により、ひとり親家庭（児童）の受給資格を持つ未就学児については、受給者証を提示した場合、医療費の一部負担金のうち、医療機関ごとに1カ月当たり入院は2,500円、入院外は750円までの窓口負担で受診できるようになった。 支給総額は9,936,171円となった。			実 績 値	受給者証保有者数	
					父母	223人
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
11,067,000		10,264,807		3,697,036	0	1,606,707
				一 般 財 源		
				4,961,064		

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 保育所等運営事業費（保育所運営委託）					単位：円
事業内容	ライフワークが多様化するなか、保護者の就労や出産等の理由により、保育所の利用を希望する子育て世代が増加していることから、保育の受け皿として市内12カ所の保育所の運営を委託し、2カ所の認定こども園の運営費を国の定める基準により負担することで、安心して子育てができる環境を提供し、児童の健全な育成を図る。			計 画 値	認可保育所定員 790人 認定こども園定員 223人 合計 1,013人
	成果	市内12カ所の保育所の運営を委託し、2カ所の認定こども園の運営費を負担することにより、安心で充実した子育て環境の提供を実現し、児童の健全な育成を推進した。 【年度末現在入所者数】 遠野 101人( 91.8%)、神明 83人(92.2%)、綾織 47人( 78.3%)、岩滝 29人( 72.5%)、附馬牛 37人(92.5%)、白岩 104人( 94.5%)、松崎 54人( 90.0%)、土淵 64人(91.4%)、青笹 99人( 99.0%)、上郷 54人(108.0%)、宮守 60人(63.1%)、達曽部 36人( 90.0%)、鱒沢 13人( 65.0%)、聖光 96人(78.0%)、合計 877人( 87.0%) 括弧内記載の割合は定員に対する充足率			実 績 値
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳		
966,648,000	964,658,397	国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
		551,918,622	0	100,993,670	311,746,105

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 保育所等運営事業費（保育所設置者運営）					単位：円
事業内容	地域の実情や、子育て世代における生活・就労形態の多様化に応じた保育サービスを提供するため、特別保育事業として「障害児保育事業」、「保育所地域活動事業」、「地域子育て支援拠点事業」、「延長保育事業」、「一時預かり事業」の実施を市内保育施設運営事業者に委託するとともに、保育所等の円滑な運営を図るため、社会福祉法人遠野市保育協会に対し運営費を補助する。			計 画 値	特別保育事業 4事業 地域子育て支援センター 1カ所 運営費補助 1件
	成果	1 生活・就労形態の多様化に応じた特別保育事業を実施することにより、子育て環境の充実を図った。 (1) 特別保育事業（障害児保育事業、保育所地域活動事業、延長保育事業、一時預かり事業の利用者延べ人数829人） 7,999,360円 (2) 地域子育て支援拠点事業（利用者延べ人数2,916人） 7,171,640円 (3) 平成28年度子ども・子育て支援交付金返還金 608,000円 2 社会福祉法人遠野市保育協会に対し運営費補助金を交付することで、保育所・認定こども園の円滑な運営を推進した。 (1) 社会福祉法人遠野市保育協会運営費補助金 35,153,000円			実 績 値
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳		
58,566,000	50,932,000	国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
		7,322,600	0	0	43,609,400



03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 子育て応援宣言のまち推進事業費					単位：円
事業内容	<p>1 地域子育て応援推進事業 育児の援助を行いたい人と育児の援助を受けたい人を会員として組織化し、地域において会員同士が行う相互援助活動を支援し、児童の福祉の向上を目指し、地域での子育て支援機能の強化に向けた体制を作る。</p> <p>2 子育て環境育成事業 遠野わらすっこプランに基づき、企業内託児施設の管理運営に要する経費の一部を助成し、施設の設置者の経済的負担の軽減を図り、子育て環境の充実及び地域福祉の向上、保護者等の子育て支援を図る。</p> <p>3 わらすっこ基金助成事業 遠野市わらすっこ基金助成要綱に基づき、地域社会で支え合う共助により子どもが健やかに育つ環境づくりの活動を充実し拡大することを目的として、遠野市わらすっこ基金を活用し助成金を交付する。</p> <p>4 わらすっこ応援券交付事業 市内に住所を有し、出生してから小学校就学前までの児童の親権を行う方、未成年後見人及びその他の方で、現に児童を監護し、かつ、扶養している方に対し、遠野市わらすっこ誕生応援事業実施要綱に基づき、木製写真立てと1万円分のわらすっこ応援券を贈呈する。</p>			<p>1 年間依頼件数 30件</p> <p>2 企業内託児施設助成 1施設 子育て支援員研修受講者 25人</p> <p>3 わらすっこ基金助成金交付 5団体</p> <p>4 贈呈予定人数 180人</p>	
				計 画 値	
成果	<p>1 地域子育て応援推進事業 ファミリー・サポート・センターを開設し、育児を援助したい人（まかせて会員）と育児の援助を受けたい人（おねがい会員）をマッチングし、相互援助活動を支援することで、子育て支援の環境整備を推進した。</p> <p>2 子育て環境育成事業 遠野わらすっこプランに基づき、企業内託児施設の運営を支援した。また、保育補助者などの子育て支援の担い手としての資質向上を図るため、子育て支援員研修を実施した。</p> <p>3 わらすっこ基金助成事業 子どもが健やかに育つ環境づくりの活動を普及・推進するため、活動団体に対し助成金を交付した。</p> <p>4 わらすっこ応援券交付事業 主任児童委員との連携により、出生のお祝いとして木製写真立てを贈呈するとともに、1万円分のわらすっこ応援券を交付した。</p>			<p>1 おねがい会員（援助を依頼） 60人 まかせて会員（地域で援助） 49人 事前打合せ会 16件 援助活動 31件</p> <p>2 企業内託児施設助成 1施設 子育て支援員研修受講者 24人</p> <p>3 わらすっこ基金助成金交付 5団体</p> <p>4 贈呈人数 138人</p>	
				実 績 値	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,652,000	6,748,226	2,133,000	0	2,479,000	2,136,226

03款	民生費	02項	児童福祉費	02目	児童措置費	
事業名					とおのスタイル結婚応援事業費	単位：円
事業内容	<p>少子化対策事業の一環として、「人材育成とネットワーク作り」及び「出会いの場の創出」という二つの目的を掲げ、独身者の交流を図る。 市内各地区センター、事業所から市が開催する企画スキル向上研修会に人材を派遣し、婚活事業主催者としての人材の育成を図る。また、自己演出力アップセミナーを開催し、独身者の婚活力アップの向上を目指す。</p>			計 画 値	<p>人材育成セミナー開催 6回 婚活イベント開催 3回</p>	
	成果	<p>婚活企画スキル向上研修及び自己演出力セミナーを開催することにより、出会いの場をマネジメントする能力の向上と、独身者の自己演出力、婚活力の向上を図った。 また婚活イベントを開催し、出会いの場の創出と機運の醸成を図った。</p> <p>婚活企画スキル向上研修 2回開催 21人参加 自己演出力アップセミナー（男性向け）2回開催 14人参加 自己演出力アップセミナー（女性向け）2回開催 12人参加 婚活イベント「とおの縁結び」 5回開催 88人参加</p>			実 績 値	<p>人材育成セミナー開催 6回 婚活イベント開催 5回</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,338,000	1,218,016	325,000	0	0	893,016	

03款	民生費	02項	児童福祉費	03目	母子福祉費	
事業名					寡婦等医療費給付事業費	単位：円
事業内容	<p>母子及び寡婦福祉法に規定する寡婦のうち69歳までの者に対して医療費の一部を給付し、寡婦家庭の健康保持と福祉の増進を図る。</p>			計 画 値	<p>受給者証保有者数 162人 給付延べ見込者数 940人 一人当たり給付費 6,489円</p>	
	成果	<p>医療費の自己負担額の2分の1の額を給付し、寡婦家庭の福祉の増進を図った。 支給総額は3,906,988円となった。</p>			実 績 値	<p>受給者証保有者数 150人 給付延べ実績者数 1,012人 一人当たり給付費 3,860円</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
6,568,000	4,256,594	0	0	0	4,256,594	

03款	民生費	02項	児童福祉費	04目	児童福祉施設費		
事業名		保育所施設整備事業費				単位：円	
事業内容	老朽化が進む附馬牛保育園を改築整備する社会福祉法人遠野市保育協会に対し、改築整備に要する費用を補助することにより、児童福祉施設の環境整備を図る。				計画値	附馬牛保育園改築 1棟	
	青笹町に次いで2例目となる児童館との合築方式を採用。子ども達が安全で健やかに生活できる保育環境を整備するため、改築事業を行った社会福祉法人遠野市保育協会に対して補助金を交付し、児童福祉の向上を図った。 附馬牛保育園改築整備事業費補助金 82,024,000円					実績値	附馬牛保育園改築 1棟 建物延面積 360.40㎡
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
82,024,000	82,024,000	54,683,000	27,300,000	0	41,000		

03款	民生費	02項	児童福祉費	04目	児童福祉施設費		
事業名		児童館施設整備事業費				単位：円	
事業内容	附馬牛保育園改築整備に併せ附馬牛児童館を新設することにより、子どもの放課後等の居場所をつくり健全な遊びを与える子育て環境の充実を図る。				計画値	附馬牛児童館新築 1棟	
	附馬牛保育園の改築整備に併せ、青笹町に次ぐ市内2例目となる保育園との合築方式を採用。放課後や長期休業時に児童の健全な遊び等を育む附馬牛町の「子育て支援の中核施設」として、一体的に整備した。 附馬牛児童館新築工事 72,896,760円 工事監理業務委託料 3,785,040円 備品購入費 1,677,780円 その他 340,232円					実績値	附馬牛児童館新築 1棟 建物延面積 260.85㎡
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
79,158,000	78,699,812	33,238,000	36,400,000	0	9,061,812		

03款	民生費	02項	児童福祉費	04目	児童福祉施設費															
事業名					児童館施設整備事業費（繰越明許費）	単位：円														
事業内容	附馬牛保育園の老朽化等に伴う改築工事に併せ附馬牛児童館を新築し、地域の子育て環境の整備を図る。 平成28年度 実施設計業務委託（H29年度へ繰越） 平成29年度 新築工事、備品購入 等			計	附馬牛児童館新築実施設計業務 1棟															
	成	事業計画に基づき、平成29年度内の児童館完成に向け、児童が安心・安全で快適に過ごすことができるよう、地域や保護者の意見を踏まえて、施設の実施設計書を作成した。 附馬牛児童館新築実施設計業務委託料 7,085,880円			実	附馬牛児童館新築実施設計業務 1棟														
果				績																
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		7,086,000			7,085,880			0					0			0				7,085,880

03款	民生費	03項	生活保護費	01目	生活保護総務費	
事業名					生活保護適正実施推進事業費	単位：円
事業内容	<p>生活保護の適正な運営を確保するため、診療報酬明細書の点検強化等による医療扶助の適正化、収入資産・扶養能力調査の充実強化による認定事務の適正化、生活保護関係職員の資質向上のための研修実施等、各種適正化の取組を推進する。</p> <p>求職活動を行っている受給者が確実に就労に結びつけることができるよう、求職情報提供、面接指導や履歴書添削等を行う就労支援員の設置について、生活保護法改正に伴い必須事業として位置づけられたことによる対応。</p>				計画値	<p>1 診療報酬明細書等点検充実事業 診療報酬の適正な支払い及び被保護者の適切な処遇の確保を図る。 資格点検 4,800件 内容点検 4,800件</p> <p>2 認定事務適正化事業 扶養義務者の扶養能力について必要な調査を行い、保護の適正な実施を図る。 文書等による扶養能力調査 400件 実地（管外）による扶養能力調査 8件</p> <p>3 関係職員研修啓発事業 生活保護行政を推進するために必要な基盤整備を図り適正な保護の実施と運営を図る。 生活保護関係職員研修会 2回</p> <p>4 被保護者就労支援事業 就労支援員(非常勤職員)の配置 1人</p>
	成果	<p>1 診療報酬明細書等点検充実事業 診療報酬明細書等点検業務を委託し、専門的見地から点検を実施した結果、適正な医療扶助の支払いを図ることができた。</p> <p>2 認定事務適正化事業 扶養義務者の扶養能力について必要な調査を行い、保護の適正な実施を図った。</p> <p>3 関係職員研修啓発事業 生活保護行政を推進するために必要な基盤整備を図り適正な保護の実施と運営を図ることができた。</p> <p>4 被保護者就労支援事業 就労支援員を配置し、ハローワーク等の関係機関との連携のもと被保護者に対して訪問面接等により意欲喚起や求人情報の提供といった支援を行った。</p>				実績値
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
5,085,000	4,596,645	2,777,814	0	0	1,818,831	

03款 民生費		03項 生活保護費		02目 扶助費		
事業名 生活保護費					単位：円	
事業内容	<p>生活保護は、さまざまな事情で生活に困窮している世帯の最低生活保障と自立を助長する制度である。</p> <p>1 生活扶助 衣食その他日常生活の需要を満たすために必要なもの</p> <p>2 住宅扶助 住居、補修その他の住宅維持のために必要なもの</p> <p>3 教育扶助 義務教育に伴って必要な教科書その他の学用品、通学用品など</p> <p>4 介護扶助 介護保険法で定める要介護者（要支援者）に対して必要な介護を扶助する</p> <p>5 医療扶助 医療機関において受ける診察、薬剤又は治療材料、入院による療養など</p> <p>6 施設事務費 救護施設に入所している人員に応じて、事務費を扶助する</p> <p>7 その他扶助費 出産扶助、生業扶助、葬祭扶助</p>			計画値	<p>各扶助の計画値（平成29年度当初）</p> <p>1 生活扶助 255人</p> <p>2 住宅扶助 105世帯</p> <p>3 教育扶助 9人</p> <p>4 介護扶助 52人</p> <p>5 医療扶助 235人</p> <p>6 救護施設事務費 4人</p>	
	<p>1 保護の相談・申請時における窓口対応については、生活保護制度の説明を行い、申請意思及び急迫状況を十分に確認することを徹底した。また、申請に至らなかった場合であっても必要に応じて自立生活相談窓口などの関係機関につなげる対応を行った。</p> <p>2 被保護世帯の自立に向け、定期的な訪問活動等を通じて援助方針に基づいた支援及び指導を行った。</p> <p>【保護申請・決定・廃止の状況】</p> <p>1 申請 23件</p> <p>2 開始 21件 傷病7 貯金等減少・喪失6 その他8  廃止 37件 死亡10 社会保障給付金の増加5 ケース移管5  その他17</p>				実績値	<p>各扶助の実績値（平成29年度末）</p> <p>1 生活扶助 215人</p> <p>2 住宅扶助 92世帯</p> <p>3 教育扶助 8人</p> <p>4 介護扶助 48人</p> <p>5 医療扶助 229人</p> <p>6 救護施設事務費 3人</p>
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
385,552,000	361,781,114	290,503,535	0	6,551,476	64,726,103	

04款 衛生費		01項 保健衛生費		01目 保健衛生総務費	
事業名 水道事業会計補助金					単位：円
事業内容	地理的要因による水道料金の格差を縮小し、水道事業会計の健全化を図るため、補助金を交付する。			計	基本料金（月額） 5 m3まで 1,800円 6 m3から10m3まで 2,400円
				画 値	超過料金 （10m3を超える額） 1 m3につき 216円
成果	簡易水道事業の資本費負担等を軽減し、水道料金の高騰を防ぐとともに、水道事業会計の健全化が図られた。			実	基本料金（月額） 5 m3まで 1,800円 6 m3から10m3まで 2,400円
				績 値	超過料金 （10m3を超える額） 1 m3につき 216円
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
159,921,000	159,919,000	0	0	0	159,919,000

04款	衛生費	01項	保健衛生費	01目	保健衛生総務費	
事業名					水道ビジョン推進事業費	単位：円
事業内容	水道ビジョンに基づき、災害対策の観点から実施する老朽した水道管路の耐震化事業並びに上水道及び佐比内簡易水道統合事業に対し、出資を行う。また、小規模給水施設の適正な管理、老朽施設等の計画的な更新を行う。			上水道管路耐震化事業 3件 上水道及び佐比内簡易水道統合事業 1件 小規模給水施設設備改良事業 1件		
	上水道の3工区で計1,122mの配水管の布設替えを実施し、耐震化を図った。上水道及び佐比内簡易水道統合事業は、実施設計業務を委託した。また、小規模給水施設は、大野平及び琴畑浄水場の次亜注入機を更新し、安全でおいしい水の安定供給に努めた。 <b>【上水道管路耐震化事業】</b> 上水道配水管布設替（八幡1工区）工事 150...L=170m、75...L=36m 上水道配水管布設替（早瀬3工区の2）工事 150...L=267m、100...18m、75...L=12m、50...L=8m 上水道配水管布設替（光興寺天神台工区）工事 150...L=226m、75...385m <b>【上水道及び佐比内簡易水道統合事業】</b> 水道施設耐震化等推進事業実施設計業務委託 <b>【小規模給水施設設備改良事業】</b> 大野平・琴畑浄水場次亜注入機更新工事			上水道管路耐震化事業 3件 上水道及び佐比内簡易水道統合事業 1件 小規模給水施設設備改良事業 1件		
成果				実績値		
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
32,400,000	31,953,280	0	22,700,000	0	9,253,280	



04款 衛生費		01項 保健衛生費		01目 保健衛生総務費	
事業名 地域医療環境整備事業費					単位：円
事業内容	1 一般社団法人遠野市医師会に委託し、休日救急医療体制を確保する。 2 遠野歯科医師会に委託し、日曜急患歯科診療を確保する。 3 岩手中部医療圏における休日及び夜間の第2次救急医療を確保する。 4 市内の医師不足を解消するため、県立遠野病院勤務医及び市内開業医の新規着任に向けた医師の招へい活動を実施する。 5 医療機関での受診マナーの意識啓発や地域医療推進の環境整備を図る。 6 救急医療週間中に救急医療知識の啓発及び普及活動を実施する。			計 画 値	休日救急医療診療 70日 日曜急患歯科診療 51日 救急医療講演会 1回
	成果	1 一般社団法人遠野市医師会及び遠野歯科医師会の協力の基に、市内の内科及び歯科の休日・日曜診療当番を計画的に実施した。 2 市内及び中部地域の救急指定医療機関との連携により、市民生活における救急医療体制を確保した。 3 一般社団法人遠野市医師会及び市消防署と連携し、救急医療週間に合わせて、小児医療や薬の管理等をテーマとした「救急医療講演会」や「乳幼児応急手当講習会」などを開催し、救急医療の市民啓発を実施した。 4 市外の医療機関において血液透析療法を行う患者の輸送バスを運行する医療機関に対し、その運行経費を助成することにより、透析患者の通院費用や身体的負担を軽減した。			実 績 値
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳		
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
12,368,000	11,631,070	0	0	104,708	11,526,362

04款 衛生費		01項 保健衛生費		01目 保健衛生総務費		
事業名		ICT健康づくり事業費				単位：円
事業内容	<p>医療資源が不足する地域の健康不安の解消や健康増進を普及するため、WEB等の情報通信技術を活用して、市民の健康状態をデータで蓄積し、それぞれに応じた健康づくりに関する情報を提供するとともに、遠隔指導医師と地域の看護師等が連携した健康づくりと疾病の予防を図る。</p> <p>また、運動無関心層と運動不十分層の行動変容を促すため、インセンティブ付き運動・スポーツプログラムを実施するほか、各地区センターを地域の運動推進拠点として位置付け、地域での人の回遊を活発化させるとともに、就労層の健康づくりへの参加を促進させるため、市内事業所と連携した取り組みを進める。</p> <p>さらに、国保のほか介護、後期高齢などから40歳以上の被保険者のレセプト情報や検診情報をシステムに取り込み、多くの市民の統計から医療費分析や、効果の見える健康づくり施策の推進を図る。</p>			計 画 値	<p>参加者 900人</p> <p>参加事業所 3事業所</p> <p>活動拠点数 13会場</p> <p>巡回指導 延べ 1,000回</p> <p>遠隔指導 延べ 300回</p> <p>レセプト情報、検診情報のシステム登録 一式</p> <p>運動教室開設 11会場</p>	
	<p>遠野テレビなどのインターネット回線を活用して、ICTによる健康づくりを市内13会場で実施（歩数・血圧・体組成等の計測、血液検査結果等健康情報の蓄積、医師等による遠隔健康指導）した。</p> <p>また、スポーツなどの健康づくりへの取り組みや成果に応じてポイントを付与する健幸ポイント事業と、筋力の維持・向上を目指した運動教室は2年目となり、着実な口コミによる参加者の拡大と筋肉量の増加が見られた。</p> <p>地区センターを各地域の推進拠点としたことで、地域での人の回遊を活発化させるとともに、市内事業所の参加によって、就労層の健康づくりが促進された。</p> <p>さらに、国保のほか介護、後期高齢などから40歳以上の被保険者のレセプト情報や検診情報（平成28年度分）の提供を受けシステムに取り込み、現状分析を実施したほか、併せて平成30年度に行う医療費分析のためのデータを蓄積した。</p>				実 績 値	<p>参加者 972人</p> <p>参加事業所 5事業所</p> <p>活動拠点 13会場</p> <p>巡回指導 延べ 1,298回</p> <p>遠隔指導 延べ 237回</p> <p>レセプト情報、検診情報のシステム登録</p> <p>国保 6,300人</p> <p>介護 8,620人</p> <p>後期高齢 6,564人</p> <p>協会けんぽ 5,028人</p> <p>運動教室開催 11会場 569回 延べ 13,304人</p>
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
66,305,000	63,522,288	0	0	34,737,240	28,785,048	

04款 衛生費		01項 保健衛生費		02目 予防費	
事業名 予防接種費					単位：円
事業内容	<p>予防接種法に基づく定期の予防接種を実施することにより、伝染のおそれのある疾病の発生及びまん延を予防する。</p> <p>1 A類疾病の予防接種（集団予防に重点、努力義務あり） 乳幼児・児童生徒を対象に、接種費用を全額助成し、集団又は個別接種にて実施 種類：B型肝炎、ヒブ、小児肺炎球菌、四種混合、BCG、ポリオ、麻疹・風しん、水痘、日本脳炎、二種混合、子宮頸がん</p> <p>2 B類疾病の予防接種（個人予防に重点、努力義務なし） 個別接種にて接種費用の一部助成 種類：高齢者インフルエンザ（65歳以上） 高齢者肺炎球菌（65、70、75、80、85、90、95、100歳）</p>			計 画 値	<p>BCG接種率 95%以上 麻疹風しん第2期接種率 95%以上 高齢者インフルエンザ接種者数 6,600人 高齢者肺炎球菌接種者数 700人</p>
	<p>1 乳幼児対象の予防接種は、小児科医師による福祉の里会場での集団接種と医療機関委託での個別接種により接種機会を拡充し、接種率向上に繋がった。</p> <p>2 乳幼児健診や相談事業参加時に、未接種者へは個別に適期の接種勧奨を積極的に行い接種率向上に繋がった。</p> <p>3 特定感染症である結核（BCG）と麻疹・風しん第2期の予防接種は国の接種率目標値である95%以上を達成した。</p> <p>4 高齢者インフルエンザ予防接種は見込み数を下回ったが、高齢者肺炎球菌予防接種は対象者への周知に努めたことで接種者数が増加し、感染症のまん延が予防できた。</p>				実 績 値
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
59,404,000	56,105,961	2,265,712	0	0	53,840,249

04款	衛生費	01項	保健衛生費	03目	健康づくり推進事業費	
事業名					生活習慣病予防プログラム推進事業費	単位：円
事業内容	<p>健康増進法及びがん対策基本法（第三期がん対策推進基本計画）に基づき一次予防（健康増進・疾病予防）及び二次予防（早期発見・早期治療）に重点をおいた事業を実施する。</p> <p>1 健康診査：各種がん検診（胃・大腸・肺・乳・子宮頸部・前立腺）、骨粗鬆症、成人歯科、肝炎ウイルス、基本健康診査、結核の各種検診の実施。</p> <p>2 受診勧奨：各種検診の精密検査未受診者への受診を勧奨する。</p> <p>3 健康教育：地域、事業所等での健康づくり教室を開催する。</p> <p>4 健康相談：健康増進、疾病予防、健診事後等の個別相談に対応する。</p> <p>5 訪問指導：要指導者へ保健指導を実施する。</p> <p>6 地区活動：保健推進委員、食改善推進員及び運動普及推進員などの地域の健康づくりを担うサポーターの育成及び支援を行い、協働による健康増進活動を展開する。</p>				がん検診受診率	38.0%
					計 画 値	
成果	<p>1 がん検診の受診率は、国の無料クーポン事業終了等により乳・子宮頸がん検診は減少したが、胃・肺・大腸がん検診は概ね横ばいだった。新たに胃・肺・大腸がん検診の追加検診時に、就労世代へ受診勧奨を行い受診者の拡大を図った。また、遠野すずらん振興協同組合との検診等受診ポイント事業を継続し、受診への動機づけを図った。</p> <p>2 各検診の精密検査の未受診者全員に早期の受診を勧めるため、電話や訪問による受診勧奨を行った。</p> <p>3 地域や市内企業等へ出向き、脳卒中等生活習慣病予防に関する健康講座を行い、健康づくり活動の推進に努め、健康増進・疾病予防の普及啓発を図った。</p> <p>4 地区集会所での健康相談、来所等の個別相談に対応し、疾病予防への指導や健康に関する不安解消などに努めた。</p> <p>5 至急要精密検査者や生活習慣病のハイリスク者を訪問し、疾病予防に関する指導・相談を行い治療へつなげた。</p> <p>6 健康づくりサポーターが不足している地区での養成を強化し、サポーターが地域で主体的に活動が展開できるよう努めた。</p>				がん検診受診率	33.1%
					実 績 値	<p>胃がん 27.8%</p> <p>肺がん 37.4%</p> <p>大腸がん 38.1%</p> <p>乳がん 29.8%</p> <p>子宮頸がん 23.7%</p>
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
62,085,000	61,335,359	2,654,000	0	9,912,300	48,769,059	

04款	衛生費	01項	保健衛生費	03目	健康づくり推進事業費	
事業名					健康スポーツプログラム推進事業費	単位：円
事業内容	健康づくり教室を「とすば」として本校（市民センター）、サテライト校（地区センター）で開催し、運動するきっかけや機会を提供するとともに、健康づくりへの取り組み意識の啓発と普及を図る。			計画値	健康づくり教室「とすば」 参加人数 2,100人	
	成果	従来どおり健康教室を実施したものの、各地区で実施しているサテライト校は、参加者、回数ともに、前年度より減少した。 市民が体力や年齢、目的等に応じて、いつでも、どこでもいつまでもスポーツを楽しむことができる環境の整備に努める。			実績値	健康づくり教室「とすば」 本校 1,996人/112回 サテライト校 743人/57回 とすば大学祭 230人/1回
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,561,000	2,802,561	0	0	964,600	1,837,961	

04款	衛生費	01項	保健衛生費	03目	健康づくり推進事業費	
事業名					子どもの体力づくりプログラム推進事業費	単位：円
事業内容	園児・児童の運動能力や体力の向上を図ることを目的に、保育園、小学校等で開催する教室に講師を派遣する。 1 児童を対象とした児童運動能力アップトレーニング 2 園児を対象としたキッズ元気アップ応援隊			計画値	児童運動能力アップトレーニング参加者数 1,200人 キッズ元気アップ教室参加者数 1,550人	
	成果	園児・児童の運動能力や体力の向上を図ることを目的に、保育園、小学校等で開催する教室に講師を派遣した。 1 児童を対象とした児童運動能力アップトレーニング 水泳教室27回、スケート教室5回、陸上1回をそれぞれ実施した。学校教育活動における体育・スポーツ活動の充実、競い合う楽しさや運動意欲の高揚に繋がった。 2 園児を対象としたキッズ元気アップ応援隊 幼児期における運動機会を提供するため、市内14保育園等で教室を実施した。 運動意欲の高揚や運動の習慣化による体力の向上に寄与した。			実績値	児童運動能力アップトレーニング参加者数 市内9校1,388人/34回 キッズ元気アップ教室参加者数 市内14保育園等 1,301人/70教室
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
895,000	767,918	0	0	0	767,918	

04款	衛生費	01項	保健衛生費	03目	健康づくり推進事業費	
事業名					ぱすばる推進事業費	単位：円
事業内容	<p>子どもたちが明るく充実した生活を送るためには「食」が基本であることの認識に立ち、生涯にわたり健全な食生活が実践できるよう「食育5つの力」を支援する。</p> <p>また、食育推進の共同体である健康づくりサポーター（食生活改善推進員）の資質向上を図り、組織活動を支援する。</p> <p>第2次遠野市食育推進計画とおのっこプラン推進のため設置の「遠野市食育推進ネットワーク会議」の事務局として活動を支援する。</p> <p>食育5つの力... 食べ物の味がわかる力 食べ物のいのちを感じる力          食べ物を選ぶ力 元気な体がわかる力 料理ができる力</p>			計画値	<p>食育講座・講演会</p> <p>小学生 20回 200人          中学生 4回 200人          高校生 2回 30人          青年・親子 3回 60人          中中年 60回 1200人          高校生健康づくり講演会 1回 200人</p> <p>市民向け食育イベント          ぱすばる食育まつり 1回 200人</p> <p>食生活改善推進員の育成          研修会 20回 200人</p> <p>関係団体の連携          食育推進ネットワーク会議 3回</p> <p>朝食をとる子供の割合          平成29年度目標：95.0%          （小・中対象）</p>	
	成果	<p>1 ライフステージに合わせ調理実習を含む食育講座や講演会を開催          &lt;小・中学生対象&gt;          ちびっこ栄養教室、親子の食育講座を通して、料理ができる力、食べ物を選ぶ力、中学生は食文化を学ぶ機会となった。</p> <p>&lt;高校生対象&gt;          講演会や食育講座を通して、食生活の基礎づくりの支援となった。</p> <p>&lt;成人・高齢者対象&gt;          減塩バランス食等の食育講座を通して、食生活を見直す機会となった。</p> <p>2 市民向け食育イベントを開催          食育推進ネットワーク会議と共催で「ぱすばる食育まつり」を開催し、食を通じた健康づくりへの関心を高めると共に、食育の拠点である「総合食育センターぱすばる」の活用が図られた。</p> <p>3 食生活改善推進員の組織育成支援          食生活改善推進員対象の研修会を実施し、活動に必要な知識や技術向上のための支援を行い、減塩弁当コンテストや脳卒中予防守劇コンクールにおける入賞は、推進員の目的意識の向上につながった。</p> <p>4 遠野市食育推進ネットワーク会議の活動支援          ネットワーク構成団体や関係機関の情報共有と連携により共同事業の展開と食育活動の充実につながった。</p>			実績値	<p>食育講座・講演会</p> <p>小学生 17回 247人          中学生 13回 621人          高校生 2回 24人          青年・親子 4回 78人          中中年 72回 1175人          高校生健康づくり講演会 2回 99人</p> <p>市民向け食育イベント          ぱすばる食育まつり 1回 350人</p> <p>食生活改善推進員の育成          研修会 34回 478人</p> <p>関係団体の連携          食育推進ネットワーク会議 3回</p> <p>朝食をとる子供の割合          平成29年度実績：95.1%          （小・中対象）          内訳：小96.1、中92.4</p>
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,565,000	1,329,099	0	0	18,000	1,311,099	

04款	衛生費	01項	保健衛生費	04目	母子保健費															
事業名					助産院ねっと・ゆりかご推進事業費	単位：円														
事業内容	<p>1 市内に出産を取り扱う医療施設がないため、助産院活動を通して妊産婦とその家族の不安と身体的・経済的な負担軽減を図る。</p> <p>2 連携医療機関との協力体制を整備し、ICTを活用した妊婦健診を実施する。</p> <p>3 健康教育・妊婦訪問を行い、妊産婦の健康保持増進を図るとともに、安心して出産ができる環境づくりを行う。</p> <p>4 県内の周産期医療に係るスタッフを対象に、新生児蘇生法講習会・スキルアップ講習会を開催し、医療連携・緊急搬送体制づくりを進め、遠距離通院する妊産婦とその家族の安心を高める。</p> <p>5 遠野市助産院開設10周年に当たり、「助産院開設10周年記念式典及びフォーラム」を開催する。</p>				計画値	市助産院利用率 70% 妊婦指導実施率 80% 妊婦教室開催 12回 ファミリー教室開催 5回  新生児蘇生法講習会開催 3回														
	<p>1 母子健康手帳を交付した143人のうち助産院利用者は82人であり、健診等利用者は延べ247人(月平均20.5人)、相談者数は延べ948人(月平均79人)であった。加えて、市外在住の利用者(里帰り)は14人であった。</p> <p>2 妊婦訪問等の個別妊婦指導を行い、入院のタイミング・緊急時の対応や産後の経過・諸手続等について指導を行い、妊産婦の不安軽減に努めた。</p> <p>3 妊婦教室・ファミリー教室を開催し、妊娠中の健康教育と父親や家族の育児参加の支援を図った。</p> <p>4 新生児蘇生法講習会を開催し、看護師11人、助産師2人、救急救命士等22人が受講した。また、スキルアップ講習会(受講者13人)を開催し、知識と技術のスキルアップを図り、医療連携・緊急搬送体制づくりを促進した。</p> <p>5 遠野市助産院「ねっと・ゆりかご」開設10周年記念式典及びフォーラムを11月18日にあえりあ遠野で開催し、感謝状贈呈、特別講演及び鼎談を行った。(参加者298人)</p>				実績値	市助産院利用率 57.3% 妊婦指導実施率 96.2% 妊婦教室開催 12回 ファミリー教室開催 5回  新生児蘇生法講習会開催 4回														
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		4,843,000			3,926,582			0					0		237,500					3,689,082

04款	衛生費	01項	保健衛生費	04目	母子保健費	
事業名					すこやか子育て保健事業費	単位：円
事業内容	<p>すべての子どもが健やかに生まれ育つことができるよう妊産婦及び乳幼児に対する訪問指導、健康診査等をきめ細やかに行い、母親の育児不安を軽減し、安心して子育てができるよう支援する。</p> <p>また、新規事業として新生児聴覚検査費用の一部助成を行い、より多くの乳幼児が検査を受けられる体制を整える。</p> <p>1 家庭訪問（妊産婦及び乳幼児への訪問指導、養育支援訪問） 2 健康診査（妊婦・乳幼児の健康診査及び歯科健康診査、新生児聴覚検査費用一部助成） 3 健康相談（健康相談、随時の電話相談等） 4 健康教育（歯科相談、離乳食指導等）</p>			計画値	<p>産婦家庭訪問実施率 100% 3歳児のむし歯有病率 30.0%以下 1歳6カ月児健診受診率 97.0%以上</p>	
	成果	<p>1 乳児及び産婦訪問を100%実施し、心身の状況や養育環境に合わせた支援により育児不安の軽減に努めた。さらなる支援が必要な家庭には、養育支援訪問を行い、安心して子育てができるよう支援を継続した。</p> <p>2 乳幼児健康診査及び健康相談では、疾病の早期発見と対応に努めるとともに、親子が発信する育てにくさ（育児上の困難感）のサインを受け止めきめ細やかに対応するとともに、子どもの育ちの支援と子育て支援を充実させた。</p> <p>また、新生児聴覚検査の実施率は98.6%であり（出生児138人中、136人が実施）、費用助成の効果により前年度の90.1%を大きく上回った。</p> <p>3 生後6カ月から半年毎の歯科指導を継続したことにより、3歳児のむし歯有病率が前年度の28.9%から26.0%に減少した。</p>			実績値	<p>産婦家庭訪問実施率 100% 3歳児むし歯有病率 26.0% 1歳6カ月児健診受診率 100%</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
27,870,000	25,325,312	801,000	0	0	24,524,312	

04款	衛生費	01項	保健衛生費	04目	母子保健費	
事業名					わらすっこ任意予防接種事業費	単位：円
事業内容	<p>乳幼児の感染症の重症化防止と発病することによる医療費の抑制、保護者の経済的負担の軽減を目的に、予防接種法の対象ではないため全額自己負担となる任意の予防接種（おたふくかぜワクチン、小児インフルエンザワクチン、ロタウイルスワクチン）について、接種費用の全額又は一部助成を実施する。</p>			計画値	<p>ロタウイルスワクチン接種者数 130人 おたふくかぜワクチン接種者数 200人 小児インフルエンザワクチン接種者数 2,300人</p>	
	成果	<p>出生数の減少によりワクチン接種者数は見込を下回ったものの、接種費用の助成により保護者の経済的負担が軽減され、接種率が高まったことから、発病を抑制し流行を防ぐことができた。さらに発病しても重症化を予防することができた。</p>			実績値	<p>ロタウイルスワクチン接種者数 114人 おたふくかぜワクチン接種者数 153人 小児インフルエンザワクチン接種者数 1,945人</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
8,072,000	6,530,534	0	0	0	6,530,534	



04款 衛生費		01項 保健衛生費		04目 母子保健費				
事業名		妊娠・出産・子育て包括支援事業費					単位：円	
事業内容	若い世代が安心して妊娠・出産・子育てができるよう切れ目ない支援体制の整備を図る。 1 専門職（保健師・助産師等）による相談窓口の整備を図る。 2 身体的・精神的・社会的リスクを抱えた妊産婦に対して、個別支援プランを作成し継続支援を行う。 3 産前産後サポート・産後ケアにより妊産婦の心身の健康を支える。 4 地域子育て支援センター「まなざし」へ専門職の相談員を派遣し、身近な場所でアドバイスを受けられる環境を整備する。			計 画 値	妊娠・出産に満足している者の割合 85.0% ケース検討会の開催 6回 産後リフレッシュ教室 12回 地域子育て支援センターへの相談員派遣 12回 産後ケア実施件数 50件			
	成果	1 助産院の改修を行い、ワンストップで相談できる環境を整備した。 2 妊婦訪問・産後リフレッシュ教室を実施し、妊産婦の心身の健康を支えた。（産後リフレッシュ教室参加者延べ63組） 3 要支援妊産婦及び医療機関から依頼された産婦・新生児に対して、自宅へ訪問（アウトリーチ型）し、無料で産後ケアを行った。 4 地域子育て支援センター「まなざし」へ在宅助産師を相談員として派遣し、身近な場所でアドバイスを受けられる環境を整備した。（延べ70組） 5 妊娠期から子育て期にわたる相談 1,985件に対応した。「妊娠・出産に満足している」と回答した者は92.7%であった。（国の目標値85.0%）			実 績 値	妊娠・出産に満足している者の割合 92.7% ケース検討会の開催 9回 産後リフレッシュ教室 12回 地域子育て支援センターへの相談員派遣 12回 産後ケア実施件数 45件		
予算額		決算額	財源内訳					
			国県支出金	地方債	その他	一般財源		
9,345,000	8,899,535	5,033,000	0	0	3,866,535			

04款 衛生費		01項 保健衛生費		04目 母子保健費				
事業名		女性の健康サポート事業費					単位：円	
事業内容	女性が健康で子どもを生き育てられるよう支援する。 1 特定不妊治療、特定不妊治療に至る過程の男性不妊治療及び一般不妊治療にかかる費用へ一部助成を実施する。 2 妊産婦健康診査のため、市外に通院する妊産婦の通院費へ助成を実施する。			計 画 値	特定不妊治療費助成 15件 内訳 初回 6件 継続 9件 男性不妊治療費 3件 一般不妊治療費 10件 通院費助成件数 170件			
	成果	1 医療機関の協力を得ながら、広報・市ホームページにより不妊治療費助成事業の周知を図った。特定不妊治療費助成は実人数8人に対し、延べ17件。一般不妊治療費助成は実人数11人に対し延べ12件の助成を行い、対象者の経済的負担軽減を図った。 2 出生数の減少により通院費助成件数が見込み数を下回ったが、妊産婦健康診査の受診回数に応じた通院費を助成し、経済的負担を軽減するとともに、定期的な妊産婦健康診査受診の一助となり、安心・安全な出産を支援した。			実 績 値	特定不妊治療費助成 17件 内訳 初回 4件 継続 13件 男性不妊治療費 0件 一般不妊治療費 12件 通院費助成件数 151件		
予算額		決算額	財源内訳					
			国県支出金	地方債	その他	一般財源		
6,310,000	6,238,660	0	0	0	6,238,660			

04款	衛生費	01項	保健衛生費	05目	環境衛生費	
事業名					ごみダイエツト事業費	単位：円
事業内容	資源循環型社会の構築を推進するため、遠野市公衆衛生組合連合会が実施する資源ごみのリサイクル、ごみの減量化等に関する事業に対して財政的支援を行う。			計 画 値	市民一人1日当たりごみ排出量 842g 資源集団回収実施団体 50団体 廃棄物のリサイクル回収量(資源集団回収量) 320t	
	成果	ごみ減量化を進めるため、自治会など各種団体に対して環境学習会を実施した。資源ごみ分別への取り組みを強化するため、遠野テレビCMによる周知を行った。資源集団回収事業は登録団体が増え、資源の有効利用が定着した。回収量は、登録団体が増えたことにより、前年度より増加した。さらに、生ごみ処理容器等の購入助成を行い、ごみの発生抑制に資すことができた。			実 績 値	市民一人1日当たりごみ排出量 872g 資源集団回収実施団体 55団体 廃棄物のリサイクル回収量(資源集団回収量) 327t
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,200,000	3,200,000	0	0	3,200,000	0	

04款	衛生費	01項	保健衛生費	05目	環境衛生費	
事業名					浄化槽設置事業費	単位：円
事業内容	農村地域や郊外においても生活様式の多様化により、家庭から排出される生活雑排水の量が年々増加し、生活環境の悪化や河川等の水質汚濁の要因となっている。そこで、集合処理(公共下水道、農業集落排水)区域外に、し尿と生活雑排水を適正に処理する浄化槽の設置を図ることにより、生活環境の改善及び公衆衛生の向上を図る。			計 画 値	浄化槽整備計画(循環型社会形成推進地域計画) 平成28年度～平成32年度 全体計画 300基 平成29年度計画 60基 ブローポンプ交換補助金 平成29年度計画 20基	
	成果	浄化槽設置により自然環境の保全、生活環境の改善及び公衆衛生の向上を推進した。また、特定地域及び集団型浄化槽設置整備事業補助制度により、浄化槽普及に努めた。 5人槽 19基 = 11,875,000円(うち、特定地域 1基) 7人槽 32基 = 23,360,000円(うち、集団型 4基、特定地域 2基) 10人槽 3基 = 2,775,000円 特定地域・集団型補助金 1,435,000円 浄化槽ブローポンプ交換補助金 20基 1,000,000円 排水設備等工事資金融資利子補給 3件 12,448円 協議会負担金・会費 17,495円 需用費・役務費 56,832円			実 績 値	浄化槽整備実績(循環型社会形成推進地域計画) 平成28年度～平成32年度 全体実績 113基 平成29年度実績 54基 ブローポンプ交換補助金 平成29年度実績 20基
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
40,649,000	40,531,775	15,149,012	0	0	25,382,763	

04款	衛生費	01項	保健衛生費	06目	環境保全費	
事業名					スマートエコライフ推進事業費	単位：円
事業内容	環境負荷の少ない循環型社会の構築に向け、市民の環境に対する意識の高揚と地球温暖化防止対策の一環として、クリーンエネルギーの普及やエネルギーを効率的に活用したエコライフを推進するため、市民が住宅に太陽光発電を設置する場合や、家庭用蓄電池を設置する場合に要した経費に対し、市内で利用可能な商品券により助成する。			計画値	太陽光発電システム導入 10件	家庭用蓄電システム導入 10件
	成果	市の広報、ホームページへの掲載、チラシの配布等により、事業の周知を図った。市内の住宅用太陽光発電システムの導入は僅かながら増えており、クリーンエネルギーの普及推進を図ることができた。			実績値	
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,852,000	400,000	0	0	400,000	0	

04款	衛生費	01項	保健衛生費	06目	環境保全費	
事業名					新エネルギービジョン推進事業費	単位：円
事業内容	新エネルギービジョンに位置づけられている施策として、豊富な地域資源である木質バイオマスの利用推進のため、一般家庭における薪ストーブ導入費用の一部を、市内で利用可能な商品券で支援する。 長期に渡り利用可能なストーブを支援の対象とするため、ストーブ本体が100,000円以上であることを条件とし、煙突等の付随設備や設置工事費も含めた事業費から、消費税等を控除した額を補助対象としている。 補助率は1/5で、補助金の上限は100,000円としている。			計画値	申請件数	10件
	成果	2年目となった補助事業であるが、1年目の11件を上回る13件の申請があり、予算額に不足が生じたことから、予算を増額して対応した。 問い合わせも多く、市内における薪ストーブ整備のニーズは上昇傾向にある。引き続き、導入に向けた支援を実施し、木質バイオマス利用の推進に努める。			実績値	申請件数 13件
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,148,000	1,148,000	0	0	1,000,000	148,000	

04款	衛生費	01項	保健衛生費	06目	環境保全費	
事業名					自然と暮らしの調和推進事業費	単位：円
事業内容	<p>遠野型環境調和社会の実現に向け、環境の保全及び創造について基本理念を定め、市民、滞在者、事業者及び市の責務を明らかにするとともに、その施策の基本となる事項を定め、環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。</p> <p>(第3次遠野市環境基本計画に基づき、環境保全等を推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境審議会開催</li> <li>・「明日の遠野の環境を考えるフォーラム2017」の開催</li> <li>・市民環境団体活動支援(環境フロンティア遠野)</li> </ul>			計画	値	市民環境団体登録数 68団体
	成果	<p>第3次遠野市環境基本計画に基づき環境保全団体の育成支援を行い、「明日の遠野の環境を考えるフォーラム2017」において、市民の模範的な環境保全活動の表彰や先進的取り組みを紹介するなど、環境保全意識を醸成し、遠野市環境基本計画の理念を普及啓発することができた。</p>			実績	値
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
4,822,000	3,348,063	1,357,085	0	0	1,990,978	

04款	衛生費	02項	清掃費	01目	清掃総務費	
事業名					岩手中部広域行政組合運営事業費	単位：円
事業内容	<p>遠野市、花巻市、北上市及び西和賀町の4市町で構成する岩手中部広域行政組合でもえるごみの広域処理を行い、その運営に係る費用を構成市町が負担する。</p>			計画	値	岩手中部クリーンセンター及び遠野中継センターの運営
	成果	<p>岩手中部広域行政組合によるもえるごみの広域処理のほか、地域振興施設整備に係る用地造成工事等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠野市負担金 100,221千円</li> <li>・総務費負担金 10,004千円</li> <li>・建設費負担金 1,390千円</li> <li>・公債費負担金 6,239千円</li> <li>・運営費負担金 82,588千円</li> </ul>			実績	値
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
100,221,000	100,221,000	0	0	0	100,221,000	

05款 労働費		01項 労働諸費		02目 雇用対策費	
事業名 ふるさと就業奨励事業費					単位：円
事業内容	若年者の雇用の拡大及び地元への定着を図るため、以下の奨励金等を交付する。			計 画 値	新規学卒者採用奨励金 60人
	1 新規学卒者採用奨励金 新規学卒者を採用した事業主に、1人当たり100,000円の奨励金を交付。 3年後新規学卒者が離職していない場合、更に100,000円を交付。 2 若年者継続勤務奨励金 学校卒業後3年間離職せずに勤務した者に、50,000円の奨励金を交付。				若年者継続勤務奨励金 60人
成果	以下の奨励金を交付することで、若年者を中心とした雇用の場の確保と地元定着の促進が図られた。			実 績 値	新規学卒者採用奨励金 40人
	1 新規学卒者採用奨励金 新規学卒者40人を採用した20社の事業主に対し、奨励金を交付した。 2 若年者継続勤務奨励金 学校卒業後3年間離職せずに継続して勤務した者32人に対し、奨励金を交付した。				若年者継続勤務奨励金 32人
予	算	額	決	算	額
				財 源 内 訳	
				国 県 支 出 金	地 方 債
				そ の 他	一 般 財 源
8,853,000		6,804,396		0	0
				6,700,000	104,396

05款 労働費		01項 労働諸費		02目 雇用対策費	
事業名 若者定住促進事業費					単位：円
事業内容	地域の貴重な働き手・担い手である若者の地元就業と定住を促進する。			計 画 値	若年者定着促進家賃補助金の交付 17人
	1 若年者定着促進家賃補助金の交付 U・I・Jターンした若者の家賃の一部を補助する。 2 キャリア形成促進事業費補助金の交付 遠野職業訓練協会の認定職業訓練に係る事業主負担の一部を補助する。 3 職業能力開発キャリア形成研修の実施 新入社員や中堅社員等の若年労働者を対象とした研修を実施する。 (参加目標) 新入社員フォローアップ研修 30人 若手・中堅社員リーダー育成研修 40人 若年社員育成等担当者研修 10人 介護人材資格取得研修 15人				キャリア形成促進事業費補助金の交付 15人
成果	1 若年者定着促進家賃補助金の交付 U・I・Jターンした若者の家賃の一部を補助した。 補助対象3年間 (H28~ 3人、H29~ 1人) 2 キャリア形成促進事業費補助金の交付 遠野職業訓練協会の認定職業訓練に係る事業主負担の一部を補助した。 補助事業者 4社 7人 3 職業能力開発キャリア形成研修の実施 (参加実績) 新入社員フォローアップ研修 46人 若手・中堅社員リーダー育成研修 21人 若年社員育成等担当者研修 10人 介護人材資格取得研修 7人			実 績 値	若年者定着促進家賃補助金の交付 4人
					キャリア形成促進事業費補助金の交付 7人
予	算	額	決	算	額
				財 源 内 訳	
				国 県 支 出 金	地 方 債
				そ の 他	一 般 財 源
5,582,000		2,765,960		0	0
				2,000,000	765,960



06款 農林水産業費		01項 農業費		02目 農業総務費	
事業名 農畜産物放射能被害対策費					単位：円
事業内容	<p>岩手県からの支援（補助率：10分の10）により、放射性物質を含む畜産飼育用の利用自粛牧草を、市内2カ所の一時保管施設で適正に管理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中部保管施設（附馬牛町）</li> <li>・西部保管施設（宮守町）</li> </ul>			計 画 値	平成29年度末保管状況
					中部保管施設 2,382個 703.20 t 西部保管施設 2,244個 466.64 t 合計 4,626個 1,169.84 t
成果	<p>市内一時保管施設での適正な管理を行うことができた。ただし、中部保管施設については、保管牧草から強い臭いが発せられ近隣住民から苦情が寄せられたことから、平成29年12月に建物の通気ダクト等へ目張りを行うなどの防臭対策を行った。</p>			実 績 値	平成29年度末保管状況
					中部保管施設 2,382個 703.20 t 西部保管施設 2,244個 466.64 t 合計 4,626個 1,169.84 t
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9,245,000	7,500,812	7,500,812	0	0	0

06款 農林水産業費		01項 農業費		02目 農業総務費	
事業名 農畜産物放射能被害対策費（原木栽培しいたけ被害対策事業費）					単位：円
事業内容	<p>東京電力(株)福島第一原子力発電所事故由来の放射性物質の影響により、遠野産の原木しいたけから食品に係る放射性物質の基準値100Bq/kgを超えたものが発生したため、平成24年以降に生産された露地栽培原木しいたけの流通が規制された。</p> <p>ほだ場除染やほだ木処理を実行し、遠野産原木しいたけの流通規制解除を目指す。</p>			計 画 値	ほだ木処分 13,000本 ほだ場除染 1,430m <sup>2</sup>
成果	<p>ほだ木処分については、前年度からの繰越事業において対応したため、本事業では生産者9人、2,280m<sup>2</sup>のほだ場除染のみを実施した。</p> <p>出荷制限の一部解除者が3人増え、市内で25人となっている。今後、本格的に伏せ込みを実施する生産者が増えてくることから、除染作業についても適切に予算化を行い、その要請に対応していく。</p>			実 績 値	ほだ場除染 2,280m <sup>2</sup>
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,132,000	3,052,920	3,052,920	0	0	0

06款	農林水産業費	01項	農業費	02目	農業総務費	
事業名					農畜産物放射能被害対策費（原木しいたけ被害対策事業）（繰越明許費）	単位：円
事業内容	東京電力(株)福島第一原子力発電所事故由来の放射性物質の影響により、遠野産の原木しいたけから食品に係る放射性物質の基準値100Bq/kgを超えたものが発生したため、平成24年以降に生産された露地栽培原木しいたけの流通が規制された。 平成28年度の秋以降に実施したほだ木検査において、複数の所有者のほだ木が基準値を超えたことから、処分の手続きを進めたが、作業日程や補助申請手続きに時間を要したため、翌年度へ繰り越しての実施となった。			計画値	ほだ木処分	12,100本
	成果	生産者7人のほだ木から、基準値を超える放射性物質が検出されたため、チップ化して、宮守町砥森第3市有林内へ搬送し、一時保管を実施した。 また、生産者4人からほだ場除染の要請があったことから、ほだ場の落葉層を除去することで放射性物質の低減を図り、生産継続に向けた環境整備を行った。			実績値	ほだ木処分
		ほだ場除染		392㎡		
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
3,143,000	3,141,382	3,141,382	0	0	0	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					中山間地域等直接支払事業費	単位：円
事業内容	中山間地域等農業生産条件が不利な地域の農用地において、耕作放棄地の発生防止や多面的機能の確保を図るため、集落協定等に基づき5年間以上継続して農業生産活動等を行う農業者等に対して交付金を交付する。 協定に定められた、農用地管理及び農業生産活動における体制整備強化の目標が達成されるよう、積極的に支援を行う。			計画値	農用地管理の目標達成協定	61協定
	成果	平成28年8月に発生した台風により対象農用地へ向かう市道が崩壊し通行止めとなり復旧の見通しも立たなかったことから、長期間農用地の管理ができない集落が対象農用地面積を縮小したため、平成28年度8,160,537㎡に対し、平成29年度は8,082,426㎡となり78,111㎡減少した。 農用地管理目標は全集落61協定において達成され、中山間地域における農用地の保全がなされた。 また、担い手への作業委託や農業機械の共同利用など、事業を通じて地域の営農体制整備が図られ、農業生産活動における体制整備強化を目標とした全49協定の活動目標が達成された。			実績値	農業生産活動における体制整備強化の目標達成協定
		取組農用地の割合		22.9%		
		取組農用地の割合		21.4%		
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
121,450,000	121,421,740	91,198,019	0	0	30,223,721	



06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					とおの農業担い手支援総合対策事業費	単位：円
事業内容	認定農業者や集落営農組織、特定法人等の意欲ある地域農業の担い手に対する機械導入経費を補助することにより、産地拡大や6次産業化の取り組みを加速する。			計画値	事業導入による規模拡大 2件	
	成果	遠野地区麦大豆等機械利用協議会の大豆クリーナーと大豆選別撰粒機各1台の更新に対し、いわて地域農業マスタープラン実践支援事業を活用して事業費の一部を補助し、品質の向上と作業時間の短縮を図った。			実績値	事業導入による規模拡大 1件
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,495,000	1,191,800	691,000	0	155,000	345,800	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費															
事業名					野生鳥獣害防止対策事業費	単位：円														
事業内容	<p>野生鳥獣による農作物被害の発生及び増加防止を目的に、遠野市鳥獣被害対策実施隊を中心とした捕獲対策や農家等が行う防除対策に対し必要な対策を講ずる。</p>				ニホンジカ捕獲頭数 1,000頭 ツキノワグマ捕獲頭数 10頭 カラス捕獲数 1,000羽 電気柵導入件数 100件	計 画 値														
	<p>ニホンジカ対策では、鳥獣被害対策実施隊を中心に捕獲応援隊制度を活用し、農地周辺部におけるわなによる捕獲を強化するとともに、遠野地方有害鳥獣駆除協議会が行う事業と連携しながら計画を上回る頭数を捕獲し生息数の増加防止に努めた。</p> <p>また、この捕獲応援隊制度の活動が認められ、鳥獣被害対策優良活動表彰を受賞した。さらに、ICT技術と組合わせた新たな捕獲技術「ドロップネット」の実証捕獲を行い、地域の条件にあった捕獲方法の検討を進めた。</p> <p>ツキノワグマは、目撃、出没情報が多発し人的被害や農作物被害等の増加が懸念されたが、適切な対策や捕獲を行い被害防止に努めた。</p> <p>また、カラス対策についても、市内6カ所に設置しているわなを活用した捕獲により目標を下回ったものの農作物被害の減少に努めた。</p> <p>防除対策では、電気柵の設置支援を継続し、特に3戸以上がまとめて広範囲の農地を防除する取り組みを奨励することにより、食害による新たな農作物被害の発生防止に努めた。</p>				ニホンジカ捕獲頭数 1,264頭 ツキノワグマ捕獲頭数 28頭 カラス捕獲数 842羽 電気柵導入件数 43件	実 績 値														
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
21,465,000	18,714,521	398,786	0	18,000,000	315,735															

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					農地等災害復旧支援事業費	単位：円
事業内容	農業基盤の保全と経営の安定を図るため、災害により被害を受けた農業生産施設等の災害復旧事業（国庫補助対象外）を行う場合に要する経費の2分の1を補助する。			計画値	被害箇所 10カ所	
	成果	ゲリラ豪雨等局地的な大雨により被災を受けた農業生産施設等の災害復旧事業に対して補助した。 被災箇所 4カ所(小友町1カ所、宮守町3カ所)			実績値	被害箇所 4カ所
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,000,000	707,997	0	0	0	707,997	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					わさび生産振興事業費	単位：円
事業内容	国内有数のわさびの産地にふさわしい生産規模等を保持するため、生産・供給体制強化と需要拡大に向けた取り組みを行うほか、平成元年度以来29年ぶりに本市を会場に開催される全国わさび生産者大会を成功させ、“遠野宮守わさび”を全国にPRする。			計画値	根わさび生産量 8t 畑わさび生産量 15t わさびの年間販売額 4,800万円 全国わさび生産者大会参加者数 延べ300人	
	成果	生産量及び販売額は、概ね計画どおりの実績を得ることができた。特に畑わさびについては、ほ場整備後、本格的な収穫期を迎え、前年度よりも倍以上の生産量となり、確実な成果につながっている。 全国わさび生産者大会岩手大会は、計画以上の参加者を迎えることができた。また、同時に行われた全国わさび品評会では、本市から特賞1人、優秀賞1人、奨励賞2人の受賞者を輩出することができ、同大会を成功裏に終えることができた。			実績値	根わさび生産量 8.1t 畑わさび生産量 22.5t わさびの年間販売額 4,756万円 全国わさび生産者大会参加者数 延べ1,018人
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
8,000,000	7,961,409	1,000,000	0	0	6,961,409	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費				
事業名					経営所得安定対策推進事業費	単位：円			
事業内容	<p>農業者の農業経営安定対策を円滑に実施するため、遠野市農業再生協議会が実施する推進活動や要件確認等に必要な経費を助成する。</p>			計 画 値	<p>水田における作付面積</p> <p>主食用水稲 1,746ha 転作作物 1,289ha</p> <p>経営所得安定対策申請面積</p> <p>主食用水稲 1,606ha 転作作物 1,128ha</p>				
	<p>遠野市農業再生協議会が実施する経営所得安定対策制度の周知や交付金の申請受付、農地の現地確認、対象作物の販売実績確認などに必要な経費を補助し、農業者の所得確保と農地の多面的機能維持に寄与した。</p> <p>水田における作付面積は、農家の高齢化等による不作付地の増加により計画値を下回ったが、水田への作付割合は86.7%であった。</p> <p>経営所得安定対策申請面積は、平成29年度で終了となる「米の直接支払交付金」が計画値を上回ったほか、飼料用米や地域振興作物などの転作作物への誘導と申請手続きの適切な案内等により、作付面積に対する申請割合が88.4%であった。</p>				実 績 値	<p>水田における作付面積</p> <p>主食用水稲 1,738ha 転作作物 1,270ha</p> <p>経営所得安定対策申請面積</p> <p>主食用水稲 1,612ha 転作作物 1,047ha</p>			
予	算	額	決	算		額	財 源 内 訳		
						国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
		8,226,000		8,226,000		8,226,000	0	0	0

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費				
事業名					青年就農給付金事業費	単位：円			
事業内容	<p>新規就農者が安心して農業をはじめることができるよう、就農前の研修期間と経営が不安定な就農直後に「青年就農給付金」を交付し、生活費等の所得確保を支援する。</p> <p>【支給要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として45歳未満で独立・自営就農であること。</li> <li>・就農5年目には、農業で生計が成り立つ経営計画を立てられること。</li> <li>・地域農業マスタープランの中心となる経営体であることなど。</li> </ul> <p>【給付基本額】</p> <p>個人での就農 150万円/年、夫婦での就農 225万円/年</p>			計 画 値	<p>給付経営体合計 21経営体</p> <p>単身(継続) 11経営体</p> <p>単身(新規) 5経営体</p> <p>夫婦(継続) 2経営体</p>				
	<p>経営状況が不安定な時期に同給付金を受け取ることで、新規就農者は安定した生活を送ることができている。</p> <p>また、遠野農林振興センターや遠野普及サブセンター等と合同で訪問指導を行い、農地の状態や生産物の発育状況などを確認しながらタイムリーな営農指導を行うことで、同給付金を受けている就農者は少しずつ安定した経営に近づくことができている。</p>				実 績 値	<p>給付経営体合計 19経営体</p> <p>単身(継続) 10経営体</p> <p>単身(新規) 7経営体</p> <p>夫婦(継続) 2経営体</p>			
予	算	額	決	算		額	財 源 内 訳		
						国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
		30,210,000		30,209,507		29,834,507	0	375,000	0

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					農地中間管理事業費	単位：円
事業内容	地域農業マスタープランを実現するために、農地集積への協力者に対して農地集積協力を交付する。			計 画 値	経営轉換協力金 30戸(30ha)	
	農地集積協力金 1 経営轉換協力金 1戸当たり 25千円/10a(上限700千円/戸) 2 耕作者集積協力金 1戸当たり 10千円/10a 3 地域集積協力金 2割超5割以下15千円/10a 5割超8割以下21千円/10a 8割超27千円/10a					
成果	地域農業マスタープランを実現するために、農地集積への協力者・地域に対して機構集積協力を交付した。			実 績 値	経営轉換協力金 28戸(24.19ha) 耕作者集積協力金 22戸(12.56ha) 地域集積協力金 1戸(69.09ha)	
	機構集積協力金 1 経営轉換協力金 28戸(24.19ha) 5,822.5千円 2 耕作者集積協力金 22戸(12.56ha) 1,248.0千円 3 地域集積協力金 1地区(69.09ha) 14,508.9千円 計 21,579.4千円					
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
23,117,000	23,079,549	21,579,400	0	1,490,000	10,149	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					水田フル活用推進事業費	単位：円
事業内容	<p>遠野産米の品質向上と需要のある米づくりを推進するため、次の取り組みに対する経費の一部を補助することにより、農業者の所得確保と安心して米づくりに取り組める環境を整備する。</p> <p>1 団地化一斉防除 水田の団地化によるカメムシの集団防除に対して支援することで効果的な防除体制の確立を図る。具体的には、営農組織等が行う団地化一斉防除の経費に対し10a当たり1,000円を補助する。</p> <p>2 飼料用米及びいわてっこの作付拡大支援 今後、需要の増加が見込まれる飼料用米と販売先からの要望がある「いわてっこ」の出荷・販売へつなげる支援を行い作付拡大を図る。具体的には、カントリーエレベーター利用料の2分の1を補助する。</p> <p>3 交流推進事業 生産者と消費者の顔が見える交流を行うことにより、消費者との信頼関係を築き、遠野産米の安定的な販路確保を図る。</p>			<p>団地化一斉防除取組割合 10%</p> <p>「いわてっこ」と「飼料用米」の作付面積 340ha</p>		計画値
	<p>1 団地化一斉防除 17組織が約290haのカメムシの団地化防除に取り組み、効果的な防除体制の整備によりカメムシ被害の減少が図られた。</p> <p>2 飼料用米・いわてっこの作付拡大支援 飼料用米は26経営体、いわてっこは57経営体の出荷に係るJAカントリー利用料の一部をJAいわて花巻とともに補助し、作付面積の確保に努めた。</p> <p>3 交流推進事業 生産者と消費者の顔が見える交流事業として、消費地である大阪でいわてっこの試食と共にひつつみを振る舞うなど、販売促進活動を行い「遠野産米」をPRした。 期間：平成30年2月23日(金)～25日(日) 場所：おおさかパルコープ2店舗 参加者：市内生産者6人、事務局3人</p>			<p>団地化一斉防除取組割合 15.5%</p> <p>「いわてっこ」と「飼料用米」の作付面積 254ha</p>		実績値
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
8,339,000	8,102,856	393,000	0	500,000	7,209,856	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					農地利活用推進事業費	単位：円
事業内容	<p>農林水産振興ビジョンの達成と効果的な農業振興を図るため、関係機関及び団体の連携と協働体制の強化、農地の利用集積を推進する。更には、農地活用を推進する地域農業マスタープラン達成のため、農地中間管理事業を活用して中心経営体に集積を図る。</p> <p>併せて、耕作放棄地及び不作付地の拡大、発生を防止し、農地利用再生を実施するため農業再生に係る経費を助成する。</p> <p>・農地再生に係る経費を助成 耕作放棄地解消 5万円/10a 周辺農地対策 2万円/10a 不作付地解消 3万円/10a</p>			計画値	再生面積	3.00ha
	成果	<p>農地の利用集積及び農地活用を推進する地域農業マスタープラン達成のため、農地利用集積アドバイザーを1名雇用した。</p> <p>農地利用集積アドバイザーの活動により3年以上不作付地であった農地の再生が行われ営農が再開された。</p> <p>不作付地解消11件、3.59ha (松崎町4件1.57ha、土淵町3件0.70ha、上郷町4件1.32ha)</p> <p>事業費1,313,972円に対して、補助金960,600円を交付した。</p>			実績値	再生面積
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,337,000	3,043,369	0	0	3,000,000	43,369	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					集落営農育成支援事業費	単位：円
事業内容	<p>農林水産振興ビジョン(タフ・ビジョン)の『7つの目指すべき姿』の実現にむけて、関係機関との連携及び協力体制の更なる強化を図る。</p> <p>また、各種重点課題への取り組みのため、専門的農業知識や農業振興に豊富な経験を有する人材を確保することにより集落営農の組織強化及び新たな担い手農家の育成支援を促進し一層の農業振興を図る。</p>			計画値	集落営農組織数	20組織
	成果	<p>集落営農支援アドバイザーを雇用し、平成28年度に法人化した1組織に対して支援活動を行った。</p> <p>新たな集落営農組織の設立には至らなかったものの、2組織が組織設立に向けた話し合いを継続的に実施している。</p> <p>地域の担い手である認定農業者の現状維持に向け、アドバイザーの訪問指導等の活動により7経営体が新たに追加、20経営体が辞退となった。</p>			実績値	集落営農組織数
				認定農業者数		350経営体
			認定農業者数	332経営体		
予算額	決算額	財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
4,011,000	3,827,874	400,000	0	3,427,874	0	

06款 農林水産業費		01項 農業費		03目 農業振興費		
事業名 アスト加速化事業費					単位：円	
事業内容	<p>遠野の特色を活かした農産物の生産振興及び遊休施設等の有効活用を図るため、意欲のある農業者や農業団体が所得向上のため実施する事業に対し支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未使用ハウス等の再利用に関する支援</li> <li>・重点品目（ピーマン、アスパラガス等）の栽培推進事業への支援</li> <li>・こだわり農産物栽培（無農薬栽培等）推進事業への支援</li> <li>・契約栽培を導入する事業への支援</li> <li>・花き栽培推進事業への支援</li> <li>・内水面の生産性の維持事業への支援</li> <li>・山菜等生産拡大事業への支援</li> <li>・伝統野菜（早池峰菜、暮れ坪かぶ等）の生産拡大事業への支援</li> <li>・繁殖牛の生産拡大事業への支援</li> </ul>			<p>ハウス等の再利用 13棟 重点品目の栽培推進事業 ほうれんそう遮光資材 6棟 ピーマントネル資材 10セット ニラ 60a アスパラガス 90a こだわり農産物栽培 3団体 契約栽培導入支援 30a 花き栽培推進 50a 内水面生産拡大 稚魚 80,000匹 山菜等生産拡大 40a 新規ホップ生産者(担い手)の確保 1人 伝統野菜生産拡大 20a 元気アップチャレンジ事業 4団体</p>		
	<p>重点品目や園芸品目を中心に、意欲ある農業者や農業団体の取り組みに対して支援を行うことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重点品目栽培拡大支援事業等 28事業への支援を実施</li> <li>・栽培指導、営農研修等への支援</li> <li>・「アスト通信」の収録、放映（毎週水曜日 遠野テレビ）</li> </ul>			<p>ハウス等の再利用 6棟 重点品目の栽培推進事業 ほうれんそう遮光資材 4棟 ピーマントネル資材 6セット ニラ 4.7a アスパラガス 77a こだわり農産物栽培 2団体 契約栽培導入支援 加工タマネギ 70a 花き栽培推進 226a 内水面生産拡大 稚魚 85,000匹 製氷機導入 1台 山菜等生産拡大 フキ 30a ヤマブドウ 50a ホップの新規生産者(担い手)の確保 0人(継続は3人) 元気アップチャレンジ事業 3団体</p>		
成果	予 算 額		決 算 額		内 訳	
						財 源
				国 庫 支 出 金	地 方 債	
21,070,000		18,441,230		そ の 他	一 般 財 源	
		1,501,000		0	6,500,000	
					10,440,230	



06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費
事業名 耕畜連携ネットワーク推進事業費					単位：円
事業内容	<p>園芸作物の堆肥利用を促進するとともに、市内で排出される堆肥の処理量と活用量を探ることを目的に、平成28年度から3カ年計画で実施。販売を目的とした園芸作物で、下記補助対象要件に該当する耕種農家に対し補助金を交付する。これにより、遠野ならではの「耕畜連携農業」による堆肥の有効活用と園芸作物の経営安定化を図る。</p> <p>・補助対象要件 販売を目的とした園芸品目（たばこ、ホップ、その他の園芸作物）で、10a当たり2t以上の堆肥を使用したほ場を対象に、7,000円/10a（約7割補助）の補助金を交付する。</p>			計画値	交付対象面積 90ha
	成果	<p>耕種農家へ堆肥消費を促し、良質な土づくりに寄与した。また、市内耕種農家の堆肥の消費動向の傾向を捉えることができた。</p> <p>・平成29年度実績            JA野菜部会 15.03ha（前年度比：+4.37ha）、546.2t・延 101件            ホップ農協 14.65ha（前年度比：1.05ha）、534.0t・延 32件            たばこ振興会 26.38ha（前年度比：4.28ha）、700.1t・延 68件</p>			実績値
予算額		決算額	財源内訳		
6,300,000	3,924,100	国県支出金	地方債	その他	一般財源
		0	0	0	3,924,100

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費
事業名 中山間地域いきいき暮らし活動支援事業費					単位：円
事業内容	<p>岩手県が平成27年10月に策定した「岩手県ふるさと振興総合戦略」や平成28年2月に策定した「いわて農業農村活性化推進ビジョン」の推進を基に、多様なスタイルでいきいきと暮らせる中山間地域の実現を図るために、地域のアイデアを活かした集落ぐるみで行う取り組みを支援する。</p> <p>補助金は事業費上限150万円の1/2を活動集落に対して交付する。</p>			計画値	なたね栽培栽培実証 50a なたね油の商品開発 1点 交流活動施設整備 1カ所 お宝マップ作成 1件
	成果	<p>附馬牛町小出地区では就職のため集落を離れる人が多く、若者や担い手不足による耕作放棄地が増えることを防ぐとともに、新たな特産品の開発とそれに伴う安定した職場の確保を目的として、なたねの搾油に向けた栽培に取り組んだ。</p> <p>また、なたね栽培は景観作物としての役割もあり、開花の時期には遠野遺産の重湍溪を訪れる観光客に足を延ばしてもらえよう、小出橋広場に設置されたトイレに照明を設置し環境整備と地域活性化に活発に取り組んだ。</p>			実績値
予算額		決算額	財源内訳		
300,000	223,754	国県支出金	地方債	その他	一般財源
		223,754	0	0	0

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					農地等災害復旧支援事業費（緑越明許費）	単位：円
事業内容	平成28年台風10号の災害により被害を受けた農業生産施設等の災害復旧事業を行う場合に要する経費の2分の1を補助する。			計画値	被害箇所 265力所	
	成果	平成28年台風10号の災害により被害を受けた農業生産施設等の災害復旧事業を行う場合に要する経費の2分の1を補助した。 自力復旧、小規模なものや耕作に支障にならない箇所の被災等により申請が25力所となった。			実績値	被害箇所 25力所
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
29,332,000	4,019,879	0	0	0	4,019,879	

06款	農林水産業費	01項	農業費	04目	畜産業費	
事業名					畜産振興総合対策事業費	単位：円
事業内容	農業生産額の6割を占める畜産業の振興を図るため、家畜伝染病の予防対策や生産価格安定支援、死亡牛処理施設の運営支援、各種生産団体への助成等を行い、畜産農家の経営安定化、生産性の向上等に寄与する。			計画値	農業生産額・畜産（まちづくり指標） 355千万円 乳用牛群検定普及定着化 17戸・447頭 養豚出荷頭数 37,000頭 ブロイラー出荷羽数 1,000,000羽	
	成果	概ね計画どおりに事業を進めることができ、畜産農家への支援、安心安全な生産体制、遠野産畜産物の普及推進等を図ることができた。 県南家畜保冷保管施設（金ヶ崎町）が平成29年4月から供用開始されたことに伴い、死亡牛処理円滑化推進事業費補助金は所期の目的を達成したとし廃止した。			実績値	農業生産額・畜産（まちづくり指標） 454千万円 乳用牛群検定普及定着化 16戸・331頭 養豚出荷頭数 36,685頭 ブロイラー出荷羽数 918,000羽
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
5,251,000	5,220,058	844,152	0	248,000	4,127,906	

06款 農林水産業費		01項 農業費		04目 畜産業費	
事業名 馬事振興ビジョン推進事業費					単位：円
事業内容	<p>乗用馬の生産振興を図るため、遠野市乗用馬生産組合が行う乗用馬の育成調教及び優良繁殖雌馬の保留に関する経費に対し支援を行う。これにより、毎年10月に開催される「遠野市乗用馬市場」での遠野産乗用馬の評価を向上させ、市場取引の活性化を図り、安定した生産・経営につなげる。</p> <p>また、本市独自の貴重な馬事文化を継承するため、様々なイベント等を企画・実施し、地域振興や観光振興につなげる。</p> <p>1 品質の高い乗用馬を生産するため預託料の一部を助成  2 まちなか馬車運行の実施（平成29年7～8月、8～10回運行）  3 全国やぶさめ競技遠野大会の開催（平成29年7月）  4 農用馬の生産振興のため、種付料の助成及び出産奨励金を給付</p>			<p>馬生産頭数（まちづくり指標） 30頭  乗用馬市場取引金額 2,350万円  まちなか馬車乗車者数 80人</p>	
	<p>1 平成29年10月31日開催の第44回遠野市乗用馬市場では、売上総額 1,820万円、販売頭数16頭という結果に終わり、昨年よりも 174万円の減額、販売頭数 5頭減となった。上場頭数全30頭中、20頭が1歳馬で、売却率も約4割と低調であったことなどから、基礎調教済みの2歳馬以上を中心とした市場に切り替え、市場活性化を図る必要があると思われる。（預託支援頭数8頭）</p> <p>2 中心市街地の賑わいづくりを目的に、まちなか馬車運行を8月5日(土)から9月3日(土)までの土・日曜を中心に計8回実施した。S L 銀河の運行日、夏休み期間に合わせての開催を予定していた(7月22日～8月26日)が、馬の体調不良から開催が遅れ、前年度の乗車者数よりも12人少ない結果となった。</p> <p>3 全国やぶさめ競技遠野大会は、悪天候のため中止となった。</p> <p>4 農用馬は、前年度よりも2頭増の3頭を生産することができた。農用馬生産実績頭数には市外からの生産馬を含めており、市内の生産馬（出産奨励金交付対象馬）としては1頭のみ。</p>			<p>馬生産頭数（まちづくり指標） 30頭  乗用馬市場取引金額 1,820万円  まちなか馬車乗車者数 56人</p>	
成果				実績値	
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
4,597,000	3,939,520	0	0	0	3,939,520

06款	農林水産業費	01項	農業費	04目	畜産業費	
事業名					遠野馬の里運営事業費	単位：円
事業内容	乗用馬の繁殖改良と育成調教の拠点施設及び市民や市内外の馬愛好者に親しまれる拠点施設(ホースパーク)として、本市の馬事文化の伝承と発展に寄与する「遠野馬の里」の管理運営に要する経費に対し補助金を交付する。 ・乗用馬等育成調教事業 ・ホースパーク事業			計画値	乗用馬預託頭数(月平均) 18頭 乗用馬市場上場頭数 30頭 ホースパーク利用者 5,900人	
	成果	1 乗用馬等育成調教事業は、ほぼ計画どおりに進めることができた。 (1) 預託合計16.1頭 ... 育成馬 5.9頭、休養馬 3頭、補助馬 7.2頭 (2) 市場上場頭数30頭 ... 1歳馬20頭、2歳馬 7頭、3歳馬等 3頭 2 ホースパーク事業は、前年度よりも 1,507人減となり、計画よりもかなり低い実績となった。 (1) ふれあい体験・引馬利用者数 905人(目標：5,100人) (2) 乗馬教室 223人(目標：800人) 3 防疫体制については、従来どおり各種イベント等で馬パラチフス検査を実施し、適正な予防管理を行うことができた。			実績値	乗用馬預託頭数(月平均) 16.1頭 乗用馬市場上場頭数 30頭 ホースパーク利用者 1,128人
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
44,978,000	44,978,000	0	0	0	44,978,000	

06款	農林水産業費	01項	農業費	04目	畜産業費	
事業名					肉用牛増産対策推進事業費	単位：円
事業内容	1 黒毛和種牛の飼養規模拡大及び繁殖素牛の優良化を推進し、遠野産黒毛和種子牛の市場取引の安定化、産地化を図る。 2 「遠野生まれ、遠野育ち」を基本に、繁殖から肥育までの一貫体制による「いわて遠野牛」を生産し、ブランド化、産地化を図り、肥育農家の生産意欲の高揚を図るとともに、肥育素牛の地域内保留を進め、品質の高い遠野産牛の生産を推進する。 3 生産規模を拡大し、競争力の高い畜産農家を育成するため、担い手、集落営農、法人組織等を対象に、機械、施設等の生産基盤整備に対し支援を行う。			計画値	いわて遠野牛生産目標 飼養数 繁殖牛 2,640頭 肥育牛 2,600頭 出荷数 子牛 1,820頭 肥育牛 1,300頭 優良素牛導入数 190頭 肥育素牛導入数 100頭 施設整備等補助(1団体) 牛舎、堆肥舎、ホイルローダー	
	成果	1 黒毛和種牛の繁殖素牛の優良化については、概ね計画どおり推進することができた。ただし、同素牛の生産戸数は前年度よりも19戸少ない420戸となり、飼養数は前年度よりも435頭少ない2,549頭という結果となってしまった。新規就農者の確保が課題として残る。 2 「いわて遠野牛(肥育牛)」の出荷数については、前年度とほぼ同数の1,081頭(前年度比7頭増)を出荷することができ、生産規模は安定している。PR活動等による、さらなるブランド化を進めていきたい。 3 生産規模拡大のための施設等の整備については、青笹町の生産団体に支援することができ、地域生産能力の拡大につながった。			実績値	いわて遠野牛生産実績 飼養数 繁殖牛 2,549頭 肥育牛 1,780頭 出荷数 子牛 1,716頭 肥育牛 1,081頭 優良素牛導入数 255頭 肥育素牛導入数 100頭 施設整備等補助(1団体) 牛舎、堆肥舎、ホイルローダー
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
28,049,000	26,668,780	6,380,000	0	0	20,288,780	

06款	農林水産業費	01項	農業費	04目	畜産業費		
事業名					畜産クラスター推進事業費	単位：円	
事業内容	本市の大家畜生産活動拠点としての役割を担う「市営牧野」の安定的な運営と、同牧野の指定管理者である一般社団法人遠野市畜産振興公社の経営自立化を進めるため、同公社が行う和牛繁殖事業への一定期間（平成28～30年度）の支援を行い、地域畜産業のさらなる振興を目指す。			計画値	支援団体数	1団体	
	成果	一般社団法人遠野市畜産振興公社が実施する繁殖雌牛の導入や飼料購入費等へ補助を行ったことで、同公社の収益性の向上につながり、経営の自立化に対する支援を行うことができた。併せて、和牛増頭対策に資することができた。			実績値	支援団体数	1団体
		繁殖雌牛飼養数	13頭	繁殖雌牛導入数		6頭	子牛販売実績
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
10,000,000	10,000,000	0	0	0	10,000,000		

06款	農林水産業費	01項	農業費	04目	畜産業費				
事業名					畜産クラスター推進事業費（繰越明許費）	単位：円			
事業内容	岩手県知事の認定を受けた畜産クラスター計画を基に、岩中酪農南地区畜産クラスター協議会に対し、収益性の向上と畜産環境問題への対応に必要な施設整備等を支援する。 1 畜産クラスター計画 乳用牛の増頭と生乳増産のための計画 2 岩中酪農南地区畜産クラスター協議会の構成員 (1) 岩手中央酪農業協同組合（事務局） (2) 遠野市 (3) 県南広域振興局（遠野農林振興センター） (4) 一般社団法人遠野市畜産振興公社 (5) 経営主体（個人）ほか5団体			計画値	牛舎	60頭規模・850㎡			
	成果	計画に基づき、酪農経営に必要な施設整備を行うことができた。現在の稼働状況としては、牛舎の飼養頭数は計画どおりの60頭で、生乳の生産量も良好に推移している。 引続き同クラスター協議会を中心に必要な支援を行い、酪農経営の安定化につなげていく。			実績値	堆肥舎	253㎡		
		バンカーサイロ	337.5m3×2基	密閉式縦型コンポスト			配合飼料自動給餌システム		搾乳用機械
予算額	決算額	財源内訳							
		国県支出金	地方債	その他	一般財源				
66,429,000	66,429,000	66,429,000	0	0	0				

06款 農林水産業費		01項 農業費		06目 農地費					
事業名 県営ほ場整備事業費					単位：円				
事業内容	<p>1 負担金</p> <p>(1) 経営体育成基盤整備事業（荒屋地区）工事費にかかる経費の1割を負担する。 受益面積：33ha 総事業費：689,000千円</p> <p>(2) 県営農業農村整備事業計画調査にかかる経費の5割を負担する。 受益面積：35.5ha 総事業費：23,000千円</p> <p>2 岩手県農業経営高度化支援事業 担い手農家を中心に効率的土地利用及び農業経営を確立するため、農地の集団化による耕畜連携の確立と低減化を図ることを目的に実施する。</p>			計画値	<p>負担金 13,950,000円</p> <p>業務委託 1件</p>				
	<p>1 負担金</p> <p>(1) 県営ほ場整備事業経営体育成基盤整備事業（荒屋地区）に係る工事を実施。国の補正予算割り当てにより30年度に繰り越して工事を行う。 負担額：120,000千円×0.1=12,000千円</p> <p>(2) 県営農業農村整備事業計画調査（金取地区）に係る地形図作成、現況調査、ほ場区画計画を実施。 負担額：3,900千円×0.5=1,950千円</p> <p>2 岩手県農業経営高度化支援事業 農地の集積・集約化及び生産コスト低減化を図るため、農地流動化調整生産組織育成強化活動を実施。農地利用計画について聴き取り調査を行い農家の意向及び集積率を把握した。 業務委託 1件 300千円</p>				実績値	<p>負担金 13,950,000円</p> <p>業務委託 1件</p>			
予	算	額	決	算		額	財 源 内 訳		
						国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
		14,250,000		14,250,000		165,000	7,000,000	0	7,085,000

06款 農林水産業費		01項 農業費		06目 農地費		
事業名 多面的機能支払事業費					単位：円	
事業内容	<p>農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保安全管理を推進する。また、これにより、農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切に維持・発揮されるとともに、担い手農家への農地集積という構造改革を後押しする。</p> <p>交付金は国2分の1、県4分の1、市4分の1の負担割合となっており、遠野市から各活動組織に交付する。</p>			計 画 値	活動組織数	70活動組織
					維持	70活動組織
				共同	53活動組織	
				長寿命化	41活動組織	
				協定農用地面積		
				維持	254,149 a	
				共同	208,170 a	
				長寿命化	152,374 a	
				取組農用地の割合	59.2%	
成果	<p>全ての活動組織において農地維持活動が行われ、耕作放棄地発生防止に効果があった。</p> <p>共同活動実施活動組織では、遊休農地解消に向けた取り組みや水路、農道の修繕活動のほか、農村環境保全の取り組みとして小・中学生や老人クラブなどの参画による花壇整備やゴミ拾い、水質調査等が行われ、農業用施設及び農村環境の保全が図られた。</p> <p>遠野市の農振農用地（田）のカバー率は、平成28年度と同様の61%となった。</p>			実 績 値	活動組織数	73活動組織
					維持	72活動組織
				共同	55活動組織	
				長寿命化	40活動組織	
				協定農用地面積		
				維持	257,201 a	
				共同	213,088 a	
				長寿命化	156,997 a	
				取組農用地の割合	61.4%	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
151,429,000	151,411,028	113,613,244	0	260,287	37,537,497	

06款 農林水産業費		01項 農業費		07目 六次産業費		
事業名 遠野ローカルベンチャー事業費					単位：円	
事業内容	<p>総務省の「地域おこし協力隊制度」により、都市部の若者等を地域おこし協力隊員として受入れ、地域資源（ホップ、どぶろく等）を活用した起業家を最長3年間の期間内で育成し、産業振興及び市内への定住を推進する。</p> <p>1 内発型、外発型の起業家育成 2 農業を基本に据えた六次産業の振興による市全体の総合産業の底上げ 3 観光と交流人口の拡大と首都圏等からの移住・定住の促進</p>			計 画 値	地域おこし協力隊員15人	
					・旧上郷中学校利活用担当	1人
				・起業特化型	14人	
				起業支援補助金	1件	
成果	<p>平成27年度任用の隊員1人（旧上郷中学校利活用担当）、平成28年度任用の隊員9人（起業特化型隊員）の活動支援を継続して行ったほか、4月1日付けで起業特化型隊員5人の受入れを行った。</p> <p>また、隊員の活動状況の周知を目的として、活動報告会の開催（9月）、広報とおの及び遠野テレビ等による情報発信を支援機関との連携により実施した。</p> <p>隊員の起業・自立に向けた支援策としては、平成29年4月からホップ農家として自立した元隊員に対して起業支援補助金を交付し、自立に向けた支援を行った。</p>			実 績 値	地域おこし協力隊員15人	
					・旧上郷中学校利活用担当	1人
				・起業特化型	14人	
				起業支援補助金	1件	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
57,361,000	54,062,209	0	0	0	54,062,209	

06款	農林水産業費	01項	農業費	07目	六次産業費													
事業名					六次産業化・地産地消推進事業費	単位：円												
事業内容	地域の農林水産業と、商業・工業等の産業間連携の再構築を図り、農林水産物等の地域資源を活用した新たな付加価値創出に向けた施策を推進するとともに、地域資源の利活用による地産地消の取り組みを促進し、地域産業の振興を図る。			計 画 値	農産物直売所売上額 574百万円													
	1 六次産業化推進 (1) 遠野市六次産業化・地産地消推進協議会 遠野市六次産業化推進戦略に沿って、商談会の開催等販路拡大に取り組む。 (2) 地域資源活用商品開発 地域資源を活用した新商品の開発を支援する。				特産品販売額 689百万円 製造品出荷額 441百万円 加工品出荷額 17百万円 合計 六次産業化関連効果額 1,721百万円													
成果	地元六次産業化の取り組みについて、六次産業化推進本部及び六次産業化・地消推進協議会、産直協議会の各組織により、関係機関が連携して推進に取り組んだ。			実 績 値	農産物直売所売上額 594百万円													
	地方創生推進交付金を活用し、海外経済交流を推進。台湾及びアメリカ市場への輸出に向け、商談会や現地での物産展を開催した。 地産地消への取り組みは、産直連絡協議会、産直給食会と連携し安心安全な地元産食材の使用を図った。				特産品販売額 605百万円 製造品出荷額 400百万円 加工品出荷額 140百万円 合計 六次産業化関連効果額 1,739百万円													
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳									
				国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
18,023,000		15,662,854		7,054,960		0		300,000		8,307,894								

06款	農林水産業費	01項	農業費	07目	六次産業費													
事業名					六次産業チャレンジ応援事業費	単位：円												
事業内容	地域の産業の活性化を図るため、新商品の開発、既存商品の改良、大学等との連携による共同研究及び市民による新たな起業に要する経費に対し補助金を交付する。			計 画 値	支援件数 5件													
	・遠野市六次産業チャレンジ応援事業費補助金 補助率 3/4以内 上限額 100万円				新商品開発及び販路開拓 4件 産学官連携 1件													
成果	地場産品を活用した新商品開発と、国内をはじめ海外（台湾、米国）をターゲットにした販路開拓の支援を行うことができた。			実 績 値	支援件数 4件													
	・多田自然農場 「モンブランケーキ、ロールケーキ」 ・肉料理・鶏 「遠野牛」 ・上閉伊酒造 「梅りキュール」 ・遠野味噌醤油 「青なんばん一本漬」				新商品開発及び販路開拓 4件													
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳									
				国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
2,200,000		1,809,000		904,000		0		0		905,000								



06款	農林水産業費	01項	農業費	08目	地籍調査費	
事業名					地籍調査事業費	単位：円
事業内容	<p>国土の開発及び保全並びにその利用の高度化に資するとともに、地籍の明確化を図るため、国土の実態を科学的かつ総合的に調査する事業である。地籍調査の成果は、土地に関する諸施策の基本資料として幅広く活用されるとともに、法務局に送付され、不動産登記の記載が改められることで、所有者の資産の保全管理や事業等の円滑な進行が図られる。旧宮守村では昭和50年度で全域完了。旧遠野市では、昭和55年度から調査開始され、現在も調査中である。</p>			計 画 値	一筆地調査	0.96km <sup>2</sup>
					閲 覧	5.75km <sup>2</sup>
成果	<p>一筆地調査（現地調査）は、上郷町の一部 0.96km<sup>2</sup>を対象に実施し、所有する土地一筆ごとに隣接者と立会により境界を決定し、測量を行った。また、平成28年度に一筆地調査を行った上郷町の一部 5.75km<sup>2</sup>は、地籍図原図と地籍簿案を作成し閲覧を行った。閲覧後は国及び県の認証を受け、法務局へ調査の成果を送付することとなる。</p>			実 績 値	一筆地調査	0.96km <sup>2</sup>
					閲 覧	5.75km <sup>2</sup>
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
24,134,000	23,953,240	15,090,000	0	0	8,863,240	

06款	農林水産業費	02項	林業費	02目	林業振興費	
事業名					市有林造林事業費	単位：円
事業内容	<p>遠野市市有林造成基金条例の目的に基づき、産業の振興、学校施設の整備充実、災害復旧その他特別な事件に要する経費に充てるため、市有林の造成を図る。</p> <p>市有林面積 第一種市有林 1964.0 ha 第二種市有林 103.7 ha 計2067.7 ha</p> <p>推定材積 60万m<sup>3</sup></p>			計 画 値	間伐	20.00 ha
					植栽	5.00 ha
				下刈	11.11 ha	
				作業道整備	4力所	
				樹種転換	3.00ha	
成果	<p>皆伐後の市有林に植栽等の施業を実施し、的確に森林の造成を図り、森林の公益的機能を増進させるとともに、林業従事者の雇用の創出を図ることができた。</p> <p>なお、間伐事業及び作業道整備事業については、平成28年度より繰り越した予算により実行した。</p>			実 績 値	植栽	4.87ha
					下刈	3.37ha
				忌避剤散布	5.08ha	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
7,517,000	6,477,840	3,229,622	0	3,248,218	0	

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費		
事業名 国土保全森林対策事業費					単位：円	
事業内容	<p>森林の公益的機能を高度に発揮するため、また、市内森林資源の質を高めるため、森林所有者等による森林整備に対して助成を行い、総合的かつ集中的な間伐の実施、及び、造林・保育の促進を図る。</p> <p>具体的には、国・県の間伐等補助事業への高上げと、間伐材を搬出した経費等に対して単独で助成を行う。</p>			計 画 値	除間伐事業実施面積 300ha 造林事業実施面積 50ha 間伐材搬出量 3,000m3	
	成果	<p>間伐、植栽等の森林整備の着実な実施及び間伐材の搬出が行われたことにより、水源かん養、土砂流出防止等森林の有する多面的な機能が維持・増進された。</p> <p>また、伐採後の再生林が行われたことにより、市内における持続可能な林業経営が推進された。</p>			実 績 値	植栽 46.38ha 下刈 173.32ha 除伐 9.60ha 保育間伐 14.39ha 枝打ち 0.59ha 間伐 16.08ha 忌避剤散布 77.41ha 更新伐 5.01ha 特殊地拵 6.50ha 搬出材積 3,017m3
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
25,000,000	24,997,908	0	0	0	24,997,908	

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費		
事業名 松くい虫対策事業費					単位：円	
事業内容	<p>平成23年度から遠野市内全域が松くい虫の被害地域となった。</p> <p>被害拡大を防ぐため、枯損木を発見した場合には早期駆除を行う。</p>			計 画 値	駆除処理材積 600m3 樹幹注入 100本	
	成果	<p>岩手県森林病虫害防除員、遠野地方森林組合及び市内林業事業体との連携により看視体制を強化し、被害の早期発見に努めた。東部からの徹底駆除を方針としており、釜石市への被害拡大を防ぎ、被害を遠野市内で抑え込んでいる状況である。</p> <p>また、被害木の駆除の他、景観保全のため福泉寺周辺のアカマツに対して薬剤を注入し、松くい虫被害の予防にも努めた。</p>			実 績 値	駆除処理材積 616.31m3 樹幹注入 112本
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
16,006,000	15,772,506	12,383,964	0	0	3,388,542	

06款	農林水産業費	02項	林業費	02目	林業振興費		
事業名		森林のくに振興事業費				単位：円	
事業内容	間伐等の森林整備を実施しようとする森林所有者の、事業実施前に支払う前金の負担を軽減するため、遠野地方森林組合に対して補助相当額を貸し付けることで円滑な事業実施を推進する。 貸付金は、事業完了後に県から遠野地方森林組合に補助金が交付された時点で精算、返戻される。			計画値	森林整備面積 209.52ha		
	森林所有者の一時的な負担を軽減することができ、健全な森林の育成及び間伐作業員の雇用による地域山村の振興と活性化を図ることができた。				実績値	森林整備面積 307.84ha	
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
25,000,000	25,000,000	0	0	25,000,000	0		

06款	農林水産業費	02項	林業費	02目	林業振興費		
事業名		里山美林推進事業費				単位：円	
事業内容	平成18年度から岩手県が導入した「いわての「森林づくり県民税」による県民参加の森林づくり促進事業の県産材利用活動事業を促進し、市内小学生への森林整備活動の必要性や森林の公益的機能についての啓発、地域材の理解等の森林学習を行う。			計画値	県民参加の森林づくり促進事業参加者数 2校延べ50人		
	土淵児童クラブの児童を対象に、原木しいたけ栽培作業、森林散策及び木工教室を実施し、達首部児童クラブでは木工教室を実施した。 また、遠野小学校に整備する木製の机と椅子について、実際に利用する5年生の児童に対して製作工程の工場見学と、木工教室を実施した。どのような過程を経て完成するのかを見学し、その後自分たちで木工製品を製作することで、地域材の活用が森林にもたらす効果等について理解を深め、森林保全への意識啓発を促すことができた。				実績値	県民参加の森林づくり促進事業参加者数 土淵児童クラブ 延べ63人 原木しいたけ栽培研修、森林散策、木工教室 達首部児童クラブ 18人 木工教室 遠野小学校 57人 工場見学、木工教室	
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
246,000	244,955	200,000	0	0	44,955		

06款	農林水産業費	02項	林業費	02目	林業振興費	
事業名					原木しいたけ生産振興事業費	単位：円
事業内容	平成23年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故による影響で出荷が規制された原木栽培しいたけについて、早期出荷再開と生産継続を図るため、遠野市しいたけ産業推進協議会員に対して、原木しいたけの栽培経費の一部を助成し、生産者の意欲向上と、生産継続を促す。			計 画 値	椎茸振興共進会開催 1回 生産者への助成 20人 原木しいたけ生産量 2.3t	
	成果	生産者にとって厳しい状況が続く中、椎茸振興共進会を継続して開催することができ、前年を13品上回る44品の申し込みを受け、しいたけ生産技術と意欲の向上を図ることができた。また、出品条件が厳しくなる県品評会へも4品出品することができた。 原木しいたけ生産量の確保を目的に実施している補助事業については、生産者26人の原木32,328本の調達と種菌909,800個に対して4,743,012円を交付し、資材購入費については7人に432,000円を交付した。 出荷制限一部解除者は3人増えて25人となっており、生産者全員の解除に向けて引き続き取り組みを推進していく。			実 績 値	椎茸振興共進会開催 1回 岩手県乾しいたけ品評会への出品 4品 生産拡大する生産者への助成 延べ33人 原木しいたけ生産量 1.7t
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
6,542,000	5,495,292	0	0	0	5,495,292	

06款	農林水産業費	02項	林業費	02目	林業振興費	
事業名					緑のふるさと協力隊受入事業費	単位：円
事業内容	地球緑化センターが派遣する若者たちを受入れし、農林業の活動体験や地域住民とのふれあいなど五感で感じ得た遠野の魅力をインターネットなどで全国に情報発信し、交流人口の増加を図る。			計 画 値	受入隊員数 1人 活動日数 240日 (活動期間4月～3月) 情報発信 ブログ公開 45回 ふるさと通信 2回 活動報告会 2回	
	成果	市内の農家、農業生産法人、市が行うイベント等での活動のほか、伝承保存活動への参加など、積極的に住民と触れ合うことで地域住民や各種団体の活性化が図られた。 また、活動を通じて知り得た「遠野」をインターネット(で・くらす遠野サイト内)で、市内外に情報を発信した。 今後もこの事業を継続して実施し、「遠野」の情報発信に努めていく。			実 績 値	受入隊員数 1人 活動日数 246日 (活動期間4月～3月) 情報発信 ブログ公開 80回 ふるさと通信 2回 活動報告会 2回
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,657,000	2,509,111	0	0	2,000,000	509,111	

06款	農林水産業費	02項	林業費	02目	林業振興費															
事業名					森林整備地域活動支援事業費	単位：円														
事業内容	<p>森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう、森林経営計画等による計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため、国（1/2）、県（1/4）、市（1/4）が森林整備地域活動支援交付金を交付することにより、地域における活動（ソフト事業）の確保を図る。</p> <p>具体的には、意欲と能力を有する森林所有者又は森林経営の委任を受けた者による面的なまとまりを持って作業路網や森林の保護に関する事項も含む計画の作成を促進する「森林経営計画作成促進」の活動に対し交付金を交付する。</p>			計画値	森林経営計画作成面積 30ha															
	<p>市内4カ所の山林を対象に、森林経営計画を策定するために行った境界確認や情報収集等の現地調査に要した実費に対し、交付金を交付した。</p>				実績値	森林経営計画作成面積 30ha														
予	算	額	決	算		額	財		源		内		訳							
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		1,140,000			1,140,000			855,000					0			0				285,000

06款	農林水産業費	02項	林業費	02目	林業振興費															
事業名					森林資源好循環加速化事業費	単位：円														
事業内容	<p>新エネルギービジョンにおいて、豊富に存在する木質バイオマス利用を重点プロジェクトとして位置付けている。</p> <p>燃料用チップの供給体制、チップ利用のためのボイラー整備を行ってきたが、熱の需要先確保など、各分野における課題が散見されていることから、課題について検証を行い、バイオマス利用を促進するための方向性を検討する。</p>			計画値	木質バイオマス利活用検討調査の実施															
	<p>林地残材の搬出、発電事業へのチップ供給の可能性、大型ボイラー活用策など、山側から需要先まで、木質バイオマスの一連の流れにおける課題についての調査を行うことができた。</p> <p>今回の調査結果を踏まえ、豊富な森林資源を活用した循環型産業の活性化に向けた取り組みを推進していく。</p>				実績値	木質バイオマス利活用検討調査の実施														
予	算	額	決	算		額	財		源		内		訳							
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		5,258,000			5,132,228			0					0			4,900,000				232,228

06款	農林水産業費	02項	林業費	02目	林業振興費	
事業名					菌床しいたけ生産資材導入事業費	単位：円
事業内容	<p>福島第一原子力発電所の事故の影響から、きのこ類への風評被害による消費の落ち込みが見られるとともに、生産者の意欲低下、離農等が懸念されるようになった。このことから、国・県の補助事業を活用し、遠野菌床しいたけ生産組合を通じて菌床しいたけ生産に係る資材導入等への支援を行い、生産量の維持及び生産者の減少に歯止めをかける。</p>			計 画 値	生産額	24.6千万円
					生産資材補助予定数	761,864個
成果	<p>支援前（平成25年度）の生産額 20.32千万円、生産量 230 t と比べ、同事業実施後は概ね同数で推移していることから、所期の目的を達成することができた。</p> <p>平成32年度まで国・県の補助事業が続く予定であることから、支援を継続し、生産基盤の維持・回復につなげたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度 生産額 18.8千万円、生産量 206 t</li> <li>平成27年度 生産額 21.0千万円、生産量 254 t</li> <li>平成28年度 生産額 24.9千万円、生産量 271 t</li> <li>平成29年度 生産額 23.5千万円、生産量 269 t</li> </ul>			実 績 値	生産額	23.5千万円
					生産資材導入実績	694,900個
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
26,023,000		23,756,400		23,755,000	0	0
						一 般 財 源
						1,400

06款	農林水産業費	02項	林業費	02目	林業振興費	
事業名					森林・山村多面的機能発揮対策事業費	単位：円
事業内容	<p>かつて、薪炭用材の伐採等として利用してきた里山林が手入れされなくなっている。この荒廃した里山林の整備を地域住民主導により実施する。</p> <p>具体的には、間伐や下刈の実施、伐採した間伐材の薪や炭への利用、森林を対象とした環境教育を行う。</p>			計 画 値	里山景観維持	47.5ha
					木材等利用	99.3ha
				森林環境教育	24回	
成果	<p>団地化が難しく、小規模な森林を対象に、間伐等の森林整備を行い、森林を健全な状態にし、森林の持つ多面的機能を発揮させることができた。</p> <p>伐採された間伐材は、薪や炭として活用することで、地域の中で木材を循環利用する流れを形成した。</p> <p>また、人里に近く、人目につきやすい森林が対象であるため、自然景観の向上も図ることができた。</p>			実 績 値	里山景観維持	47.5ha
					木材等利用	99.3ha
				森林環境教育	24回	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
3,099,000		3,098,750		0	0	0
						一 般 財 源
						3,098,750

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費		
事業名 市有林造林事業費（繰越明許費）					単位：円	
事業内容	遠野市市有林造成基金条例の目的に基づき、産業の振興、学校施設の整備充実、災害復旧その他特別な事件に要する経費に充てるため、市有林の造成を図る。 市有林面積 第一種市有林 1,964.0ha 第二種市有林 103.7ha 計2,067.7ha 推定材積 60万m3			計 画 値	間伐 作業道	50.32ha 3カ所
	成果	間伐の施業実施による市有林の造成を図り、森林の公益的機能を増進させるとともに、林業従事者の雇用の創出を図ることができた。 また、間伐と共に作設した作業道により、間伐材を搬出し、遠野木材工業団地で販売した。これにより、木材の販売収入の確保及び遠野木材工業団地に対する木材供給に寄与した。			実 績 値	50.32ha 3カ所
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
28,287,000	23,667,228	20,877,820	0	2,789,408	0	

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費		
事業名 高性能林業機械導入事業費（繰越明許費）					単位：円	
事業内容	間伐等の森林整備の生産性向上をはかるため、遠野地方森林組合が導入する高性能林業機械に対して嵩上げ補助を行う。			計 画 値	ハーベスタ	1台
	成果	1 ハーベスタ チェーンソーにより人力で行っていた伐倒、枝払い、玉切りが1台の機械で作業できるようになったため、間伐の生産性が向上し、市内森林整備が推進された。 2 フェラバンチャー チェーンソーによる人力の伐倒とバックホウによる路面掘削の組み合わせで行っていた作業道作設が、1台の機械でできるようになったため、作業道作設の生産性が向上し、間伐材の搬出量が拡大した。			実 績 値	フェラバンチャー 1台
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
9,938,000	9,937,000	0	0	0	9,937,000	





07款 商工費		01項 商工費		02目 商工振興費		
事業名 ふるさとの街賑わい創出事業費					単位：円	
事業内容	<p>【遠野市中心市街地活性化事業費補助金】  遠野商工会が実施する中心市街地活性化を目的としたソフト事業に対し、補助金を交付する。  ・意欲ある町衆育成事業(講習会・イベント等の実施)  ・遠野賑わいプロジェクト事業(中心市街地活性化協議会の運営、情報発信事業等の実施)  ・遠野町家のひなまつり開催事業  ・商店街等活動助成事業  ・街角ギャラリー推進事業(個店の魅力向上)  ・空き店舗改修費助成事業  ・空き店舗家賃助成事業  ・ファサード改修費助成事業</p> <p>【中心市街地活性化推進協議会】  中心市街地の活性化に係る国への要望、他市との情報交換、職員の研修の場として、全国規模の組織である中心市街地活性化推進協議会に参加する。</p>			計画値	町家のひなまつり参加 68店・団体 中心市街地の空き店舗利用数 2件 国土交通省都市局との意見交換及び要望活動	
	商工会を通じて商店街等の支援を行うことによる市民協働のまちづくりの促進と、中心市街地の賑わい創出を図った。 1 中心市街地活性化補助金 (1) 意欲ある町衆育成事業 町家のひなまつり講習会(2回)、みずきびな作成講習会(2回) (2) 遠野賑わいプロジェクト事業 メールマガジン(毎月1回)、通行量調査(1回、2日間) 中心市街地活性化事業アンケート調査の実施(1回、2日間) (3) 遠野町家のひなまつり開催事業(来場者 15,405人、参加 58店・団体) (4) 商店街等活動助成事業(5団体7事業) (5) 街角ギャラリー推進事業(8回) (6) 空き店舗改修助成事業(2件) (7) 空き店舗家賃助成事業(7件) (8) ファサード改修費助成事業(1件) 2 中心市街地活性化推進協議会 (1) 遠野市中心市街地活性化協議会開催(1回) (2) 中心市街地活性化協議会総会(福井県大野市)				実績値	町家のひなまつり参加 58店・団体 空き店舗家賃助成件数 7件 空き店舗改修費助成件数 2件 ファサード改修費助成事業件数 1件 国土交通省都市局との意見交換及び要望活動 1回
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
5,837,000	5,820,015	0	0	3,300,000	2,520,015	

07款 商工費		01項 商工費		02目 商工振興費			
事業名 遠野まちなか再生事業費						単位：円	
事業内容	1 「遠野オフキャンパス」の実施 遠野まちなか再生地区第2期都市再生整備計画（平成26～30年度）と併せて、観光・商業振興及びまちなか居住による中心市街地の賑わい創出を推進するため、中心市街地の空き家の利活用検討及び第三の教育の場として旧三田屋を活用し「遠野オフキャンパス」を実施する。 遠野オフキャンパス活動及び商店街、自治会と連携し一日市通りの賑わい交流拠点として利活用を支援する。			計 画 値	遠野オフキャンパスの実施 ・遠野オフキャンパス 1回 ・市民周知用広報紙作成 6,500部 岩手銀行遠野支店跡地仮造成工事 700㎡		
	2 岩手銀行遠野支店跡地仮造成工事 市有地と交換した岩手銀行遠野支店の跡地を、当面、とおの物語の館仮設駐車場等として使用するため、仮造成工事を行う。						
成果	1 「遠野オフキャンパス」の実施 旧三田屋を活用し「遠野オフキャンパス」を実施した。市内の高校生、都市圏の大学生や研究者等が参加し、三田屋建物の実測調査、建築修繕（奥座敷の簡易窓設置、雨戸補修、縁側設置）、庭園内の水路や植生の発掘調査等を行い、遠野固有の地域資源やまちづくりを考える機会となった。 また、活動状況をまとめた広報紙「Heiipress（へいいプレス）」を発行し取り組みを市民に周知した。			実 績 値	遠野オフキャンパスの実施 ・遠野オフキャンパス 1回 ・市民周知用広報紙作成 6,500部 岩手銀行遠野支店跡地仮造成工事		
	2 岩手銀行遠野支店跡地仮造成工事 株式会社岩手銀行が行う同行遠野支店旧店舗の解体工事が年度内に完了しないため、工事費の全額を平成30年度に繰り越して実施する。						
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
17,345,000		3,947,682		0	0	0	3,947,682

07款 商工費		01項 商工費		02目 商工振興費			
事業名 遠野東工業団地整備事業費						単位：円	
事業内容	遠野東工業団地に接続する市道の拡幅整備を行う。 今年度は工業団地南側の市道長根下伊原下線拡幅のための用地取得及び物件移転補償に加え、工業団地内を縦断する市道土淵上郷線の測量設計業務を実施する。			計 画 値	市道長根下伊原下線 ・拡幅用地取得 6筆 ・物件移転補償 2件 市道土淵上郷線 ・測量設計業務 650m		
	市道長根下伊原下線の拡幅用地の取得と物件移転補償は完了したが、市道土淵上郷線の測量設計業務は、工業団地内の造成設計との調整に時間を要したため、翌年度に繰り越して実施する。				市道長根下伊原下線 ・拡幅用地取得 6筆 ・物件移転補償 2件 市道土淵上郷線 ・測量設計業務 翌年度に繰越		
成果				実 績 値			
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
14,885,000		6,119,415		0	5,200,000	0	919,415

07款	商工費	01項	商工費	02目	商工振興費	
事業名					ものづくり産業振興事業費	単位：円
事業内容	遠野市事業所設置奨励条例に基づき、誘致企業や進出企業のほか、地元中小企業・小規模事業者の事業拡張、生産力拡大を促進するため、市内企業の設備投資及び雇用拡大に対して企業立地補助金の交付、税制の優遇措置、事業用施設の貸与等の優遇措置を講じる。 また、商工業振興対策審議会や企業懇談会の開催、遠野商工会や遠野のものづくりネットワークとの連携を通じて、企業動向の情報収集を図るほか、ものづくり人材育成を推進する。 このほか、岩手県企業誘致推進委員会、北上川流域ものづくりネットワーク等の関係機関・団体との連携・参画により、産業動向や域外の情報収集を図るとともに、工場立地法届出受理に関する事務を行う。			計 画 値	法人資産総額 361億円 製造品出荷額(H27)403億円 事業所立地奨励支援措置件数 1社 企業懇談会の開催 1回 審議会開催回数 1回	
	成果	地域経済の持続性確保につなげていくために、遠野市事業所設置奨励条例等に基づき、事業所の雇用及び設備投資に対して奨励措置を講じた。 [奨励措置] 企業立地補助金 1社 固定資産税の減免 4社 民間施設の貸与 1社 また、遠野商工会や遠野のものづくりネットワークとの連携を通じて、企業との情報共有を図るほか、ものづくり人材確保・育成に取り組んだ。 [人材育成] 高校生 企業見学 2校(182人) 受入事業所 35社 インターシップ 1校(39人) 受入事業所 19社 大学生 企業見学 1校(18人) 受入事業所 4社 市内企業 経営技術等各種研修会への派遣 10社(13人)			実 績 値	法人資産総額 394億円 製造品出荷額(H27確報値) 592億円 企業立地件数(増設含む) 5社 企業懇談会の開催 0回 審議会開催回数 1回
予算額	決算額	財源内訳				
139,882,000	137,986,414	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		67,000,000	0	1,528,872	69,457,542	

07款	商工費	01項	商工費	02目	商工振興費	
事業名					商工業向上・発展対策費	単位：円
事業内容	各商工関係団体と連携し、市内商工業の振興及び活性化対策等を行う。 1 遠野商工会に対する商工業振興事業費補助金の交付 経営改善指導、個別指導、確定申告指導による中小企業の経営支援 2 中小企業、小規模事業者に対する金融支援措置 各種制度資金による融資あっせんにより、中小企業の資金需要に対応したほか、利子補給金の交付により負担軽減を図り、市内中小企業の経営を支援する。 3 遠野市産業まつりの開催 JAふれあいまつり、森林のくにまつり、技能まつり、遠野テレビフェスタとの共催			計 画 値	遠野商工会指導件数 900件 中小企業等金融支援 取扱金融機関 5行 新規あっせん 70件 貸付総額 350百万円 産業まつり来場者数 延べ14,000人	
	成果	1 遠野商工会に対する商工業振興事業費補助金の交付 会員数 738事業所 経営改善指導 840件、集団指導 121件、確定申告指導 343件 2 中小企業、小規模事業者に対する金融支援措置 (1) 遠野市中小企業振興資金 あっせん件数 56件、貸付総額 345,930千円 (2) 岩手県制度資金利子補給 小規模小口資金 9件、商工観光資金 7件 3 第43回遠野市産業まつりの開催 平成29年10月7日(土)、8日(日)、蔵の道ひろばを会場に開催した。 出店団体 45団体、ステージイベント 10団体			実 績 値	遠野商工会指導件数 延べ1,304件 中小企業等金融支援 取扱金融機関 5行 新規あっせん 72件 貸付総額 346百万円 産業まつり来場者数 延べ14,000人
予算額	決算額	財源内訳				
264,799,000	258,984,997	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		2,841	0	200,058,500	58,923,656	

07款	商工費	01項	商工費	02目	商工振興費	
事業名					遠野東工業団地整備事業費（緑越明許費）	単位：円
事業内容	市道長根下伊原下線整備の測量調査によって必要となり、翌年度に繰り越した物件移転補償費算定業務、拡幅用地取得及び拡幅工事を実施する。			計 画 値	補償費算定業務	2カ所
					拡幅用地取得	11筆
			拡幅工事			680m
成果	測量設計業務及び補償費算定業務を実施し、事業用地の先行取得を行った結果、排水路と歩道の整備が可能となった。 車道部については、既存道路とのすり付けを考慮し、施工区間を調整し実施した。			実 績 値	補償費算定業務	2カ所
					拡幅用地取得	11筆
			拡幅工事			646m
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
35,830,000	34,837,920	0	34,000,000	0	837,920	

07款	商工費	01項	商工費	03目	観光費	
事業名					まつり振興事業費	単位：円
事業内容	各種まつりを開催し、観光客の増加を目指すとともに、郷土芸能伝承や、市街地の活性化を図る。 ・遠野さくらまつり ・東北馬力大会馬の里遠野大会 ・柏木平リバーサイドまつり ・遠野納涼花火まつり ・日本のふるさと遠野まつり ・躍進みやもり祭り ・遠野ふゆ物語			計 画 値	まつり入込数	
					さくらまつり	10,000人
			馬力大会			6,000人
			リバーサイド			6,000人
			花火まつり			10,000人
			遠野まつり			33,000人
			みやもり祭り			2,000人
			遠野ふゆ物語			22,150人
成果	各種まつりを開催し、郷土芸能伝承や市街地の活性化に取り組んだ。 外のイベント開催については、天候に左右されることが多く、柏木平リバーサイドまつり（わらすっこまつり、やぶさめ大会）は、雨天により中止となった。 観光推進協議会において、総括・検証などを行いながら、年間イベントの戦略と、イベント内容の見直しによる魅力アップを図り、PRターゲットの絞込み、関係機関・他地域との連携、積極的なPR活動等に取り組むなど、PDCAサイクルを徹底した見直しを図る。			実 績 値	まつり入込数	
					さくらまつり	13,000人
			馬力大会			6,000人
			リバーサイド（中止）			
			花火まつり			17,000人
			遠野まつり			33,000人
			みやもり祭り			2,500人
			遠野ふゆ物語			17,321人
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
19,359,000	19,276,256	0	0	17,200,000	2,076,256	

07款 商工費		01項 商工費		03目 観光費		
事業名 観光・交流施設整備保全事業費					単位：円	
事業内容	遠野市観光・交流施設整備方針を定め、観光客等のニーズに対応した環境整備を行いながら、老朽化等により景観を阻害したり、観光客や利用者等に不便をきたしている施設等の改修を行い、利用者が安全、快適に利用できるように整備する。			計画値	遠野物語原風景ゾーン改修工事 6件	
	成果	<p>第2次遠野市観光・交流施設整備保全方針に基づき計画的に改修工事を実施し、観光客等の利便性向上と施設の長寿命化を図ることができた。</p> <p>【実施した改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝承園支障枝撤去等工事</li> <li>・寺沢高原展望台等改修工事</li> <li>・たかむろ水光園太陽熱システム集熱配管改修工事</li> <li>・遠野ふるさと村暖房熱源設備改修工事</li> <li>・遠野ふるさと村ビジターセンター自動ドア装置取替工事</li> <li>・遠野ふるさと村肝煎りの家馬房改修工事</li> <li>・伝承園炭焼き小屋建て替え工事</li> <li>・道の駅みやもり電気設備改修工事</li> <li>・コテージランドかしわぎA棟・B棟・C棟・管理棟証明LED化工事</li> <li>・観光交流センターコインシャワーガス給湯器取替工事</li> <li>・高清水展望台土台改修工事</li> <li>・米田さわやかトイレ(トイレブース)改修工事</li> </ul>			実績値	遠野物語原風景ゾーン改修工事 7件 柏木平レイクリゾート施設改修工事 1件 自然の風体感ゾーン改修工事 4件
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
28,169,000	23,335,448	0	0	18,139,000	5,196,448	

07款	商工費	01項	商工費	03目	観光費	
事業名					めがね橋周辺賑わい創出事業費	単位：円
事業内容	めがね橋周辺において、観光振興及び地域活性化に資するため、賑わいを創出する事業を実施する。			計画値	観光客入込数	331,180人
	成果	周辺の施設を活用したイベントを開催したことにより、観光客等の集客や地域住民の交流、活性化が図られた。 イベント開催回数 4回 1 ジオラマS L 銀河運行事業（6月1日～12月31日） 2 郷土料理PR事業（8月13日） 3 銀河のまつり（9月23日） 4 小さな「ひなまつり」（3月1日～3日）			実績値	観光客入込数
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
562,000	562,000	0	0	400,000	162,000	

07款	商工費	01項	商工費	03目	観光費	
事業名					企業支援によるかやぶき屋根再生事業費	単位：円
事業内容	「永遠の日本のふるさと遠野」を将来像に掲げ、まちづくりを推進する本市にとって、美しい自然環境の中で育まれてきた南部曲り家は、「伝統かやぶき屋根の家」の形態を残す貴重な財産であり、柳田國男の著書「遠野物語」の世界を具現化する観光資源であることから、未来に向けて保存・活用を図るとともに、改修を通じて伝統的茅葺の技能を継承する。 【実施する内容】 遠野ふるさと村「肝煎りの家乗込み長屋」茅葺屋根改修工事 遠野ふるさと村「肝煎りの家付属便所」茅葺屋根改修工事			計画値	かやぶき屋根改修工事	2件
	成果	第2次遠野市伝統かやぶき屋根再生事業方針に基づき計画的に改修工事を実施し、観光資源維持と施設の長寿命化を図った。 なお、改修工事の財源として「企業版ふるさと納税」を活用した。 【実施した成果】 遠野ふるさと村「肝煎りの家乗込み長屋」茅葺屋根改修工事 遠野ふるさと村「肝煎りの家付属便所」茅葺屋根改修工事			実績値	かやぶき屋根改修工事
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
32,047,000	30,780,000	0	26,500,000	4,000,000	280,000	

07款 商工費		01項 商工費		03目 観光費			
事業名		オール遠野で観光まちづくり推進事業費					単位：円
事業内容	市内の観光関連事業者との連携による観光推進体制の強化と誘客活動を図るため、各団体へ負担金を支出して観光振興に取り組む。			計 画 値	観光推進協議会の設立 1組織		
					観光客入込数 550,000人		
成果	観光推進体制の強化と誘客活動を図るため、各観光振興団体に対して負担金を支出して観光振興に取り組んだ。 特に、S L 停車場プロジェクト推進委員会では、年間55回の運行があったS L 銀河の乗客に対し、きものを楽しむ会や座敷わらし隊によるお出迎えなどS L 銀河の利用促進を図ったほか、スマートフォンなどでAR技術を活用した「妖怪ともだち大作戦」を実施して、主要な観光地等への誘客を図った。 また、オール遠野での観光推進体制構築を目的とした「遠野市観光推進協議会」が12月9日に設置され、新たな観光振興体制により、観光客の誘客増加を図るため市の観光施策の総括・検証を行い、更なる誘客に結びつけるため、組織内の情報共有と連携を図る。			実 績 値	観光推進協議会の設立 1組織		
					観光客入込数 427,923人		
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳					
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源		
11,350,000	11,317,000	0	0	883,000	10,434,000		

07款 商工費		01項 商工費		03目 観光費			
事業名		東北観光復興対策事業費					単位：円
事業内容	東日本大震災以降、観光客入込数の減少が続いていることから、広域連携による海外プロモーション、受入環境の整備、滞在コンテンツ充実化に取り組み、面的観光による外国人観光客入込数の増を目指す。			計 画 値	外国人観光客入込数 2,100人		
成果	花巻市、平泉町と広域連携による海外プロモーション、受入環境整備、滞在コンテンツ充実化を図り、面的観光による外国人観光客入込数増へ向け取り組んだ。 これまでの台湾プロモーションに加え、香港へのトップセールスの実施、多言語PR動画の制作を行い、今後の誘致活動に活用するほか、動画共有サービス「YouTube」へアップロードし、外国人観光客誘客に向けてプロモーションを実施した。			実 績 値	外国人観光客入込数 3,368人		
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳					
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源		
13,427,000	11,250,684	8,566,000	0	0	2,684,684		

07款	商工費	01項	商工費	03目	観光費	
事業名					観光・交流施設整備保全事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	遠野市観光・交流施設整備方針を定め、観光客等のニーズに対応した環境整備を行いながら、老朽化等により景観を阻害したり、観光客や利用者等に不便をきたしている施設等の改修を行い、利用者が安全、快適に利用できるように整備する。			計画値	遠野物語原風景ゾーン改修工事	1件
	成果	第2次遠野市観光・交流施設整備保全方針に基づき、寺沢高原展望台の改修工事を実施して、観光客等の利便性向上と施設の長寿命化を図った。			実績値	寺沢高原展望台改修工事
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
5,513,000	5,458,320	0	0	4,300,000	1,158,320	

07款	商工費	01項	商工費	03目	観光費	
事業名					東北観光復興対策事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	東日本大震災以降、観光客入込数の減少が続いていることから、広域連携による海外プロモーション、受入環境の整備、滞在コンテンツ充実化に取り組み、面的観光による外国人観光客入込数の増を目指す。			計画値	外国人観光客入込数	2,100人
	成果	花巻市、平泉町と広域連携による海外プロモーション、受入環境整備、滞在コンテンツ充実化を図り、面的観光による外国人観光客入込数増へ向け取り組んだ。 伝承園と遠野ふるさと村に英語、繁体語など8カ国言語表示の説明看板を設置したほか、市内観光施設や宿泊施設に対して音声翻訳タブレットを貸出し、外国人観光客へのサービス向上を図った。			実績値	外国人観光客入込数
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,525,000	3,366,720	2,693,000	0	0	673,720	



07款 商工費		01項 商工費		04目 交流推進費		
事業名 連携交流推進事業費					単位：円	
事業内容	<p>1 交流人口拡大推進事業 遠野みらい創りカレッジを拠点とした企業や大学の研修の受入を行う。</p> <p>2 地域間交流推進事業 友好都市等との市民交流、児童交流、物産交流を推進するため、友好都市住民と遠野市民との相互交流事業や市民ツアーの受入を行うとともに、友好都市が主催するイベント等に出店する。</p> <p>3 平成・南部藩事業 南部氏にゆかりのある平成・南部藩構成市町との交流事業を行う。</p> <p>4 遠野郷人会事業 遠野郷人会を中心とした首都圏のネットワークづくりを行う。</p>			計画	交流事業参加者人数 3,000人	
	<p>1 交流人口拡大推進事業 遠野みらい創りカレッジを拠点とした企業や大学の研修の受入では、民泊や各種体験を通じて、来訪者と市民との交流が図られた。</p> <p>2 地域間交流推進事業 武蔵野市家族ふれあい自然体験の受入、菊池市・西米良村との住民相互交流、大府市との児童交流などを実施し、友好都市との交流を深めた。この交流事業においては、お互いの歴史や文化を学び合うとともに、まちづくりや郷土芸能などにも触れ、相互理解が深められた。 また、武蔵野市・三鷹市・大府市・福崎町のイベントに出店し、友好都市住民に遠野市のPRと物産販売を行った。</p> <p>3 平成・南部藩交流事業 「地域づくり成果報告会」を青森県南部町と三戸町で開催した。9つの構成市町の首長によるまちづくりの事例紹介のほか、講演や現地視察などにより、南部氏の歴史やえにしを再確認することができた。</p> <p>4 遠野郷人会事業 首都圏在住の遠野出身者を中心に構成されている遠野郷人会総会に遠野市関係者も参加して、ふるさと遠野をPRするとともに、ネットワークづくりに努めた。</p>				実績	交流事業参加者人数 3,526人  <b>【内訳】</b> 1 交流人口拡大推進事業 405人 2 地域間交流推進事業 2,331人 3 平成・南部藩交流事業 505人 4 遠野郷人会事業 285人
予算額	決算額	財源内訳				
4,130,000	3,786,061	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		0	0	0	3,786,061	

07款	商工費	01項	商工費	04目	交流推進費	
事業名					単位：円	
で・くらす遠野定住促進事業費						
事業内容	1 で・くらす遠野サポート市民会議との協働による移住・定住の促進。 2 で・くらす遠野市民制度の運営と広報誌「で・くらす遠野」を年4回発行する。 3 「遠野市空き家バンク」を充実させ有効に活用するため、市内不動産業者等との連携により空き家物件の確保に努める。			計 画 値	で・くらす遠野市民人口 300人 定住者世帯数 (H18～累計) 100世帯	
	成果	1 常に移住希望者のワンストップ窓口を心掛け、認定NPO法人遠野山・里・暮らしネットワークをはじめ関係機関と情報共有しながら対応した。平成29年度は9世帯17人が移住した。また、市内に移住した移住者、定住者の親睦や情報交換の場として、「移住者・定住者交流会」を開催した。 2 広報誌「で・くらす遠野」を年4回発行し、全国ので・くらす遠野市民に遠野の情報を発信した。また、5月に開催された「遠野郷人会」総会において、会場内に相談窓口を設置しPR活動を行った。 3 空き家の所有者等から相談があった空き家の物件の現況調査など市内不動産業者と連携して行った。			実 績 値	で・くらす遠野市民人口 222人 定住者世帯数 (H18～累計) 92世帯 (H29定住者世帯数9世帯)
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,401,000	1,894,250	0	0	1,800,000	94,250	

07款	商工費	01項	商工費	04目	交流推進費	
事業名					単位：円	
遠野ツーリズム交流推進事業費						
事業内容	遠野の地域資源や特性を活かした遠野ツーリズムの推進と、遠野早池峰ふるさと学校を利用した交流拠点事業について、関係団体や地域住民と連携して行う。			計 画 値	農家民泊戸数 155軒 遠野早池峰ふるさと学校利 活用数 4,000人	
	成果	農家民泊で教育旅行を8校754人受け入れた。受入農家戸数は新規加入もあるが、高齢等の理由による減少もあり、微増の状況である。 遠野早池峰ふるさと学校は、リピーターの定着や団体利用の増などにより来校者数が4,000人を超えた。			実 績 値	農家民泊戸数 143軒 遠野早池峰ふるさと学校利 活用数 4,402人 (うち県外 928人)
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,527,000	3,144,076	0	0	3,050,000	94,076	

08款 土木費		01項 土木管理費		01目 土木総務費	
事業名 道の駅魅力アップ事業費					単位：円
事業内容	前年度から延期された「道・ネットワークシンポジウム」を開催し、市内外の関係者に対し、今後の「道の駅」に期待される役割について共通認識を図るとともに、ネットワークの構築の必要性について働きかけていく。 また、「道の駅」遠野風の丘の機能充実整備に向け、既存施設改修や新築施設、駐車場の設計業務を進めるとともに、混雑時の対応のため新たに西側駐車場の整備を実施する。			計 画 値	道・ネットワークシンポジウム参加人員 800人 「道の駅」遠野風の丘西側駐車場整備 934㎡
	成果	「道・ネットワークシンポジウム」は、県内の「道の駅」駅長をはじめ市内外の関係者約 700人が参加し、県内の道路網の整備に伴い地域の拠点として期待が高まる「道の駅」の連携と、各関係機関が地域活性化に向けて互いに取り組んでいくことを提唱することができた。 「道の駅」遠野風の丘の改修整備については、建物の機能、設備のレイアウト等の調整や駐車場等改修に係る県との調整により、一部の実施設計や工事が翌年度に繰越しとなったが、西側駐車場については用地取得、物件移転補償及び工事が完了した。			実 績 値
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳		
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
77,526,000	43,518,512	23,093,000	13,300,000	0	7,125,512

08款 土木費		02項 道路橋梁費		02目 道路維持費	
事業名 道路構造物定期点検事業費					単位：円
事業内容	道路法の改正により、道路構造物の5年に1度の定期点検が義務付けられたことに伴う点検業務。 JRとの協議が必要な跨線橋5橋について点検業務を行う。			計 画 値	橋梁点検 N = 5 橋
	成果	跨線橋5橋について点検業務を行った。判定区分の橋梁は無かったが、今後も継続して点検していく。 ・市道大平線 砥森跨線橋 ・市道一日市稻荷下上組町線 稻荷下跨線橋 ・市道駒形通り線 駒形橋 ・市道上組町新穀町線 桜木橋 ・市道一日市新張線 同心橋			実 績 値
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳		
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
35,000,000	11,128,229	6,854,000	0	0	4,274,229

08款 土木費		02項 道路橋梁費		02目 道路維持費		
事業名 橋梁長寿命化整備事業費（繰越明許費）					単位：円	
事業内容	管理している橋梁の老朽化が進んできているため、橋梁長寿命化修繕計画（橋長15m以上）に基づいて計画的に橋梁を修繕し、安心安全な交通を確保する。 老朽化が著しい初音橋の修繕工事を昨年度から実施し、今年度はさらにゲルバー部補強工事を実施する。 また、今後の修繕工事のために、橋梁補修設計を実施する。			計 画 値	初音橋修繕 N = 1 橋	橋梁補修設計 N = 4 橋
	成果	初音橋のゲルバー桁のヒンジ部の補強工事を実施し、橋梁の健全化を図った。 また、四日市橋、瀬内橋、米田橋、菖蒲沢橋の補修設計を行い、今後の修繕工事へ工程を進めることができた。			実 績 値	初音橋修繕 N = 1 橋
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
73,283,000	62,246,880	40,459,000	21,400,000	0	387,880	

08款 土木費		02項 道路橋梁費		02目 道路維持費		
事業名 道路構造物定期点検事業費（繰越明許費）					単位：円	
事業内容	道路法の改正により、道路構造物の5年に1度の定期点検が義務付けられたことに伴う点検業務。			計 画 値	橋梁点検 N = 130橋	
	成果	5年毎の点検を継続して行うことにより、橋梁の健全性を把握することができた。 今年度調査した橋においては、緊急措置を要する判定区分の橋梁は無く今後も継続して点検を行い、判定区分の橋梁が判明した際は至急修繕をしていく。			実 績 値	橋梁点検 N = 130橋
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
25,262,000	24,411,000	15,867,000	0	0	8,544,000	

08款	土木費	02項	道路橋梁費	03目	道路新設改良費		
事業名					安心安全な道づくり事業費	単位：円	
事業内容	<p>【生活に身近な道づくり事業】 当市は広大な面積を有し、集落が点在しているために市民に身近な生活道路整備が遅れている状況にある。これらの市民生活の基盤づくりを推進するために「生活に身近な道づくり（第5期H29～H32）事業計画」に基づいて整備していく。</p> <p>【市道リフレッシュ事業】 アスファルト舗装された市道は経年劣化及び通行車両の衝撃で舗装面が傷むので、良好な状態を保つために修繕していかなければならない。 社会資本整備総合交付金を活用して計画的に整備する。</p> <p>【市道新穀町通り線道路改良舗装工事】 市道新穀町通り線の歩道に融雪装置を設置し、冬季間の圧雪、凍結による歩行時の不安解消を図る。</p>			<p>【生活に身近な道づくり事業】 道路改良工事 5件</p> <p>【市道リフレッシュ事業】 舗装復旧工事 2件</p> <p>【市道新穀町通り線道路改良舗装工事】 道路改良工事 1件</p>			
				計 画 値			
成果	<p>【生活に身近な道づくり事業】 この事業は生活に身近な道路を整備する事業であり、整備効果がすぐに発揮されて住民の利便性向上となっている。 平成29年度は5路線を整備予定としていたが、交付金の内示が低かったため2路線を整備した。 また、光興寺上の山線の一部をH30へ繰り越して整備する。 (整備路線) 光興寺上の山線 L = 343.0m 迷岡線 L = 340.0m</p> <p>【市道リフレッシュ事業】 路面破損状況が著しい路線を優先的に補修し、快適な道路を整備した。 (整備路線) 赤羽根番屋線 L = 880.0m 桐町町上線 L = 334.9m</p> <p>【市道新穀町通り線道路改良舗装工事】 歩道改良に着手し、融雪装置の設置を平成30年度に繰り越した。 (整備路線) 新穀町通り線 L = 253.3m</p>			<p>【生活に身近な道づくり事業】 道路改良工事 2件</p> <p>【市道リフレッシュ事業】 舗装復旧工事 2件</p> <p>【市道新穀町通り線道路改良舗装工事】 道路改良工事 1件</p>			
				実 績 値			
予	算	額	決	算	額		
				財 源 内 訳			
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
223,524,000		138,139,360		54,607,000	81,500,000	0	2,032,360

08款	土木費	02項	道路橋梁費	03目	道路新設改良費	
事業名					単位：円	
道路新設改良事業費（張山安居台線）（繰越明許費）						
事業内容	<p>1級河川猿ヶ石川において岩手県が河川改修工事を実施するのに伴い、市道張山安居台線の安居台橋を架け替えることから、県と協定を締結し、市道の幅員拡幅分を事業者の県に費用負担する。</p> <p>・事業期間H25～H28 ・市道の拡幅改良工事 L=194m、W=5.5(7.0)m、橋梁1橋</p>			計画値	平成29年度繰越負担金 11,785千円	
	成果	<p>最終年度のH28事業費をH29に繰り越して事業実施した。 県と連携しながら事業を進め、計画どおり改良することができた。</p>			実績値	平成29年度繰越負担金 9,873千円
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
11,785,000	9,873,000	6,417,000	3,400,000	0	56,000	

08款	土木費	02項	道路橋梁費	03目	道路新設改良費															
事業名					安心安全な道づくり事業費（緑越明許費）	単位：円														
事業内容	<p>【生活に身近な道づくり事業】 当市は広大な面積を有し、集落が点在しているために市民に身近な生活道路整備が遅れている状況にある。これらの市民生活の基盤づくりを推進するために「生活に身近な道づくり（第5期）H29～H33」事業計画に基づいて整備していく。</p> <p>【市道穀町仲町通り線他道路改良舗装工事】 東日本大震災により遠野市役所本庁舎中央館が被災したことから、遠野市中心市街地活性化センター（通称：とぴあ）の南側の一角に本庁舎を整備する。この市道には歩道が整備されていないことから、本庁舎整備に併せて歩道を整備する。</p>			<p>【生活に身近な道づくり事業】 道路改良工事 4件</p> <p>【市道穀町仲町通り線他道路改良舗装工事】 道路改良舗装工事 3件</p>																
				計 画 値																
成果	<p>【生活に身近な道づくり事業】 この事業は生活に身近な道路を整備する事業であり、整備効果がすぐに発揮されて住民の利便性向上となっている。 平成29年度は4路線を整備予定としていたが、交付金の内示が低かったことにより2路線の整備となった。 （整備路線） 上郷林崎線・寺田林崎支線 L = 388.8m 光興寺上の山線 L = 211.0m</p> <p>【市道穀町仲町通り線他道路改良舗装工事】 本庁舎周辺市道に歩道を整備し、本庁舎建設と併せて市役所周辺の通行の利便性が向上した。 （整備路線） 上組町新穀町線 L = 36.1m 穀町仲町通り線 L = 41.8m 感応院小路線 L = 71.4m</p>			<p>【生活に身近な道づくり事業】 道路改良工事 2件</p> <p>【市道穀町仲町通り線他道路改良舗装工事】 道路改良舗装工事 3件</p>																
				実 績 値																
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
100,838,000	95,952,600	45,604,000	19,400,000	0	30,948,600															

08款	土木費	03項	河川費	02目	水路費	
事業名					安心安全な水路づくり事業費	単位：円
事業内容	<p>宅地化の進行により農業用水路に生活雑排水が流入して水質汚濁が進んでいる。さらに、小断面のために豪雨時には水路から越流し、市民生活に大きな影響を与えている。</p> <p>また、東北横断自動車道釜石秋田線建設に伴う山地からの雨水排水の流末整備が必要になってきている。</p> <p>そのため「生活に身近な水路整備事業計画（第4期H29～H33）」に基づき、市民生活に密着したこれらの水路を整備する。</p>			計画値	水路改修工事	1件
					水路詳細設計	1件
成果	<p>下記1水路を改修し、安心・安全な水路を整備した。</p> <p>横断道工事との工程調整により、一部をH30に繰り越した。</p> <p>【整備路線】 平野原水路 L = 199m</p>			実績値	水路改修工事	1件
					水路詳細設計	1件
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
34,000,000	16,653,600	0	0	0	16,653,600	

08款	土木費	03項	河川費	02目	水路費	
事業名					安心安全な水路づくり事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	<p>宅地化の進行により農業用水路に生活雑排水が流入して水質汚濁が進んでいる。さらに、小断面のために豪雨時には水路から越流し、市民生活に大きな影響を与えている。</p> <p>また、東北横断自動車道釜石秋田線建設に伴う山地からの雨水排水の流末整備が必要になってきている。</p> <p>そのため「生活に身近な水路整備事業計画（第4期H29～H33）」に基づき、市民生活に密着したこれらの水路を整備する。</p>			計画値	水路改修工事	1件
					水路詳細設計	2件
成果	<p>下記1水路を改修し、安心・安全な水路を整備した。</p> <p>【整備路線】 八幡水路 L = 255m</p>			実績値	水路改修工事	1件
					水路詳細設計	2件
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
20,765,000	18,868,680	0	0	0	18,868,680	



08款	土木費	04項	都市計画費	01目	都市計画総務費															
事業名					都市計画変更事業費	単位：円														
事業内容	1 遠野東工業団地に係る用途地域指定等業務 遠野東工業団地地区に用途地域を指定する為に県との事前協議及び都市計画審議会等都市計画法上必要な諸手続きを進め、都市計画決定する。			計 画 値	遠野東工業団地に係る用途地域指定等業務 ・都市計画決定図書作成 都市計画道路見直し業務 ・都市計画決定図書作成 都市計画マスタープラン改定業務 ・都市計画マスタープラン報告書作成															
	2 都市計画道路見直し業務 平成28年度に作成した見直し検討報告書に基づき、県決定、市決定路線の計画変更協議及び必要な諸手続きを進め、都市計画決定する。 3 都市計画マスタープラン改定業務 平成29年度末に拡大する都市計画区域、用途地域(工業地域)の追加並びに作業中の都市計画道路及び都市計画公園の見直し内容との整合を図り、都市計画マスタープランを改定する。																			
成果	1 遠野東工業団地に係る用途地域指定等業務 平成30年3月30日付けで遠野東工業団地地区に用途地域(工業地域)を都市計画決定し、適切な土地利用を誘導する法根拠を整えた。			実 績 値	遠野東工業団地に係る用途地域指定等業務 ・都市計画決定図書作成 ・用途地域(工業地域)指定 48ha 都市計画道路見直し業務 ・県との事前協議実施															
	2 都市計画道路見直し業務 都市計画道路見直し計画案は関係機関との協議や住民説明が年度内にまとめきれなかったため、平成30年度に繰り越して手続きを進める。 3 都市計画マスタープラン改定業務 3月補正予算後、受注業者と契約し平成30年度に繰り越して実施する。																			
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		11,657,000			3,795,120			0					0			0				3,795,120

08款	土木費	04項	都市計画費	01目	都市計画総務費															
事業名					空家等対策事業費	単位：円														
事業内容	空家等対策協議会を立ち上げ、市としての総合的な空き家対策を進めるうえでの指針となる空家等対策計画を策定する。			計 画 値	空家等対策計画の策定															
	空家等対策協議会を立ち上げ空家等対策計画の素案協議を行うとともに、委員に市内の空き家の実態例を確認していただいた。 また、広報に空き家の実態を掲載し、周知活動に取り組んだ。				空家等対策計画は未策定 空家等対策協議会の開催 2回															
成果				実 績 値																
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		308,000			254,710			0					0			0				254,710

08款	土木費	04項	都市計画費	01目	都市計画総務費	
事業名					都市計画変更事業費（緑越明許費）	単位：円
事業内容	都市計画決定から長期間未着手の公園及び整備済であるものの使用実態等を考慮し見直しが必要な公園について、現況の整理をするとともに変更・廃止等の見直し案を作成する。			計画値	都市公園の見直し検討報告書の作成	
	都市公園の現況を整理し、その必要性、実現性、代替性及び存続性の検証を行い、都市公園の変更・廃止案を作成した。			実績値	都市公園の見直し検討報告書の作成	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
4,286,000	3,397,680	0	0	0	3,397,680	

08款	土木費	04項	都市計画費	02目	土地区画整理事業費	
事業名					稲荷下第二地区土地区画整理事業費	単位：円
事業内容	中心市街地の周辺において、無秩序な宅地化が進行し、都市機能の停滞や生活環境の悪化をもたらしていることから、良好な住環境を形成する道路及び公園を計画的に配置し、有効的な土地利用と健全なまちづくりを進める。  【全体概要】 施行面積 A = 19.7ha 計画年度 平成12年度～平成34年度 都市計画道路 W = 9.0～12.0m L = 1,834.3m 区画道路 W = 1.5～10.0m L = 3,525.7m 公園 A = 6102.45㎡、建物移転戸数 146戸			計画値	事業計画策定 換地計画策定 換地処分	
	平成28年度に各地権者の土地権利面積を確定したことに伴い、事業計画書及び換地計画書を作成し、平成30年3月16日に換地処分を公告した。 また、権利者へ換地処分通知したことを踏まえ、稲荷下第二地区の事業完成記念式典及び完成記念祝賀会を開催した。 案内看板設置工事については、換地処分を踏まえて実施するため、平成30年度に繰り越して実施する。  【実施内容】 事業計画書、換地計画書、換地処分（対象309人）			実績値	事業計画策定 換地計画策定 換地処分	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
38,300,000	36,200,030	0	0	36,200,030	0	

08款	土木費	04項	都市計画費	03目	公園費	
事業名					鍋倉公園緑化再生事業費	単位：円
事業内容	密集化した樹木を間伐することにより公園内樹木の健全な育成を図るとともに地域住民や観光客の憩いの場として公園内の環境を整える。			計画値	鍋倉公園北側の樹木の剪定等管理	
	成果	公園北側斜面で日照を阻害している高木を伐採したことにより、園路の日照、環境が改善され地域住民や観光客等の憩いの歩行空間として公園内の環境整備を行うことができた。			実績値	杉伐採 20本
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,000,000	1,890,000	0	0	1,500,000	390,000	

08款	土木費	04項	都市計画費	03目	公園費	
事業名					都市緑地保全費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	遠野駅前アーケードのガラス瓦が経年変化により、汚れ等が目立つと共に東日本大震災以降数回ガラス瓦が落下しており、瓦の押さえ方が不十分な状態となっている。今回、ガラス瓦を全面撤去して屋根材全体の補修要否を確認し瓦の洗浄と落下防止工事を実施することにより遠野駅を訪れる市民や観光客をもてなせるよう良好な環境を整備する。			計画値	遠野駅前アーケードガラス瓦改修 292㎡	
	成果	遠野駅前アーケードガラス瓦の洗浄・落下しにくい構造補強を行うことで市民や観光客へ安全で快適な環境を整備することができた。			実績値	遠野駅前アーケードガラス瓦改修 292㎡
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,996,000	3,936,600	0	0	0	3,936,600	

08款	土木費	05項	住宅費	01目	住宅管理費		
事業名		快適住マイル応援事業費				単位：円	
事業内容	市民の快適な居住環境の整備並びに市内の住宅関連産業の振興及び商業を中心とした地域経済の活性化を促進するため、市民が住宅のリフォーム、水洗化、子供室の増築等の工事に要した経費に対し商品券により助成する。			計 画 値	住宅リフォーム	50件	
					住宅水洗化	20件	
成果	住宅リフォーム、水洗化等の工事費用の助成により市民の快適な居住環境が整備されるとともに、市内の工務店や商店等の経済活性化に寄与した。 申請者のうち、年度内の完了が見込めない9戸(13件)分について、平成30年度に繰り越して実施する。  【平成30年度への繰越件数】 住宅リフォーム8件、住宅水洗化5件			実 績 値	住宅リフォーム	45件	
					(次年度繰越8件)		
				住宅水洗化	32件		
				(次年度繰越5件)			
				住宅子供室増築	0件		
				全体工事費		230,546,713円	
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
10,000,000	6,667,000	0	0	6,600,000	67,000		

08款	土木費	05項	住宅費	01目	住宅管理費		
事業名		生活再建住宅支援事業費				単位：円	
事業内容	東日本大震災により被災した住宅の早期復旧のため、市民または転居者へ住宅の建築等に要する借入れの債務に係る利子及び被災住宅等の工事に要する経費に対し、補助金を交付する。 【補助基準】 被災住宅補修：対象経費の1/2かつ上限30万円 改修工事：対象経費の1/2かつ上限60万円 復興住宅新築バリアフリー対応：面積に応じ40～90万円 復興住宅新築県産材使用：立米数に応じ20～40万円 利子補給：5年間分の利子補給 宅地復旧：対象経費の1/2かつ上限200万円			計 画 値	利子補給	14件	
					被災住宅補修等工事	13件	
成果	東日本大震災により被災した市民及び市内に新築する沿岸被災者の復旧と復興に寄与した。			実 績 値	災害復興住宅新築等工事	3件	
					利子補給	14件	
				被災住宅補修等工事	10件		
				災害復興住宅新築等工事	1件		
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
4,800,000	4,263,000	4,263,000	0	0	0		

08款	土木費	05項	住宅費	01目	住宅管理費	
事業名					快適住マイル応援事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	平成28年度において資材不足や大工等の技術者が不足したことにより、年度内に改修工事を終わることができない方がいたため、平成29年度に繰り越して助成する。			計 画 値	住宅リフォーム	7件
					住宅水洗化	4件
成果	住宅リフォーム、水洗化の工事の助成により市民の快適な居住環境が促進されるとともに、市内の工務店や商店等の経済活性化に寄与した。			実 績 値	住宅リフォーム	7件
					住宅水洗化	4件
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
1,756,000		1,429,000		0	0	1,400,000
						一 般 財 源
						29,000

08款	土木費	05項	住宅費	02目	住宅建設費	
事業名					災害公営住宅整備事業費	単位：円
事業内容	東日本大震災により被災した被災者の復興のため災害公営住宅を建設し住環境を整える。			計 画 値	災害公営住宅	14戸
					建設用地造成・外構工事	
成果	災害公営住宅入居予定者へ希望調査を再度行った結果、当初14戸に対し22戸の要望があり、計画戸数22戸として進めた。しかし、年度末に再確認を行い、計画戸数21戸（穀町16戸、稲荷下5戸）とした。 平成29年度には穀町に第1期工事として8戸を建設した。穀町第2期工事8戸は、平成30年度へ繰り越して実施する。			実 績 値	災害公営住宅（穀町）	8戸（1LDK 8戸）
					完成	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
586,298,000		250,005,418		214,485,000	28,600,000	0
						一 般 財 源
						6,920,418



09款	消防費	01項	消防費	01目	常備消防費		
事業名					職員教育訓練等事業費	単位：円	
事業内容	消防組織法第52条に規定する消防職員教育費等 1 消防大学学校教育訓練 2 県消防学校教育訓練 3 救急救命士関係資格、技能取得 4 消防業務用資格取得			計 画 値	消防学校 10人 救急救命士 養成課程研修 1人 就業前研修 1人 気管挿管認定 1人 生涯教育 9人 消防業務資格取得 6人		
	成果	1 県消防学校教育訓練により、新採用職員への初任教育を行うとともに、職員教育計画に基づいた火災原因調査科及び救急科、救助科等の専門課程に派遣し、消防技術の向上がなされた。 2 救急救命士養成課程研修1人、就業前研修及び気管挿管認定養成に1人救急救命士生涯教育に8人を派遣した。さらに、救急救命士の資質強化を図るため、指導救命士養成として救急救命九州研修所に1人派遣し、救急救命士の救命技術の強化を行った。 3 消防業務資格として、大型自動車免許、小型移動式クレーン運転資格、玉掛け技能講習、予防技術検定資格等各種資格を取得し、災害現場における活動の強化に努めた。			実 績 値	消防学校 10人 救急救命士 養成課程研修 1人 就業前研修 1人 指導救命士研修 1人 気管挿管認定 1人 生涯教育 8人 消防業務資格取得 5人	
予	算	額	決	算	額	財 源 内 訳	
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
				0	0	0	5,820,624

09款	消防費	01項	消防費	01目	常備消防費		
事業名					救急救助費	単位：円	
事業内容	救急車に積載している医療機器を確実に点検することにより、救命処置の円滑な活動を図る。 老朽及び対応年数が経過した資機材を更新することで、容易に災害現場での活動ができるよう整備を図る。			計 画 値	医療用機器定期点検 11台 救助器具購入		
	成果	定期点検により、異常箇所は認められなかったことから安全な救命活動が図れた。 老朽及び対応年数が経過した資機材を更新したことにより、安全確実な災害活動が図れた。			実 績 値	医療用機器定期点検 11台 救助器具購入 エンジンカッター 1台 チェンソー 1台 空気ポンペ 5本	
予	算	額	決	算	額	財 源 内 訳	
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
				0	0	300	5,730,563

09款	消防費	01項	消防費	02目	非常備消防費	
事業名					消防団出場管理費	単位：円
事業内容	非常勤職員である消防団員への報酬等及びその他の諸経費			消防団員条例定数 935人 現有団員(H29.4.1) 900人 うち機能別団員 79人		
	1 非常勤職員報酬は年額で定めている報酬を四半期に分けて支給する。 2 旅費は消防団員の消防学校における教育訓練に支給し、費用弁償は災害時、演習、訓練、または警戒等に従事した場合に支給する。 3 消防団員の被服等を整備する。 4 公務災害補償に加入し、消防団員が退職した際に退職金を支払う。消防団員が活動中に負傷等が発生した場合に支給する。 5 分団運営費補助金を支給する。			報酬 24,303,000円 旅費 251,000円 費用弁償 14,510,000円 消耗品 4,593,000円 負担金 23,910,000円 補助金 585,000円		
成果	1 非常勤職員報酬は消防団員895人、機能別団員83人に対して四半期に分けて支給した。 2 旅費及び費用弁償 県消防学校で行われる消防団員専科教育に消防団員が入校し、各種教育課程で専門知識を習得し、災害活動及び各種消防団行事で地元消防団員の指導を行った。 また、火災、水害等の出動及び火災特別警戒、お盆特別警戒並びに各種訓練に対して費用弁償を支給した。 台風21号襲来時には、土のうを準備するなど、災害対応及び河川等の警戒監視、安否確認等を実施した。 3 消耗品費 新任消防団員の被服一式を購入し、貸与したことで災害活動及び消防団行事で規律と士気が高揚し、組織活動の統制が図られた。(H29度新入団員32人) 4 負担金(市町村総合事務組合) 消防団員が退団した際に、勤続年数によって退職金が支払われた。(33人) 災害活動等において負傷した消防団員に補償金が支払われた。(1人) 5 補助金 各分団(団本部、ラッパ隊含む)に円滑な運営、活動ができるよう補助金を支給した。			報酬 23,290,716円 旅費 14人 218,040円 費用弁償(延べ人数) 火災 751人 その他災害 796人 演習、出初式 2,053人 防災、教育訓練 570人 予防活動、その他 2,813人 ポンプ操法訓練 273人 消耗品費(被服等) 4,592,927円 負担金(市町村総合事務組合) 23,760,776円 補助金(分団運営費) 585,000円		
	予算額	決算額	財源内訳			
69,343,000	67,750,590	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		0	0	0	67,750,590	



09款 消防費		01項 消防費		03目 消防施設費		
事業名 消防車両更新事業費					単位：円	
事業内容	1 複雑多様化する救急業務を迅速、的確に対応するため高規格救急車（1台）と救急資機材一式の更新整備をする。 2 消防力を強化するために、消防団に配置している小型動力ポンプ（2台）小型動力ポンプ積載車（1台）、小型ポンプ軽積載車（1台）を更新整備し、市民生活の安全確保を図る。			計 画 値	高規格救急車 1台 救急資機材 1式 小型動力ポンプ 2台 小型動力ポンプ積載車 1台 小型動力ポンプ軽積載車 1台	
	1 高規格救急車（1台）と救急資機材一式を更新したことにより、高機能・高性能化を図られ消防力の強化及び機動力の充実を図ることができた。 【更新配備先】 遠野消防署宮守出張所 2 消防団に配備している小型動力ポンプ（2台）、小型動力ポンプ積載車（1台）、小型動力ポンプ軽積載車（1台）を更新したことにより、消防防災力の充実強化と市民生活の安全確保を図ることができた。 【更新配備先】 消防団第6分団第5部 栃内（小型動力ポンプ） 消防団第7分団第5部 沢田（小型動力ポンプ積載車） 消防団第4分団第2部 大萩（小型動力ポンプ、小型動力ポンプ軽積載車）				実 績 値	高規格救急車 1台 救急資機材 1式 小型動力ポンプ 2台 小型動力ポンプ積載車 1台 小型動力ポンプ軽積載車 1台
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
46,726,000	46,687,320	6,000,000	28,400,000	9,563,000	2,724,320	

09款	消防費	01項	消防費	03目	消防施設費													
事業名					消防防災施設等整備事業費	単位：円												
事業内容	1 消防団活動の拠点施設であるコミュニティ消防センターの整備充実を図るため、消防団活動の活性化と地域防災力を強化し、安全安心な地域づくりの確保に努める。			計 画 値	松崎町第4区コミュニティ消防センター 建設地測量業務 建設地不動産鑑定評価業務													
	2 消防水利が不足している地域に消火栓を設置し、消防水利の充実強化を図る。				消火栓新設 2基													
成果	1 松崎町第4区コミュニティ消防センターの建設地測量業務及び不動産鑑定評価が完了し、建設に係る用地交渉が進んだことから、平成30年度の建設に向けて事業を進めた。 消防団活動の活性化と地域の防災力を強化し、安全安心な地域づくり確保に繋げた。			実 績 値	松崎町第4区コミュニティ消防センター 建設地測量業務 建設地不動産鑑定評価業務													
	2 消火栓の設置を、計画に基づく施設整備で確実に進めたことで、水利不便地域の解消にもつながり、消防水利の充実強化を図ることができた。 【消火栓設置箇所】 松崎町八幡地区、上郷町平倉地区				消火栓新設 2基													
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳									
				国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		60,107,000		3,398,760		0		2,700,000		0		698,760						

09款	消防費	01項	消防費	03目	消防施設費													
事業名					消防団待遇向上事業費	単位：円												
事業内容	災害活動における安全確保を目的とし、機能性、活動性に優れた新基準の安全装備品である防火衣一式を更新するもの。			計 画 値	防火衣（上衣） 96着 防火帽（しころ付き） 96組 防火用ベルト 96個 ケブラー手袋 96双 火災現場用銀長靴 96足													
	消防団員が火災時に着用する防火衣一式を機能性、活動性に優れた新基準の安全装備品に更新することで、団員の安全確保を図ることができた。 なお、本事業は3年計画で整備しており平成29年度は2年目となる。				防火衣（上衣） 96着（計192着） 防火帽（しころ付き） 96組（計192組） 防火用ベルト 96個（計192個） ケブラー手袋 96双（計192双） 火災現場用銀長靴 96足（計192足）													
成果				実 績 値														
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳									
				国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		9,475,000		9,434,880		0		0		9,000,000		434,880						

09款	消防費	01項	消防費	04目	防災諸費	
事業名					防災対策事業費	単位：円
事業内容	1 地域防災計画及び水防計画の作成並びに防災会議及び国民保護協議会の開催をおこなう。 2 三陸地域地震災害後方支援拠点施設整備推進協議会の開催 3 遠野市土砂・浸水ハザードマップの作成及び全戸配布 4 備蓄食糧の購入、土砂災害用資機材の購入			計画値	・地域防災計画等の修正 (年1回以上) ・防災会議の開催 (年1回以上) ・国民保護協議会の開催 (年1回以上) ・非常食の備蓄 (人口の1/3の1食分) ・水防資機材の整備 ・ハザードマップ整備 ・防災資機材整備	
	成果	1 防災会議を開催して県地域防災計画と整合を図り、地域防災計画を修正した。 2 過去の浸水範囲、市から発する避難情報を掲載した遠野市土砂・浸水ハザードマップを町別に作成して全戸配布し、市民の避難対策を推進した。 3 非常食の備蓄(市の人口の1/3の1食分)の更新をした。 4 防災資機材整備として土のう袋や砂を購入し、地域の拠点に配備し必要な市民へ無償で提供し水害対策を講じた。			実績値	・地域防災計画等の修正 (1回) ・防災会議の開催 (1回) ・遠野市土砂・浸水ハザードマップ約12,000部作成 ・非常食の備蓄 (市人口の1/3の1食分) ・水防資機材の整備 (土のう袋、砂の購入)
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
4,378,000	4,309,606	0	0	0	4,309,606	

09款	消防費	01項	消防費	04目	防災諸費		
事業名					まちまるごと防災事業費	単位：円	
事業内容	<p>市民の「生活の安全確保」を図るため、「自分の地域は自分たちで守る」という連帯意識を持ち、地域の住民が安全で住みよいまちづくりを構築するため、自主防災組織の育成、強化を図る。 防災意識の高揚と地域防災の向上を図り、防災リーダーの育成に努める。</p>			<p>全行政区(90行政区)への自主防災組織結成、育成強化</p> <p>自主防災組織リーダーの育成・指導(研修会、講習会)</p> <p>チャレンジ防災スクールの開催</p> <p>消防フェアの開催</p> <p>応急手当普及員資格者 40人</p>			
	<p>1 市内の自主防災組織や小学校での防災講習会を開催し、意見交換等を通じて地区の防災力強化を図った。</p> <p>2 遠野市土砂浸水ハザードマップを基に、市内11会場で地区別防災研修会を開催し、過去の浸水範囲、緊急時の避難行動、地域の避難場所を確認し地域防災について浸透を図った。</p> <p>3 市総合防災センターを会場に消防フェアを開催し、救急講演会、救助展示、煙体験、初期消火訓練、放水訓練により市民の防火意識の向上を図った。</p> <p>4 チャレンジ防災スクールを開催し、非常食体験や防災マップ作成等のカリキュラムにより、防災意識の高揚を図った。 遠野市婦人消防協力隊、遠野市幼年消防クラブ育成会、遠野市少年消防クラブ育成会が防火活動の実践と火災予防広報を行い、防火思想の高揚を図った。</p> <p>5 応急手当の普及に努める目的として今年度4名養成し、自治会、企業など救命講習会に延べ40人の応急手当普及員が講師を務め普及を図った。</p> <p>6 土淵町内10地区の自主防災組織に、遠野市消防コミュニティ事業で防災資機材を整備し災害に備えた。</p>			<p>計画値</p> <p>実績値</p>			
成果	<p>1 市内の自主防災組織や小学校での防災講習会を開催し、意見交換等を通じて地区の防災力強化を図った。</p> <p>2 遠野市土砂浸水ハザードマップを基に、市内11会場で地区別防災研修会を開催し、過去の浸水範囲、緊急時の避難行動、地域の避難場所を確認し地域防災について浸透を図った。</p> <p>3 市総合防災センターを会場に消防フェアを開催し、救急講演会、救助展示、煙体験、初期消火訓練、放水訓練により市民の防火意識の向上を図った。</p> <p>4 チャレンジ防災スクールを開催し、非常食体験や防災マップ作成等のカリキュラムにより、防災意識の高揚を図った。 遠野市婦人消防協力隊、遠野市幼年消防クラブ育成会、遠野市少年消防クラブ育成会が防火活動の実践と火災予防広報を行い、防火思想の高揚を図った。</p> <p>5 応急手当の普及に努める目的として今年度4名養成し、自治会、企業など救命講習会に延べ40人の応急手当普及員が講師を務め普及を図った。</p> <p>6 土淵町内10地区の自主防災組織に、遠野市消防コミュニティ事業で防災資機材を整備し災害に備えた。</p>			<p>自主防災組織結成率 97.8%</p> <p>防火防災講習会参加者 525人</p> <p>消防フェア来場者 400人</p> <p>チャレンジ防災スクール参加者 31人</p> <p>応急手当普及員資格者 51人</p> <p>自主防災組織用防災資機材(発電機、防災かまど、照明機器、コードリール、ガソリン携行缶)各10セット</p>			
	予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,561,000		4,220,207		0	0	1,900,000	2,320,207

09款	消防費	01項	消防費	04目	防災諸費	
事業名					防災教育推進事業費	単位：円
事業内容	東日本大震災の風化を防ぐとともに、遠野市が官民一体となって取り組んだ後方支援活動と教訓を広く全国に発信し、これからの防災・減災の活動に努める。 また、災害が発生又は発生するおそれがある場合は、関係機関と連携し迅速かつ適切な災害対応を実行する。 1 東日本大震災後方支援活動に係る行政視察及び講演依頼等への対応 2 東日本大震災犠牲者追悼記帳所の設置 3 防災意識の向上を図ることを目的に「防災の集い」の開催 4 防災協定締結都市との連携強化 5 災害対策本部等の設置・運営訓練の実施による災害対応能力の向上 6 民間事業者等との連携による災害対応能力の向上			計画値	防災の集い参加者 150人	
	成果	1 東日本大震災に関する視察や講演に対応し、後方支援活動と教訓を広く全国に発信し、これからの防災・減災の活動に努めた。 2 東日本大震災犠牲者を追悼するため記帳所を市役所本庁舎に設置した。 3 東日本大震災災害伝承語りへの活動及び東京大学の救援・復興支援活動に関する防災講演等を内容とした「防災の集い」を開催した。 4 防災協定締結都市の防災イベントへの参加などにより連携を図った。 5 災害対策本部緊急初動特別班及び地区センター班の活動研修会、岩手県総合防災室との連携による災害対策本部図上運営訓練、新庁舎において災害対策本部設置・運営訓練を実施し、災害対応能力の向上を図った。 6 災害発生時における民間事業者との迅速な支援体制を構築するための協定を締結し災害対応能力の向上を図った			実績値	視察対応 38回 (497人) 講演出講 5回 防災の集い参加者 175人 防災協定締結数 3協定
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
5,092,000	4,902,423	0	0	392,060	4,510,363	

09款	消防費	01項	消防費	04目	防災諸費	
事業名					災害に負けない遠野創り事業費	単位：円
事業内容	平成28年東日本豪雨(台風10号)災害における対応の検証結果を踏まえ、今後の防災・減災対策を図るため、災害対応の体制づくりを強化する。			計画値	医療救護班活動資器材 2セット	
	成果	災害発生時に遠野市医療救護班が編成され、避難所等に設置する救護所において、遠野健康福祉の里、遠野市医師会、遠野市災害対策本部消防防災班が連携し、適切な応急処置を施すことができるよう遠野市医療救護班の活動資器材を遠野健康福祉の里(遠野市国民健康保険中央診療所活動用)及び遠野市消防本部(遠野市医師会活動用)に整備した。 また、市役所本庁舎の開庁に伴い、遠野市災害対策本部の活動拠点を市役所本庁舎とし、設置・運営訓練を実施するとともに、その活動物品を整備した。			実績値	医療救護班活動資器材 2セット
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
862,000	842,513	0	0	0	842,513	



10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名		地域教育文化振興事業費				単位：円	
事業内容	子どもたちの学習環境の充実と家庭教育の向上を目的に、保護者、児童生徒、地域関係者等を対象に、地域課題に応じた家庭教育についての講演会や研修会等を開催し、子どもたちの健全育成や家庭・地域の教育力の向上に取り組む。			計画値	家庭教育に係る学習講座 14回 家庭教育ゼミナール参加者数 1,000人 家庭教育講演会 1回		
	成果	1 全ての市立小・中学校(14校)で家庭教育ゼミナールを開催した。子ども保護者・教職員・地域関係者の課題に応じて、情報モラルや生活習慣の改善等に関する講演を開催し、学校・家庭・地域が連携して、家庭・地域の教育力の向上と子どもの健やかな成長を促す環境づくりに向け取り組みを進めた。 2 学校・PTA・地域による実践活動について、市内2小学校と遠野みらい創りカレッジから事例発表をする「地域で子どもを育てる活動発表会」と「家庭教育講演会」を同時開催した。外部講師による「自分の夢の見つけ方」についての講演と小学校及び中学校で実施している取組事例の発表を行い、地域の中で子どもたちを育てる機運を高めることができた。			実績値	家庭教育に係る学習講座 14回 家庭教育ゼミナール参加者数 1,192人 家庭教育講演会 1回	
予算額		決算額	財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
181,000	106,650	105,000	0	0	1,650		

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名		外国語指導助手招へい事業費				単位：円	
事業内容	グローバル化が進む中、国際社会に対応することができる英語教育が求められている。 英語教育は、小学校では英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験しながら、コミュニケーション能力の素地を養うこと、中学校では身近な事柄を中心とした、コミュニケーションを図ることが目標となっている。 これらの目標達成に向け、教員の確保や、指導力の向上だけでは十分対応することができない部分に外部人材を活用し、英語教育の充実に資する。 一般財団法人遠野市教育文化振興財団の国際化推進支援員に、外国語指導助手（ALT）として、市内小学校での活動への協力をいただく。			計画値	派遣学校数 14校 派遣回数 250回		
	成果	児童生徒がALTの生きた英語に触れることで、英語力の4つの要素のうち、「聞く」「話す」のコミュニケーションに関する能力を養い、英語による表現力を育み、英語力の向上を図ることができた。 一般財団法人遠野市教育文化振興財団の協力により、一部の小学校において、例年より多くALTとコミュニケーションをとる授業を実施することができ、児童の「外国語・英語」へのバリアの低減につながった。			実績値	派遣学校数 14校 派遣回数 248回 内訳：小学校 110回 中学校 138回	
予算額		決算額	財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
5,184,000	5,145,120	0	0	0	5,145,120		

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					特色ある学校づくり事業費	単位：円
事業内容	「知・徳・体」の全てに位置付けて実施する事業。 児童生徒一人一人の学習・生活の基礎力の充実及び個性と能力の伸長に努め、生命と体と心を育む教育の具現化を図るため、各小中学校それぞれで企画・立案した事業計画をもとに、地域の歴史・文化・伝統・特徴を生かして農業体験、伝統芸能の継承などの地域理解学習に取り組む。			計画値	実施学校数	14校
	成果	全ての小・中学校が事業に取り組み、各校の教育目標や地域の特色に応じて歴史、文化、自然等を学ぶ活動を積極的に展開し、多くの学校で郷土芸能の伝承活動や農業を通じた食育活動に取り組んだ。 地域住民が講師となって授業が実施されることによって、遠野に伝わる伝統や文化に触れることにとどまらず、児童生徒や学校が地域住民と繋がりをもつ貴重な機会となっており、地域に開かれた学校づくりの一助となった。 なお、インフルエンザの流行により、計画どおりに授業を実施することができない学校が一部あった。			実績値	実施学校数
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,400,000	1,250,495	0	0	0	1,250,495	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					平成・南部藩寺子屋交流事業費	単位：円
事業内容	「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する。 根城南部氏の縁でつながる青森県八戸市児童との交流の中で、日常生活と異なる集団生活を通じてコミュニケーション能力や、リーダーシップを高めるとともに、八戸市の歴史や文化の学びから「遠野」の歴史や自然のよさについて見つめ直すことを通して、郷土を愛する心や態度を育て、遠野市の将来を担う人材の育成を目指す。 楽しいだけの交流で終わることなく、交流を通して学んだことを、今後の学校生活で発揮することができる交流内容とする。			計画値	参加児童	26人
	成果	小学校11校の代表児童が一同に集まり、八戸市の児童と交流活動を行う中で、南部氏の歴史や両市の文化について学んだ。 学校とは異なる集団の中でのコミュニケーションの取り方やリーダーとしてのあり方を学ぶとともに、ふるさと遠野の良さを自ら振り返り、事業の目的とする人材の育成を図ることができた。 特に、両市の児童と一緒に交流する内容としたことで、児童同士が活発な交流を行うことができた。 1 受入交流 7月26日から7月28日まで 八戸市児童42人が来遠 2 派遣交流 8月3日から8月4日まで 遠野市児童26人が八戸市を訪問			実績値	参加児童
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
665,000	624,400	0	0	0	624,400	



10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					特別支援教育推進事業費	単位：円
事業内容	<p>「知・徳・体」の「知」に位置付けて実施する事業。          小・中学校の通常学級に在籍し、個別に特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活における介助及び学習活動における支援を行うため、担任教諭の補助等を行う特別支援教育支援員を配置する。          要支援児童生徒に対する指導の充実を図るため、巡回指導を行う学習指導講師を配置する。          市内小中学校に在籍する外国人児童生徒への個別の日本語指導を行うための日本語指導講師を配置する。</p>			計画値	特別支援教育支援員の配置 19人 学習指導講師の配置 1人 日本語指導講師の配置 2人	
	成果	<p>1 特別支援教育支援員が児童生徒の学習や生活面において適切な指導と必要な支援を行うことで、「知・徳・体」のバランスのとれた児童生徒を育成するとともに、特別支援教育の充実を図ることができた。            【配置数 小学校11校(17人)、中学校2校(2人)】            2 学習指導講師の巡回指導により、児童のニーズに応じて適切な「ことば」の指導が実施され、児童5人がことばの教室を退級することができた。            【巡回指導実施数 5校、13人】            3 外国人児童生徒が在籍する小中学校に、日本語指導講師を配置し、日本語の習熟指導を行うとともに、学校生活でのコミュニケーション支援を行うことで、児童生徒が安心して学校生活を送ることができた。            【配置数 小学校1校(1人)、中学校1校(1人)】</p>			実績値	特別支援教育支援員の配置 19人 学習指導講師の配置 1人 日本語指導講師の配置 2人
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
21,755,000	20,908,346	0	0	0	20,908,346	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					遠野わらすっこ「夢の教室」事業費	単位：円
事業内容	<p>「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する事業。          心身の健全な発達に向けて、公益財団法人日本サッカー協会が取り組んでいる『こころのプロジェクト「夢の教室」』を活用し、現役スポーツ選手やそのOB、OG等が「夢先生」として、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを語り合う授業を行う。</p>			計画値	実施校数 9校 実施回数 8回	
	成果	<p>各小学校では、「夢の教室」をキャリア教育の一環と位置付け、児童が自分の将来を考えるきっかけづくりの一つとなるよう取り組んだ。          児童たちは、コミュニケーションゲームを通じて、ルールを守ることや協力しあうことの大切さに気付いたほか、夢先生の体験に基づいた話に聞き入り、感動する姿が見られた。            【実施状況】            ・ 土淵小学校、達首部小学校、上郷小学校、綾織小学校、小友小学校及び鱒沢小学校(合同開催)(5・6年生)            ・ 宮守小学校、青笹小学校(5年生)            ・ 附馬牛小学校(4・5・6年生)</p>			実績値	実施校数 9校 実施回数 8回
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,150,000	1,150,000	0	0	1,000,000	150,000	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					幼稚園応援事業費	単位：円
事業内容	市内に設置する私立幼稚園を運営する法人に対し、施設の運営経費に対し補助金を交付し、幼児教育の振興を図る。			計画値	助成対象私立幼稚園園児数 1園 55人	
	成果	1 私立幼稚園運営費補助金 5月1日現在の児童数に2,500円を乗じた額に、400,000円を加えた金額を上限額とし、幼稚園環境整備費等に対して補助金を交付し、幼稚園の円滑な運営を支援した。 2 私立幼稚園就園奨励費補助金 私立幼稚園に就園する園児の保護者の所得状況に応じて就園費用を助成し、保護者の経済的負担を軽減した。 3 私立幼稚園保育料助成事業補助金 私立幼稚園に児童を通園させている保護者の保育料から上記2の補助金額を減じた額を助成し、市内認定こども園及び保育所に通園させる保護者間との経済的負担の均衡化を図った。			実績値	1 補助対象幼稚園 1園 2 補助対象園児数 (幼稚園就園奨励費)50人 3 補助対象園児数 (幼稚園保育料助成)42人
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
9,393,000	8,762,400	2,476,000	0	0	6,286,400	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費
事業名					単位：円
高校魅力化サポート事業費					
事業内容	<p>「新たな県立高校再編計画」（平成28年3月岩手県教育委員会策定）の前期計画期間（平成28年～平成32年）において統合予定校とされた遠野高校と遠野緑峰高校の2校を存続させ、地域の高校教育の質の維持と中学生の多様な進路希望を実現させることを目的とした「高校魅力化アクションプラン」（平成29年3月策定）に基づき、両校の特徴的な取り組みに対する各種支援策を継続するとともに、両校の魅力を市内外の中学生、保護者、市民等にさらに広く周知することにより、入学者数の増加につなげる。</p>			計画値	平成30年度の遠野緑峰高校 情報処理科への入学者数 20人以上 (高校魅力化アクションプラン目標値)
	<p>以下の取り組みを実施し、平成30年度の両校の入学者の増加につなげることができた。</p> <p>1 高校魅力化推進事業費補助金 両校の教育振興会の活動を支援した。 遠野高校教育振興会 882,000円 ・ 地域学習「新しい『遠野物語』を創るプロジェクト」活動支援 ・ 学校紹介パンフレット作成 ・ ホームページのスマートフォン対応 遠野緑峰高校教育振興会 1,837,000円 ・ スマートフォンを活用した授業カリキュラムへの支援 ・ 各種資格取得支援に係る検定料の補助 ・ 農業クラブ活動（全国大会出場など）への支援 ・ 学校紹介パンフレット作成 ・ ホームページのスマートフォン対応</p> <p>2 一日体験入学への支援（中学生送迎バス特別運行） 3 緑峰高校馬事研究会の活動支援（遠野市畜産振興公社への業務委託） 4 魅力紹介プロモーションビデオの作成業務委託 5 文化祭の周知支援（新聞折込チラシ、ケーブルテレビで紹介） 6 両校応援モバイルサイト「学び場遠野」の運営管理業務委託 7 小学校・中学校・高校教職員の授業交流会の実施</p>				実績値
予	算	額	決	算	額
				財 源 内 訳	
				国 県 支 出 金	地 方 債
				そ の 他	一 般 財 源
8,133,000		7,075,078		0	0
				0	7,075,078

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名						大府市児童交流事業費	単位：円
事業内容	「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する事業。 愛知県大府市の児童交流受け入れ10周年を記念して、「大府市児童交流10周年記念事業実行委員会」を組織し、市内小学校の児童23人を大府市に派遣して、大府市と遠野市の交流の経緯（防災協定等）について学ぶとともに、大府市の児童との交流を図る。				計画値	派遣児童数	23人
	成果	1月11日から13日までの2泊3日で、児童23人、引率者5人が大府市を訪問し、大府市立神田小学校の児童と交流活動等を行った。 交流活動では、参加児童自らが考えたクイズ等で遠野市の食文化や観光地などを紹介するなど、活発な交流が行われた。 また、交流事業の実施後には、参加児童の感想文等を掲載した文集を作成し、事業の記録として参加者及び関係機関に配付した。				実績値	派遣児童数
予算額		決算額	財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,884,000	1,699,900	0	0	0	1,699,900		

10款	教育費	01項	教育総務費	03目	教育研究所費															
事業名					学力向上対策事業費	単位：円														
事業内容	<p>「知・徳・体」のうち「知・徳」に関する事業。          児童生徒等の学校生活に関する教育相談等の担当として、教育相談員を配置する。          市内小中学生を対象に、標準学力検査（NRT）（小2～中3）及び知能検査（小2・4・6、中2）を実施し、その結果をもとに、各中学校区で研究部会を開催し、課題に向けての調査、研究及び発表を行い、各学校に還元する。          教育課程に関する実践研究を行い、その成果を学校公開の場で発表し、市内小中学校に還元する。</p>			計画値	<p>標準学力検査及び知能検査の実施 1回          教育相談員の配置 4人          教育研究発表会等の開催 2回          学校公開研究会の実施 3校で各1回</p>															
	<p>中学校区ごとの授業改善のための「2つの視点」に基づき、小・中学校の連携により授業改善を図り、教員の「一人一授業」の評価研修等に取り組んだ。          この取り組みは、平成29年度で5年目を迎えることから、その成果について検証を行い、今後の授業のあり方として「遠野市授業づくりスタンダード」を作成し、小・中学校の全教員で情報共有を図った。          また、先進地である秋田県横手市の小・中学校の授業の様子を視察したほか、八戸市で開催された「主体的かつ対話的な深い学び」についての講演会を聴講するなど、授業の質の向上につなげた。          遠野市教育研究所及び市内3中学校に教育相談員を配置し、生徒や保護者の教育相談を通して不安や悩みの解消に努めた。また、適応指導教室を設置し、学校への登校が困難な生徒に対して、学校復帰に向けた支援を行うとともに、卒業に向けての進路指導等を行った。</p>				実績値	<p>標準学力検査及び知能検査の実施 1回          教育相談員の配置 4人          教育研究発表会等の開催 2回          学校公開研究会の実施 3校で各1回</p>														
予	算	額	決	算		額	財		源		内		訳							
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		19,299,000			18,121,971			0					0			0				18,121,971

10款	教育費	01項	教育総務費	03目	教育研究所費
事業名		特定教科集中対策事業費			単位：円
事業内容	<p>「知・徳・体」の「知」に位置付けて実施する事業。 市内中学校に特定教科学習支援員を配置し、教育委員会が指定する特定教科（数学）について、教科担当教諭と協力してチームティーチング又は個別指導等の充実による学力の向上をめざす。 中学3年生に対し、日本英語検定協会が実施する「実用英語検定」の受験料を全額補助し、目標を持って英語の学習に取り組む環境を構築するほか、英検対策講座の実施を通じて、英語の学習支援を行う。</p>			計画値	特定教科学習支援員の配置 3人 実用英語検定受検者 200人
	<p>特定教科学習支援員を各中学校に1人配置し、数学の授業においてチームティーチングを行うことで、生徒一人ひとりの理解度に応じた指導が実践された。 実用英語検定の受験費用を全額補助することで、多くの中学3年生が英検に取り組むことができた。また、休日の開催であるにもかかわらず、多くの生徒が対策講座に参加し、英語の学習に取り組んだ。</p>				実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
4,642,000	4,270,384	0	0	0	4,270,384

10款	教育費	01項	教育総務費	04目	育英事業費
事業名		育英事業費			単位：円
事業内容	<p>遠野市奨学資金貸与条則に基づき、向学心に燃える優秀な学生であって、経済的事由により修学困難な者に対し学資の貸与を行い、有能な人材を育成する。 平成20年度から、遠野市少子化対策・子育て支援総合計画「遠野わらすっこプラン」の子育て支援策として、大学生等の採用枠を23人から30人に拡大している。</p>			計画値	新規奨学生採用数 35人 うち大学生等 30人 うち高校生 5人 継続奨学生数 56人 うち大学生等 53人 うち高校生 3人
	<p>新規奨学生の募集を行い、新たに23人の奨学生を決定し、継続奨学生55人と合わせて78人に奨学金を貸与した。 なお、年度当初に大学生等1人から自己都合による貸与辞退の申出があった。 また、平成30年3月末で、継続奨学生のうち26人が貸与期間を満了した。</p> <p>【貸付状況】 新規奨学生 9,820,000円 継続奨学生 25,320,000円 計 35,140,000円</p>				実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
35,433,000	35,196,775	0	0	35,196,775	0

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費													
事業名					通学対策費	単位：円												
事業内容	<p>遠距離から小学校に通学する児童のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠距離から小友小、附馬牛小、土淵小、宮守小、達首部小、鱒沢小に通学する児童を対象に、スクールバス等を運行する。</li> <li>・路線バスで遠野北小に通学する松崎地区の児童を対象に、定期券を購入し配付する。</li> <li>・上郷小に通学する来内地区の児童の一部を対象にタクシーを運行する。</li> <li>・遠距離（片道4km以上）から通学する児童を対象に通学費を助成する。</li> <li>・教育課程における児童の移動のため、スクールバスの特別運行を行う。</li> </ul>			計画値	<p>スクールバス等の運行 （バス5台、ワゴン3台、タクシー1台）</p> <p>遠距離通学費補助金 支給見込児童数 25人</p>													
	<p>スクールバス等の運行により、遠距離から小学校に通学する児童の負担の軽減と通学時の安全を図った。</p> <p>また、遠距離通学児童のうちスクールバス等の利用対象とならない児童に対して遠距離通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。</p> <p>学校運営上必要な行事や市主催の各種事業等における児童の送迎のため、スクールバス等の特別運行を行い、有効活用を図った。</p>				実績値	<p>スクールバス等の運行 （バス5台、ワゴン3台、タクシー1台）</p> <p>遠距離通学費補助金 支給児童数 22人</p> <p>スクールバス特別運行 許可件数 263件</p>												
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳									
				国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
19,611,000		18,949,398		0		0		0		18,949,398								

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費													
事業名					教材整備費	単位：円												
事業内容	<p>小学校における教育活動に必要な教材備品及び図書を購入するとともに、パーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。</p> <p>また、国の補助事業を活用し、実験、観察等を通じた効果的な教育活動に資するため、理科及び算数に係る教材備品を整備する。</p>			計画値	<p>教材備品購入 図書購入 パーソナルコンピュータ借上げ 375台 理科・算数教材備品整備 4校</p>													
	<p>教育活動に必要なとなる教材備品の購入、読書による言語活動の充実を図るための図書の購入、情報教育の推進を図るためのパーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境のさらなる充実を図った。</p> <p>また、理科・算数教材備品を整備し、観察、実験等を通じた実践的な教育活動の充実を図ることができた。</p> <p>【主な理科・算数教材備品の整備内容】 遠野北小学校：顕微鏡、理科実験用IHコンロ 等 綾織小学校：顕微鏡、筆算練習用シート 等 小友小学校：デジタル気体採取器、デジタル電流計、デジタル電圧計 等 附馬牛小学校：顕微鏡、はかり説明マグネットシート 等</p>				実績値	<p>教材備品購入数 69品目 図書購入冊数 1,214冊 パーソナルコンピュータ借上げ 375台 理科・算数教材備品整備 4校 購入数 20品目</p>												
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳									
				国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
13,546,000		13,458,752		488,000		0		0		12,970,752								

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費																			
事業名					就学援助費	単位：円																		
事業内容	<p>経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、通学費、PTA会費、学校病医療費、学校病医療通院費及び学校給食費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。</p> <p>また、経済的理由を有する平成30年度新入学予定児童の保護者に対して、申請に基づき、新入学学用品費の入学前支給を行う。</p>			計画値	支給対象見込在学児童数 130人 新入学学用品費 入学前支給対象見込児童数 37人																			
	<p>就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。なお、下記のうち被災児童6人分の就学援助費については、国補助金(10/10)の対象として交付された。</p> <p>【支給項目及び支給対象在学児童数の内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費(140人)</td> <td>1,542,650円</td> <td>通学用品費(115人)</td> <td>247,715円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費(140人)</td> <td>289,114円</td> <td>新入学用品費(23人)</td> <td>933,800円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費(25人)</td> <td>686,504円</td> <td>通学費(1人)</td> <td>8,000円</td> </tr> <tr> <td>PTA会費(96人)</td> <td>312,960円</td> <td>学校病医療費(40人)</td> <td>375,060円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療通院費(25人)</td> <td>27,090円</td> <td>学校給食費(139人)</td> <td>5,713,409円</td> </tr> </table> <p>また、経済的理由を有する新入学予定児童の保護者に対して、新入学学用品費(28人分、計1,136,800円)の入学前支給を行い、義務教育の円滑な実施を図った。</p>				学用品費(140人)	1,542,650円	通学用品費(115人)	247,715円	校外活動費(140人)	289,114円	新入学用品費(23人)	933,800円	修学旅行費(25人)	686,504円	通学費(1人)	8,000円	PTA会費(96人)	312,960円	学校病医療費(40人)	375,060円	学校病医療通院費(25人)	27,090円	学校給食費(139人)	5,713,409円
学用品費(140人)	1,542,650円	通学用品費(115人)	247,715円																					
校外活動費(140人)	289,114円	新入学用品費(23人)	933,800円																					
修学旅行費(25人)	686,504円	通学費(1人)	8,000円																					
PTA会費(96人)	312,960円	学校病医療費(40人)	375,060円																					
学校病医療通院費(25人)	27,090円	学校給食費(139人)	5,713,409円																					
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳															
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源				
11,747,000			11,273,102			531,418			0				0						10,741,684					



10款	教育費	02項	小学校費	03目	学校建設費	
事業名					小学校大規模改造整備事業費	単位：円
事業内容	土淵小学校校舎は、昭和53年3月の建築後、39年余りが経過し老朽化が進んでいることから、経年劣化に伴う内外部の改修のほか、電気及び機械設備の改修工事を行う。			計画値	土淵小学校 校舎大規模改造設計業務委託 校舎大規模改造工事 工事監理業務委託	
成果	学校等の意見を可能な限り取り入れ、不具合を解消する設計とした。平成30年3月に国庫補助金の決定を受けたため、年度内の大規模改造工事及び監理業務の発注が困難であることから、事業費148,044,000円を平成30年度に繰り越した。			実績値	土淵小学校 校舎大規模改造設計業務委託	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
111,084,000	14,040,000	0	14,000,000	0	40,000	

10款	教育費	02項	小学校費	03目	学校建設費	
事業名					小学校プール整備事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	昭和44年に建築され、老朽化の著しい宮守小学校のプールを改築し、児童が安全に、かつ、安心して水泳実習を受けることができる環境を整備する。平成28年11月に国庫補助金の決定を受けたため、年度内の改築工事及び監理業務の発注が困難であることから、事業を平成29年度に繰り越した。 【事業の概要】 工期 平成29年5月8日から平成29年9月29日まで 工事内容 ・プール改築（25m×5コース＋低学年用浅底） ・附属建物（更衣室、トイレ、機械室及び用具庫） ・その他温水シャワー、足洗い槽、水飲み流し ・既存ろ過機を再使用			計画値	宮守小学校 プール建築工事 工事監理業務委託	
成果	プール改築工事を実施し、安全かつ安心な教育環境の整備を図った。施工場所は、地盤が脆弱なため、地盤改良を実施した。プール本体はステンレス製とし、設備配管は点検及び修繕がしやすいピット型を採用した。また、旧プール跡地は、地下水が湧く箇所を地盤改良し駐車場とした。  ・完成年月日 平成29年9月29日 ・建築工事 74,520,000円 ・機械設備工事 15,012,000円 ・駐車場地盤改良工事 723,600円 ・工事監理業務委託 1,944,000円 ・建築確認申請、完了検査申請手数料 32,000円			実績値	宮守小学校 プール改築工事 工事監理業務委託	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
92,255,000	92,231,600	26,579,000	54,600,000	0	11,052,600	

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費	
事業名					通学対策費	単位：円
事業内容	<p>遠距離から中学校に通学する生徒のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遠距離から遠野中学校に通学する綾織小学区及び附馬牛小学区の生徒を対象に、スクールバス等を運行する。</li> <li>遠距離から遠野東中学校に通学する土淵小学区及び上郷小学区の生徒を対象に、スクールバス等を運行する。</li> <li>遠距離から遠野西中学校に通学する小友小学区、達首部小学区及び鱒沢小学区の生徒を対象に、スクールバス等を運行する。</li> <li>遠距離（片道6km以上）から通学する生徒を対象に通学費を助成する。</li> <li>教育課程における生徒の移動のため、スクールバスの特別運行を行う。</li> </ul>			計画値	<p>スクールバス等の運行 （遠野中6台、遠野東中6台、遠野西中6台）</p> <p>遠距離通学費補助金 支給見込生徒数 10人</p>	
	成果	<p>スクールバス等の運行により、遠距離から中学校に通学する生徒の負担の軽減と通学時の安全を図った。</p> <p>また、遠距離通学生徒のうちスクールバス等の通学対策の対象とならない生徒に対して遠距離通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。</p> <p>学校運営上必要な行事やクラブ活動等における生徒の送迎のため、スクールバス等の特別運行を行い、有効活用を図った。</p>			実績値	<p>スクールバス等の運行 （遠野中6台、遠野東中6台、遠野西中6台）</p> <p>遠距離通学費補助金 支給生徒数 1人</p> <p>スクールバス特別運行 許可件数 204件</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
49,138,000	48,546,846	0	0	0	48,546,846	

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費	
事業名					教材整備費	単位：円
事業内容	<p>中学校における教育活動に必要な教材備品及び図書を購入するとともに、パーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。</p> <p>また、国の補助事業を活用し、実験、観察等を通じた効果的な教育活動に資するため、理科及び数学に係る教材備品を整備する。</p>			計画値	<p>教材備品購入 図書購入 パーソナルコンピュータ借上げ 164台 理科・数学教材備品整備 3校</p>	
	成果	<p>教育活動に必要となる教材備品の購入、読書による言語活動の充実を図るための図書の購入、情報教育の推進を図るためのパーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境のさらなる充実を図った。</p> <p>また、理科・数学教材備品を整備し、観察、実験等を通じた実践的な教育活動の充実を図ることができた。</p> <p>【主な理科・数学教材備品の整備内容】  遠野中学校：電気回路実験器、電子てんびん 等  遠野東中学校：光学台、標準化石標本 等  遠野西中学校：顕微鏡、立体模型展開装置 等</p>			実績値	<p>教材備品購入数 14品目  図書購入冊数 661冊  パーソナルコンピュータ借上げ 164台  理科・数学教材備品整備 3校  購入数 15品目</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
8,430,000	8,348,094	510,000	0	0	7,838,094	

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費																							
事業名					就学援助費	単位：円																						
事業内容	<p>経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、学校病医療費、学校病医療通院費及び学校給食費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。</p> <p>また、経済的理由を有する平成30年度新入学予定生徒の保護者に対して、申請に基づき、新入学学用品費の入学前支給を行う。</p>			計画値	支給対象見込在学生徒数 115人 新入学学用品費 入学前支給対象見込生徒数 26人																							
	<p>就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。なお、下記のうち被災生徒4人分の就学援助費については、国補助金(10/10)の対象として交付された。</p> <p>【支給項目及び支給対象在学生徒数の内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費(111人)</td> <td>2,375,220円</td> <td>通学用品費(77人)</td> <td>164,462円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費(111人)</td> <td>276,126円</td> <td>新入学用品費(34人)</td> <td>1,611,600円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費(32人)</td> <td>2,250,176円</td> <td>クラブ活動費(109人)</td> <td>2,222,688円</td> </tr> <tr> <td>生徒会費(109人)</td> <td>233,000円</td> <td>PTA会費(95人)</td> <td>246,000円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療費(16人)</td> <td>148,390円</td> <td>学校病医療通院費(1人)</td> <td>1,110円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費(110人)</td> <td>5,375,006円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>また、経済的理由を有する新入学予定生徒の保護者に対して、新入学学用品費(20人分、計948,000円)の入学前支給を行い、義務教育の円滑な実施を図った。</p>				学用品費(111人)	2,375,220円	通学用品費(77人)	164,462円	校外活動費(111人)	276,126円	新入学用品費(34人)	1,611,600円	修学旅行費(32人)	2,250,176円	クラブ活動費(109人)	2,222,688円	生徒会費(109人)	233,000円	PTA会費(95人)	246,000円	学校病医療費(16人)	148,390円	学校病医療通院費(1人)	1,110円	学校給食費(110人)	5,375,006円		
学用品費(111人)	2,375,220円	通学用品費(77人)	164,462円																									
校外活動費(111人)	276,126円	新入学用品費(34人)	1,611,600円																									
修学旅行費(32人)	2,250,176円	クラブ活動費(109人)	2,222,688円																									
生徒会費(109人)	233,000円	PTA会費(95人)	246,000円																									
学校病医療費(16人)	148,390円	学校病医療通院費(1人)	1,110円																									
学校給食費(110人)	5,375,006円																											
予算額	決算額	財源内訳																										
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																							
16,772,000	15,851,778	542,413	0	0	15,309,365																							

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費	
事業名					中学校屋内運動場整備事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	<p>遠野東中学校屋内運動場は、昭和63年に青笹中学校屋内運動場として建築され、28年が経過していることから、大規模改造工事を実施し、施設の長寿命化を図る。</p> <p>平成28年11月に国庫補助金の決定を受けたため、年度内の大規模改造工事及び監理業務の発注が困難であることから事業を平成29年度に繰り越した。</p> <p>【事業の概要】</p> <p>工期 平成29年7月26日から平成30年1月26日まで</p> <p>工事内容 屋根の塗装、内外壁の補修、アリーナ床改修、トイレ改修、照明器具のLED化、設備機器の更新等</p>			計画値	遠野東中学校 屋内運動場大規模改造工事 工事監理業務委託	
	成果	<p>屋内運動場大規模改造工事を実施し、安全かつ安心な教育環境の整備を図った。</p> <p>既存施設のさらなる利活用を図るため、内部仕上げを吸音化したほか、アリーナ床面の改修・競技ラインの再設置、照明器具のLED化を行った。</p> <p>また、トイレについては全面改修を行った。</p>			実績値	遠野東中学校 屋内運動場大規模改造工事 工事監理業務委託 延べ床面積 914.00㎡
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
73,482,000	73,155,960	23,977,000	48,600,000	0	578,960	

10款	教育費	04項	社会教育費	01目	社会教育総務費	
事業名					学びのまちづくり推進事業費	単位：円
事業内容	市民に学びの機会を提供する等、生涯学習の充実を図る。 1 生涯学習講座の一部や芸術振興に係る事業を業務委託し、民間活力を活かした事業推進を図る。 2 地区センターを地域の社会教育の拠点として、各種講座を開催する。 3 国際交流の推進を図る。			計画値	継続的な講座数 5講座 生涯学習講座の受講者数 4,800人	
	1 生涯学習講座、芸術振興事業に関する事業を外部委託し、民間活力を活かしながら、市民の学びに関する事業を推進した。 (1) 生涯学習講座 国際理解・協力講座、IT講座、郷土理解講座等 青少年活動サポート事業 少年少女ふるさと発見探偵団 囲碁・将棋教室  (2) 芸術振興事業 「コロッケとスペシャルステージ」の開催 青少年劇場の開催 遠野市民センターバレエスタジオ 第40回発表会の開催、各種イベントへの出演 遠野少年少女合唱隊 第28回発表会の開催、各種イベントへの出演  2 各地区センターにおいては、ちぎり絵や手芸講座など地域のニーズに応えた各種講座を開催し、生涯学習の推進を図った。  3 本市にとって2つ目の姉妹都市として、アメリカ合衆国テネシー州チャタヌーガ市と締結する等、国際交流の推進を図った。				実績値	継続的な講座数 10講座 生涯学習講座の受講者数 4,284人
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
56,730,000	56,121,395	0	0	24,023,000	32,098,395	

10款	教育費	04項	社会教育費	01目	社会教育総務費															
事業名					若者と女性の活躍推進事業費	単位：円														
事業内容	1 青少年育成団体等に対する活動を支援する。 (1) 成人式実行委員会 (2) 遠野わらすっこまつり実行委員会 (3) 遠野市青年団体協議会 2 女性団体への活動支援を行う。 (1) 遠野市地域婦人団体協議会				成人式対象者 市内 200人 市外 50人 計 250人 遠野わらすっこまつりの開催 補助金交付団体 3団体															
					計 画 値															
成果	1 青少年育成団体の活動支援 (1)成人式実行委員会 新成人が主体的に式典を運営するために実行委員会を組織し、式典の企画・運営を自ら行うことで新成人としての意識を高め、地域のために活動する意欲の醸成を図ることができた。 (2)遠野わらすっこまつり実行委員会 遠野市保育協会をはじめとする関係団体と実行委員会を立ち上げたが、まつり当日は雨天のため中止となった。 (3)遠野市青年団体協議会 遠野市青年団体協議会に補助金を交付し、スポーツ事業や出会い創出事業への取り組みを支援した。 2 女性団体の活動支援 女性の視点で地域と暮らしを支える活動に取り組む女性団体である遠野市地域婦人団体協議会に対し補助金の交付や助言・活動支援を行い、活動の活発化を図ることができた。 また、岩手県地域婦人大会遠野大会が行われ、女性同士の交流、研修を目的とした県大会を成功させるための支援を行った。				1 新成人参加者 230人 2 補助金交付団体 3団体															
					実 績 値															
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
	1,890,000		1,151,113			0		0			240,000					911,113				

10款	教育費	04項	社会教育費	03目	文化政策費	
事業名					遠野「語り部」1000人プロジェクト事業費	単位：円
事業内容	遠野の豊かな文化を継承・発展させるため、多様なジャンルの「語り部」を遠野の大切な人的文化資源と位置づける。「昔話」「歴史」「郷土芸能」「食」「生業」の5ジャンルの「語り部」を育成し、遠野のにぎわい創りのきっかけとして、交流人口の拡大に貢献する。			計画値	語り部認定者数（累計） 850人	
	成果	平成29年度の認定者数41人（昔話1人、子ども語り部36人、歴史1人、食1人、生業1人、特別サポーター1人）で、累計者数は878人となった。語り部スクーリングを開催し、新たな語り部の発掘に努め、計画値を上回ることができた。さらに、初心者向けの昔話教室や食、歴史、郷土芸能の語り部の研修を開催するなどして、認定者のフォローアップにも努めた。また、中心市街地の空き店舗を利活用し、語り部スポットを2カ所開設して語りを披露するなど、中心市街地のにぎわいの創出につなげることができた。			実績値	語り部認定者数（累計） 878人
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,560,000	1,454,669	0	0	110,000	1,344,669	

10款	教育費	04項	社会教育費	03目	文化政策費	
事業名					遠野文化調査研究費	単位：円
事業内容	遠野の文化を多角的に解明するとともに、次代を担う「人づくり」と未来を見据えた「まちづくり」を推進するため、遠野の文化に関する調査・研究に努める。また、出版物の刊行やフォーラムの開催などにより、研究成果の公開や啓発を行う。			計画値	遠野文化研究センター活動の参加者数 400人 活動毎の参加者アンケート 平均6点以上(11段階中)	
	成果	遠野の文化を解明し、広く発信するため次の事業などを実施し、多くの参加者に遠野の文化を発信することができた。 1 遠野文化フォーラムの開催 平成29年8月20・21日(日・月) 内容：遠野文化賞・佐々木喜善賞の表彰、遠野遺産・遠野こだわりの「語り部」認定証交付、遠野遺産活用事例発表 講演・シンポジウム「伊能嘉矩生誕150年～郷土研究と台湾研究の生涯をめぐって」 参加者：340人 2 市民講座(伊能嘉矩生誕150年記念講座、土曜講座、金曜夜の読書会、遠野学会など)、開催数：17回、総参加者：276人 3 出版事業 遠野学叢書：(『伊能嘉矩-生誕150年記念講義録-』300部、『遠野夜話』300部、『遠野の河童』300部)、遠野文化フォーラム報告書：300部			実績値	遠野文化研究センター活動の参加者数 616人 活動毎の参加者アンケート 平均8.6点(11段階中)
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
14,539,000	13,834,466	0	0	2,881,474	10,952,992	

10款	教育費	04項	社会教育費	03目	文化政策費	
事業名 「遠野市史」編さん事業費					単位：円	
事業内容	<p>『遠野市史』『宮守村誌』は、いずれも昭和50年前後の刊行で、発刊から40年以上が経過している。その後の市村合併を含め、市政の大きな変換期をまとめた現代編や通史編の必要性が求められているとともに、歴史的資料や人々の暮らしに関わる資料の散逸、途絶なども懸念される。</p> <p>「永遠の日本のふるさと遠野」として後世に引き継ぐべき資料を収集整理しながら遠野の歴史、文化を総合的にまとめるため、市史の編さんを行う。</p> <p>平成31年度 現代編刊行 平成38年度 通史編刊行 平成39年度 民俗編刊行 遠野南部氏遠野統治400年イベントの開催 平成28～38年度 編さん委員会、資料調査、執筆作業、収集資料を活用した講座などの開催による人材育成を進める。 遠野南部家資料、収集資料を収めた「資料編」は随時刊行する予定。</p>			計画値	<p>各年度の事業進捗率100%</p> <p>下記4項目*（1項目25%）すべてを実施した場合100%と設定</p> <p>* 市史編さん委員会開催 資料収集、調査 刊行のための実務作業 教育普及・広報</p>	
	<p>市史編さん委員会を開催し事業計画の審議等を行うとともに、現代編部会を設置し、現代編刊行に向けた具体的な協議を行った。</p> <p>また、調査研究員により資料収集や古文書解読作業を進め、『遠野市史叢書』を発刊した。</p> <p>人材育成として、市史編さん講座や古文書講座など、遠野の歴史や文化に触れる学習機会を提供し、参加者アンケート結果は高評価であった。</p> <p>1 遠野市史編さん委員会 2回開催 2 遠野市史現代編部会 2回開催 3 調査研究員活動 (1) 現代編担当 会議及び資料収集 10回 (2) 古文書担当 遠野南部家所蔵『御用留書』の解読及び『遠野市史叢書』としての刊本化作業 40回</p> <p>4 資料調査 (1) 遠野南部家資料調査 2回 (2) 通史編に関する調査 5回</p> <p>5 人材育成 (1) 市史編さん講座 開催日：9/10 参加者：64人 (2) 古文書講座 (午前の部) 開催日：7/20、7/27、8/3、8/10 参加者：延べ29人 (夜の部) 開催日：11/15、11/22、11/29 参加者：延べ31人 (3) 古文書整理ボランティア活動 登録者15人、活動回数12回</p> <p>6 広報活動 市広報、ホームページ等</p>				実績値	<p>市史編さん委員会開催 資料収集、調査実施 刊行のための実務作業実施 教育普及・広報活動実施</p> <p>事業進捗率 100%</p>
予算額	決算額	財源内訳				
3,707,000	3,518,564	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		0	0	1,300,000	2,218,564	



10款	教育費	04項	社会教育費	04目	図書館博物館費															
事業名					図書館費	単位：円														
事業内容	<p>読書普及活動と図書館の利用促進・図書館資料の収集保存・館外奉仕活動と施設貸出の利用促進・自主活動グループへの支援と育成を推進する。図書館総合情報システムを活用し、図書館業務の効率化と迅速化を図る。利用促進につなげるため、広報誌、ホームページ等の情報発信に努める。学校図書館、読書ボランティアとの情報共有をはかるとともに、学校図書館、児童館、福祉施設等の連携を行い貸出につとめ配架図書の実をを図る。移動図書館車の効率的な運行を推進し読書の普及に努める。貴重な郷土資料、図書館資料の情報収集、整理、保存の適切な管理に努める。</p> <p>まちなか図書館を活用して市民が読書に親しめる環境づくりに努める。</p>			計画値	<p>図書館の利用者数 16,000人</p> <p>市民への図書貸出冊数 67,200冊</p> <p>移動図書館車の貸出冊数 11,300冊</p> <p>学校図書館への貸出冊数 21,100冊</p>															
	<p>図書の貸出や図書館教室、企画展の開催などを通じて、子どもたちが本に親しむ読書環境を提供した。児童を対象にした図書館教室、総合学習のための貸出し、多読者表彰を実施し、図書館の利用促進と読書普及を図ることができた。中学生、高校生の職場体験学習を受け入れし、図書館の理解を深めた。移動図書館車を巡回運行し、利用者の利便性を図った。本の読み聞かせなどのグループに館内外活動への支援として本の貸し出しを実施した。岩手の読書週間に岩手県中部教育事務所と連携して、「子どもの心に届く本の読み方」について、講師による実演指導をいただき読書活動の推進を図った。第158回芥川賞受賞「おらおらでひとりいぐも」の若竹千佐子さん（遠野市上郷町出身）を招いて、トークイベントを開催し、功績を顕彰すると共に市民への読書の推進と啓発を図った。平成28年度に引き続き水損被害を受けた図書資料を用いて、資料救出活動を行う人材育成のため「水損資料レスキュー in 岩手県立博物館」での講習会を実施した。</p>				実績値	<p>図書館の利用者数 17,568人</p> <p>市民への図書貸出冊数 67,945冊</p> <p>移動図書館車の貸出冊数 11,355冊</p> <p>学校図書館への貸出冊数 21,130冊</p>														
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		23,096,000			22,962,997			0					0		164,855					22,798,142

10款	教育費	04項	社会教育費	04目	図書館博物館費		
事業名		博物館費				単位：円	
事業内容	<p>伊能嘉矩生誕150年に合わせた特別展や記念講座を開催し、市内外に情報発信し、交流人口の拡大を図る。特別展「伊能嘉矩と台湾研究」や特別公開「遠野領内図」、遠野町家のひなまつりに合わせた特別展「遠野のひな人形」を開催する。</p> <p>児童生徒を対象とした博物館教室を開催し、郷土愛の醸成を図り、豊かな人間性を有する人材の育成に努める。</p> <p>市民対象の博物館講座を開催し、文化に親しむ機会を提供する。</p> <p>博物館資料の充実を図りながら、資料の収集・整理・保存に努める。</p>				計画値	博物館入館者数 20,200人 博物館講座等の受講者数 950人	
	成果	<p>伊能嘉矩生誕150年記念特別展「伊能嘉矩と台湾研究」や特別公開「遠野領内図」を開催。遠野町家のひなまつりに合わせた特別展「遠野のひな人形」を開催し、商工会と連携し中心市街地への集客に努めた。</p> <p>児童生徒を対象とした博物館教室等を開催し、郷土の歴史、文化、民俗などの学習機会を提供し、市民の学習ニーズに応えた。</p> <p>1 特別展「伊能嘉矩と台湾研究」（8,041人） 会期 平成29年7月21日（金）～11月23日（木）</p> <p>2 特別公開「遠野領内図」（513人） 会期 平成30年1月12日（金）～1月21日（日）</p> <p>3 特別展「遠野のひな人形」（1,473人） 会期 平成30年2月9日（金）～3月11日（日）</p>				実績値	博物館入館者数 16,230人 博物館講座等受講者数 1,292人
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
15,294,000	14,887,045	0	0	5,248,375	9,638,670		

10款	教育費	04項	社会教育費	04目	図書館博物館費		
事業名		ブックスタート事業費				単位：円	
事業内容	<p>遠野市に生まれた赤ちゃんとその親、家族が本をとおしたふれあいの中からお互いに幸せを感じ成長するための機会をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生まれた時から、本とふれあうことにより本に興味をもってもらう。</li> <li>・ボランティアグループによる読み聞かせ</li> <li>・絵本、袋の配布</li> <li>・対象 1歳児</li> <li>・遠野市立図書館の利用案内</li> </ul>				計画値	読み聞かせ回数 12回 対象者 160組	
	成果	<p>健康福祉の里において、1歳児健康相談時に本等の配布を実施した。参加できなかった対象者へは、後日、民生児童委員を通じての配布を実施した。</p> <p>対象者 132組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1歳児健康相談時に配布 107組</li> <li>・民生児童委員による配布 25組</li> <li>・対象者に対する配布率 100%</li> </ul> <p>1歳児健康相談時に絵本等の読み聞かせ、本の紹介、図書館への利用の促進を図ることができた。</p> <p>ボランティアグループの本の読み聞かせや本の紹介により、手に取って身近に活用できることから好評を得ている。</p>				実績値	読み聞かせ回数 12回 対象者 132組
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
300,000	299,497	0	0	279,000	20,497		

10款	教育費	04項	社会教育費	04目	図書館博物館費	
事業名					伊能嘉矩生誕150年記念事業費	単位：円
事業内容	伊能嘉矩生誕150年に合わせた特別展や記念講座、遠野文化フォーラムを開催し、遠野の先人の功績を市内外に発信する。 また、国立台湾大学と伊能嘉矩に関する文化交流及び協力に関する協定を締結し、台湾との交流を活発化し、交流人口の拡大を図る。			計 画 値	遠野文化フォーラムの開催 国立台湾大学との文化交流協定の締結 特別展の開催	
	成果	国立台湾大学と文化交流協定を締結し、台湾大学に保管されていた伊能嘉矩ゆかりの資料を約90年ぶりに里帰りさせ、特別展を通して市内外に公開することができた。また、国立台湾大学図書館で伊能嘉矩のパネル展を開催し遠野の先人の業績について広く情報提供することができた。特別展開催中には台湾からの来館者もあり、交流人口の拡大に貢献することができた。 1 遠野文化フォーラム（340人） 平成29年8月20日（日） 2 伊能嘉矩に関する文化交流及び協力に関する協定の締結 平成29年8月20日（日） 3 特別展「伊能嘉矩と台湾研究」（8,041人） 平成29年7月21日（金）～11月23日（木）			実 績 値	遠野文化フォーラムの開催 国立台湾大学との文化交流協定の締結 特別展の開催
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
5,098,000	4,792,104	972,000	0	3,263,000	557,104	

10款	教育費	04項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					文化財調査保護費	単位：円
事業内容	法に基づき適正な文化財保護行政を継続するとともに、遠野の文化や歴史を物語る貴重な財産として文化財の調査・保護、啓発活動を推進し、市民の文化向上を図る。 また、郷土芸能の保存継承を推進するため備品整備や発表の場を提供するなど、必要な支援を継続する。 1 指定文化財の調査・保護及びその他未指定文化財の調査、保護啓発活動の実施。 2 民俗芸能の活動支援。			計 画 値	文化財調査 1式 民俗芸能の映像記録件数 平成29年度 25件（累計） 備品整備補助 1式 郷土芸能活動支援補助 1式	
	成果	新たに発見された上琴畑湿原の調査を実施し、現状を把握した。文化財保護審議会を開催し、新たに無形民俗文化財6件（綾織しし踊り、鷹鳥屋獅子踊り、山谷獅子踊り、土淵しし踊り、細越獅子踊り、佐比内しし踊り）を指定した。また、指定文化財保護のため「鞍迫観音絵馬堂」と「登坂氏庭園」の修理に対して補助を行うと共に「山谷観音堂」の文化財説明板1基を更新して周知に努めた。 郷土芸能については、保存育成を目的として「綾織しし踊り」「穀町南部ばやし」「山谷獅子踊り」「塚沢早池峰神楽」の4団体に対し、備品整備費用を補助し、活動支援を目的として「郷土芸能共演会」「神楽共演会」に支援を行った。			実 績 値	上琴畑湿原調査 2回 文化財修理補助 2件 民俗芸能の映像記録件数 平成29年度 25件（累計） 備品整備補助 4件 郷土芸能活動支援補助 2件 文化財保護審議会 1回
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,801,000	1,673,208	0	0	504,000	1,169,208	

10款	教育費	04項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					埋蔵文化財発掘調査費	単位：円
事業内容	<p>各種開発事業の円滑な実施と、埋蔵文化財の保護・活用の調整を図るため適宜に埋蔵文化財の分布・試掘・発掘の各種調査を実施する。個人住宅建築に伴って昨年実施した「和山遺跡」の室内整理、調査報告書作成を行う。 また、調査記録や出土遺物の適正な管理を行いながら公開活用に資するため資料台帳の作成を推進する。</p>				<p>開発に伴う遺跡の分布・試掘・発掘調査等 1式 「和山遺跡」室内整理・発掘調査報告書作成 1式 市内出土遺物の資料台帳入力 1式</p>	
					計画値	
成果	<p>各種開発行為に伴う埋蔵文化財の取り扱いについて調整し、開発行為が遺跡に該当した11件について、試掘調査を行い円滑な事業の実施と埋蔵文化財保護に努めた。また、平成28年度に行なった「和山遺跡」の発掘調査報告書の作成を行った。 重要文化財千葉家の八セ小屋・鳥小屋・外便所の発掘調査を行い、千葉家の保存修理のための基礎情報を収集した。 公開活用を視野に、市内遺跡出土遺物のデータベース作成を推進するとともに、企画展「伊能嘉矩と考古学展」「新田 遺跡展(2011年報告編)」を開催し、調査成果を公開した。 「縄文土器作り教室」(参加者数：54人)、「勾玉作り教室」(参加者数：34人)の各文化財教室を開催すると共に、市民の依頼を受けて、自治会等主催の「勾玉作り教室」(参加者数：81人)に協力し、埋蔵文化財に関する知識の普及啓発に努めた。</p>				<p>遺跡照会回答数 137件 試掘調査 11件 千葉家発掘調査 1件 発掘調査報告書作成 300部 データベース入力作業 1遺跡分 1,480件 企画展開催 2回 埋文教室開催 7回 (参加者は延べ169人)</p>	
					実績値	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
10,161,000	9,988,698	2,978,000	0	29,124	6,981,574	

10款	教育費	04項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					遠野遺産認定事業費	単位：円
事業内容	<p>市民から推薦される地域資源を「遠野遺産」として認定し、認定された遠野遺産の保護活用を支援することにより、市内にある文化的遺産、自然遺産を市民協働で次世代に守り伝え、活気ある地域づくりを推進する。</p> <p>活動の支援は、市民協働課との連携により、活動に対する補助金の適用、活動に対する助言等を行う。</p> <p>また、新たに認定された遠野遺産の表示板を設置することにより遺産の啓発に努め、ガイドブックを発行して市内外に情報発信を行う。</p>			計 画 値	認定件数の増	1件
					ガイドブック作成	1式
				遠野遺産標示板設置	5基	
				遠野遺産認定竿頭綬	1本	
成果	<p>新規の遺産1件(山谷獅子踊り)を認定し、累計数が150件となった。</p> <p>遠野遺産表示板等の設置、ガイドブック作成、広報遠野、視察・学習会対応を通じた周知・情報発信に努め、遺産保護活動が促進された。</p> <p>また、みんなで築くふるさと遠野推進事業を活用した環境整備事業等11件(田屋の大杉、能傳房神社、菅原神社、小友町裸参り、安戸の正一位稻荷神社、伊勢両宮神社と松尾神社、伊豆神社、大峰鉾山とその周辺、一日市のお雛見遠野南部ばやし)が実施され、市民協働の地域づくりが推進された。</p>			実 績 値	認定件数	新規1件
					ガイドブック作成	3,000部
				遠野遺産表示板設置	5基	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,445,000	1,352,499	0	0	1,000,000	352,499	

10款	教育費	04項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					重要文化財千葉家住宅整備事業費	単位：円
事業内容	<p>国指定重要文化財千葉家住宅を永久的に保護していくため、建物の傷みに応じた修理方法で保存修理工事を実施する。また、最適な防災施設の整備のための防災施設整備計画策定、より良い活用に向けて整備活用基本計画の策定を市民とともに進める。</p> <p>千葉家旧蔵古文書及び家財資料の整理作業を専門職員を配置して進める。重要文化財千葉家住宅保存活用委員会を開催し、専門家の意見聴取を行い、円滑な事業の進行を図る。</p> <p>長期に渡る整備事業の映像記録を引き続き行う。</p>				<p>保存修理工事 大工小屋解体、主屋ウマヤ解体、主屋素屋根設置、屋根解体 整備活用基本計画 1式 防災設備整備計画 1式 整備事業映像記録 1式 古文書整理台帳作成 200点 家財資料整理台帳作成 1,000点</p>	計 画 値
	成果	<p>1 保存修理工事 大工小屋の全解体、主屋のウマヤ部分の解体を行い素屋根を設置し、オモヤの茅葺屋根の解体、内部造作の一部解体を行った。重要文化財千葉家住宅保存活用委員会を2回、復原ワーキンググループを1回開催し整備に関して検討した。</p> <p>2 防災設備整備計画及び整備活用基本計画の策定作業等 昨年まで防災設備調査結果を踏まえ専門委員や関係部署と協議し、防災設備整備計画案をまとめた。 市民組織である重文千葉家の活用を考える会や高校生とともに周辺地域の建物や植生等の各種調査を実施し、それらをもとにして整備活用基本計画案を作成した。</p> <p>3 千葉家旧蔵資料整理及び整備事業映像記録 資料整理は非常勤の専任職員を配置して取り組んだ。千葉家から引き継いだ家財資料についてクリーニングし計測や写真撮影、繕いを行いながら台帳作成を進め、約2,100点中1,600点について完了した。古文書等の資料は建築に関する記録を中心に解読しながら台帳作成を進め、約4,200点中500点（H29年度350点）完了した。整備事業全体について映像記録を委託して実施した。</p>				<p>保存修理工事 大工小屋解体、主屋ウマヤ解体、主屋素屋根設置、屋根解体 整備活用基本計画案 1件 防災設備整備計画案 1件 整備事業映像記録 1件 古文書整理台帳作成 350点 家財資料整理台帳作成 1,600点</p>
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
125,133,000	121,243,686	66,158,000	34,000,000	0	21,085,686	

10款	教育費	04項	社会教育費	05目	文化財調査保護費
事業名					単位：円
歴史文化基本構想策定事業費					
事業内容	指定・未指定を含めた文化財の悉皆的調査を実施・整理し、遠野市の文化的特性を明確にすると共に、総体的価値を前提とした文化財の保護活用の方針を構想としてまとめ、長期的視点に立脚した一貫性のもとに文化財行政を推進する。また、関連部署と構想を情報共有することにより文化を活かしたまちづくりを推進していく。			計画値	文化財資料の調査整理 1式 歴史文化基本構想検討委員会開催 1回 ワーキング会議開催 1回
	既存文化財調査資料の整理、電子データ化を行うと共に、市内の歴史的建造物の調査を実施し、新たに120棟の建物をリストアップした。 遠野市歴史文化基本構想検討委員会を立ち上げて委員会を開催し、役割と今後の日程について情報共有を図った。また、有識者によるワーキング会議を開催し、構想の内容と関連文化財群設定の考え方について協議検討した。				実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,278,000	2,245,854	1,139,000	0	0	1,106,854

10款	教育費	05項	保健体育費	01目	保健体育総務費
事業名					単位：円
競技・イベントスポーツプログラム推進事業費					
事業内容	スポーツを通じて市民が健康増進と豊かなライフスタイルを実現できる環境の整備、充実を図る。 児童・生徒の健全育成を目的に、スポーツ少年団の育成と活動を支援し、専門的指導者によるジュニアスポーツの向上に努める。 スポーツ指導者の育成に努め、各種スポーツイベントを開催する。			計画値	遠野じんぎすかんマラソン参加者 1,700人 スポーツ団体運営等補助 4団体
	第35回目となる「日本のふるさと遠野じんぎすかんマラソン」を8月27日に開催した。今回からハーフの部を復活させたことにより、参加者が増加した。 児童・生徒の健全育成を図るため、スポーツ少年団の育成と活動を支援し専門的指導者によるジュニアスポーツのレベルアップに努めた。 市内スポーツ大会の開催や競技団体の育成を図るため、遠野市体育協会を支援した。 また、トップアスリートの育成に定評のある指導者を招いてのスポーツ講演会を開催し、多くの参加者が指導法について学んだ。				実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
14,958,000	14,231,061	0	0	0	14,231,061

10款	教育費	05項	保健体育費	01目	保健体育総務費	
事業名					スポーツ・ツーリズム推進事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	ラグビーワールドカップ及び東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン、高校・大学などの合宿や大会の誘致に向けたPR活動を実施し、スポーツを通じた交流人口の拡大を図る。 東京オリンピック・パラリンピック競技大会事前キャンプ誘致用プロモーション映像制作業務の委託については、履行期間中に天候不順が続き、屋外の撮影に時間を要したことから繰り越した。			計画値	東京オリンピック・パラリンピック競技大会事前キャンプ誘致用プロモーション映像制作業務委託	
	成果	東京オリンピック・パラリンピック競技大会事前キャンプ誘致用プロモーション映像をもとに活動を行い、12月にブラジルを相手国とするホストタウンに登録が決定した。			実績値	東京オリンピック・パラリンピック競技大会事前キャンプ誘致用プロモーション映像制作業務委託
予算額		決算額	財源内訳			
	国県支出金		地方債	その他	一般財源	
398,000	397,440	0	0	0	397,440	



10款	教育費	05項	保健体育費	02目	学校給食費	
事業名					学校給食事業費	単位：円
事業内容	<p>市内小中学校の児童生徒に対し、適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解を深め、望ましい食習慣を育成すること、好ましい人間形成等を目標として学校給食を実施する。</p> <p>さらに、学校給食衛生管理基準に基づき衛生管理の徹底を図りながら遠野産食材を積極的に使用し地産地消を推進するとともに、安全安心なおいしい給食の提供に努める。</p> <p>給食実施校数  小学校 12校（うち1校は特別支援学校）  中学校 4校（うち1校は特別支援学校）  給食供給人数 2,193人  年間給食実施回数 小中学校168回</p>			<p>年間給食実施回数 168回  うち米飯回数 126回  うちパン回数 42回</p> <p>学校給食食材に占める地場産物使用割合 65.8%</p>		
	<p>遠野産の食材を積極的に使用し、地産地消の推進と消費拡大を図るとともに、栄養バランスのとれたおいしい給食を提供することができたほか、衛生管理の一環として、市内納品業者への衛生指導を行うなど衛生管理の徹底を図った。給食日よりなどでは、旬な食材の知識や食に関する情報を発信し、望ましい食習慣の育成に努めた。</p> <p>また、昨年度から実施している交流すまいる給食では、生産者や給食関係者と共食しながら、郷土の食文化や農産物の理解を深めると共に、他地域の食文化に触れる機会にもなった。</p> <p>さらにアレルギー専用設備と人員配置により、アレルギーを持つ児童生徒へ主菜の代替食を提供した。</p>			<p>年間給食実施回数 168回  米飯回数 125回  パン回数 43回</p> <p>学校給食食材に占める地場産物使用割合 66.0%</p>		
成果	実績値			実績値		
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
205,938,000	205,429,019	0	0	99,517,958	105,911,061	

10款	教育費	05項	保健体育費	03目	体育施設費	
事業名					健康スポーツ施設整備事業費	単位：円
事業内容	宮守体育館の施設及び設備の老朽化が進んでいることから、大規模改修を行い、地域のスポーツ振興や健康づくりの拠点施設として、利用者が安心して活動ができるように施設提供を行う。			計画値	宮守体育館 延べ床面積 1,345.61㎡ 建築改修工事 電気設備改修工事 工事監理業務委託料	
	成果	屋根、外壁、内部、電気設備等の大規模改修工事を実施し、快適で安心・安全な施設利用に寄与し、地域のスポーツ振興や健康づくりの拠点施設として充実した。 また、節電対策として、照明設備をLED化したほか、消防用設備等の更新により、施設の長寿命化が図られた。			実績値	宮守体育館 延べ床面積 1,345.61㎡ 建築改修工事 電気設備改修工事 工事監理業務委託料
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
173,474,000	173,402,208	0	170,400,000	2,000,000	1,002,208	

10款	教育費	05項	保健体育費	03目	体育施設費	
事業名					体育施設管理費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	子どもたちの遊び場として、遠野運動公園のわんぱく広場の拡張と遊具等を設置し、親子がふれあえる公園施設の充実を図る。			計画値	遊具広場造成工事 休憩所建設工事 遊具新設及び既存遊具移設工事	
	成果	遠野運動公園のわんぱく広場の拡張、遊具の新設、既存遊具の移設、休憩所を建設し、子どもたちの遊び場、親子のふれあえる拠点としてリニューアルし、子育て環境の充実を図った。			実績値	遊具広場造成工事 1,570㎡ 休憩所建設工事 1棟 遊具新設 7基 既存遊具移設工事 1基
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
16,700,000	16,698,960	0	0	11,000,000	5,698,960	

11款	災害復旧費	01項	農林水産施設災害復旧費	01目	農業用施設災害復旧費															
事業名					農業用施設災害復旧事業費	単位：円														
事業内容	異常な天然現象により被災した農業用施設の災害復旧。			計 画 値	工事契約	8件														
					頭首工	4件														
成果	平成28年8月発生台風10号により被災した農業用施設の災害復旧工事を実施し、機能の回復を図り安定した農業経営に寄与した。			実 績 値	取水工	3件														
					農道	1件														
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		10,500,000		9,999,720			0		0			0							9,999,720	

11款	災害復旧費	01項	農林水産施設災害復旧費	01目	農業用施設災害復旧費															
事業名					農業用施設災害復旧事業費（繰越明許費）	単位：円														
事業内容	平成28年8月に発生した台風10号により被災した農業用施設の災害復旧。			計 画 値	委託契約	1件														
					工事契約	36件														
成果	復旧工事により、従前の機能を回復した。 平成28年度からの繰り越しにより各種工事を実施し、水稻の作付けが可能となった。			実 績 値	農業用施設	27件														
					頭首工	14件														
			取水工	8件																
			水路等	5件																
			農地	9件																
			農地等関連	5件																
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		228,475,000		171,227,870			155,548,191		0			414,807							15,264,872	

11款	災害復旧費	01項	農林水産施設災害復旧費	02目	林業用施設災害復旧費
事業名					単位：円
林業用施設災害復旧事業費（繰越明許費）					
事業内容	平成28年8月発生台風10号により被災した林業用施設の災害復旧。			計画値	工事契約 5件
	復旧工事により従前の機能を回復した。 平成28年からの繰り越しにより工事を実施し、通行に支障を来たしていた林業用道路の通行が可能となった。			実績値	工事契約 5件
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
5,000,000	4,990,680	0	0	0	4,990,680

11款	災害復旧費	02項	公共土木施設災害復旧費	01目	道路橋梁災害復旧費
事業名					単位：円
道路橋梁災害復旧事業費					
事業内容	異常気象により被災した公共土木施設の災害復旧。			計画値	工事契約 23件 市道 11件 橋梁 1件 河川 9件 水路 2件
	平成28年8月に発生した台風10号により被災した公共土木施設の災害復旧工事を実施し、機能を回復したことより、住民の安心・安全な生活が確保された。 また、台風10号被災で最大の被災箇所である準用河川山口川の工事契約を締結し、早期の完成を目指している。			実績値	工事契約 23件 市道 11件 橋梁 1件 河川 9件 水路 2件
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
364,119,000	159,118,244	95,694,000	25,500,000	0	37,924,244

11款	災害復旧費	02項	公共土木施設災害復旧費	01目	道路橋梁災害復旧費	
事業名					道路橋梁災害復旧事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	平成28年8月に発生した台風10号により被災した公共土木施設の復旧。			計 画 値	委託契約	2件
					工事契約	46件
成果	復旧工事により、事前の機能を回復した。 平成28年度からの繰り越しにより各種工事等を実施し、機能回復により住民の安全・安心な生活が確保された。			実 績 値	委託契約	1件
					工事契約	46件
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
558,386,000	398,412,760	281,392,000	83,500,000	0	33,520,760	

11款	災害復旧費	03項	文教施設災害復旧費	01目	社会教育施設災害復旧費	
事業名					社会教育施設災害復旧事業費	単位：円
事業内容	土淵町の伝承園に所在する重要文化財旧菊池家住宅は、台風10号によって小烏瀬川に注ぐ付近の水路があふれ、床下浸水し、外部雨落及び室内の土間叩きが陥没するなどの被害を受けた。被害を受けた土間について、伝統工法により復旧工事を実施する。			計 画 値	土間叩き復旧工事	125m <sup>2</sup>
					実績値	
成果	伝統工法により地元の材料を用いて土間叩きの復旧工事を実施した。雨落の外側の地面が高くなっており雨落縁石が埋没していることが判明し、その機能回復も追加して実施した。また、関連工事として、雨樋設置工事、量水器ボックス取替工事を実施した。			実 績 値	土間叩き復旧工事	125m <sup>2</sup>
					雨落縁石復旧工事	1件
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
7,717,000	6,931,160	6,255,000	0	0	676,160	



12款	公債費	01項	公債費	01目	元金	
事業名					市債元金償還金	単位：円
事業内容	市債元金の定期償還を行う。			計 画 値	実質公債費比率 13.0%	
					年度末市債残高 20,477,680,000円	
成果	第三次健全財政5カ年計画（平成27年11月策定）に対し、市債残高は、20,001,223,992円で計画値の範囲内であり、実質公債費比率は、13.3%で計画値と同等程度の値となっており、健全な財政運営が保たれている。			実 績 値	実質公債費比率 13.3%	
					年度末市債残高 20,001,223,992円	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 庫 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
2,475,102,000	2,475,101,057	0	0	337,028,000	2,138,073,057	